宜 議 第 5 8 5 号
令 和 5 年 9 月 2 2 日

議 長
呉 屋 等 殿

経 済 建 設 常 任 委 員 会
委 員 長 知 名 康 司

委 員 会 審 査 結 果 に つ い て (報 告)

第 4 4 9 回 宜 野 湾 市 議 会 定 例 会 に お い て、本 委 員 会 に 付 託 さ れ た 案 件 の 審 査 を 終 了 い た し ま し た の で、各 案 件 の 報 告 書 及 び 会 議 録 の 写 し を 添 え て、委 員 会 条 例 第 2 9 条 の 規 定 に よ り、そ の 結 果 を 報 告 い た し ま す。

1. 委 員 会 活 動

期 間 期 日	会 議 月 日	備 考
令 和 5 年 3 月 6 日	令 和 5 年 3 月 6 日	議 案 第 3 号、議 案 第 1 2 号、議 案 第 4 号、議 案 第 1 3 号、 議 案 第 8 号、議 案 第 1 7 号、議 案 第 9 号、議 案 第 1 8 号
令 和 5 年 3 月 7 日	令 和 5 年 3 月 7 日	陳 情 第 1 3 号、陳 情 第 1 4 号、陳 情 第 1 5 号、 陳 情 第 6 号、議 案 第 7 号、議 案 第 1 6 号
令 和 5 年 3 月 8 日	令 和 5 年 3 月 8 日	議 案 第 2 3 号、議 案 第 2 2 号、議 案 第 3 0 号、 陳 情 第 1 0 号、議 案 第 3 号、議 案 第 4 号、議 案 第 7 号、 議 案 第 8 号、議 案 第 9 号、議 案 第 1 2 号、議 案 第 1 3 号、 議 案 第 1 6 号、議 案 第 1 7 号、議 案 第 1 8 号、 陳 情 第 6 号、陳 情 第 1 5 号、陳 情 第 9 号、陳 情 第 1 3 号、 陳 情 第 1 4 号
会 議 日 数 3 日 間		

2. 会議事項

議案番	案号	件名	付託月日	議決月日	結果
議案第3号		令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第4号		令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第7号		令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第8号		令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第2号)	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第9号		令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第12号		令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第13号		令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第16号		令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第17号		令和5年度宜野湾市水道事業会計予算	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第18号		令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第22号		宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第23号		宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	原案可決
議案第30号		中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について	令和5年 3月3日	令和5年 3月8日	同意

陳情 第 6 号	喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置について	令和 4 年 10月6日	令和 5 年 3月8日	採 択
陳情 第 9 号	インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施延期を求める陳情	令和 4 年 12月8日	—	継 続 審 査
陳情 第 10号	有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳情	令和 5 年 3月3日	—	継 続 審 査
陳情 第 13号	西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情	令和 5 年 3月3日	—	継 続 審 査
陳情 第 14号	西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情	令和 5 年 3月3日	—	継 続 審 査
陳情 第 15号	公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情	令和 5 年 3月3日	令和 5 年 3月8日	採 択

経済建設常任委員会会議録

○開催年月日 令和5年3月6日（月） 1日目

午前10時03分 開会
午後 4時08分 散会

○場 所 第2常任委員会室

○出席委員（7名）

委員長	知名康司	副委員長	宮城政司
委員	濱元朝晴	委員	又吉亮
委員	下地崇	委員	宮城優
委員	嶺井拓磨		

○欠席委員（0名）

○説明員（18名）

建設部長	多和田 功	市街地整備課長	宮城 政勝
市街地整備課 市街地整備担当技幹	嶺井 実克	市街地整備課 計画係長	桐澤 秀明
市街地整備課 計画係主任主事	伊佐 真也	市街地整備課 計画係技師	大城 すず香
市街地整備課 工事一係長	仲間 淳	市街地整備課 工事二係長	上原 力
市街地整備課 補償係長	狩俣 智昭	上下水道局 次長	新垣 勉
水道施設課 課長	高宮城 淳	下水道施設課 課長	城間 勝也
総務企画課 課長	座喜味 睦子	総務企画課 経理係長	喜友名 達矢
総務企画課 経理担当主査	神田 恭子	総務企画課 経理係主任主事	米須 清貴
総務企画課 経理係主事	平良 美香	業務サービス課 業務管理係長	親川 巧

○参考人（0名）

○議会事務局職員出席者

議事係長	大城 拓也
------	-------

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

- (1) 議案第 3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- (2) 議案第12号 令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算
- (3) 議案第 4号 令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- (4) 議案第13号 令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算
- (5) 議案第 8号 令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第2号)
- (6) 議案第17号 令和5年度宜野湾市水道事業会計予算
- (7) 議案第 9号 令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)
- (8) 議案第18号 令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算

第449回宜野湾市議会定例会（経済建設常任委員会）

令和5年3月6日（月）第1日目

○知名康司 委員長 皆さん、おはようございます。ただいまから経済建設常任委員会を開会いたします。
これより議事に入ります。

（開会時刻 午前10時03分）

【議題】

議案第3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）

○知名康司 委員長 議案第3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）を議題といたします。

質疑に入る前に担当課より議案第3号についての趣旨説明を求めます。建設部次長。

（執行部説明省略）

○知名康司 委員長 建設部次長、ありがとうございます。

ただいまの議案第3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）に関して説明ございましたが、それに対しての質疑がございましたら手を挙げてください。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしく申し上げます。1点ちょっと確認なのですが、繰越明許費用の補正に係る、右のほうで書いてある9ページのてい一ちが一公園整備事業というものは、この議案の宇地泊区画整理事業の範囲内、それとも別。その確認だけ。

○知名康司 委員長 建設部次長。

○建設部次長 てい一ちが一公園につきましては、宇地泊第二区画整理地内にはあるのですが、事業としては、これは一般会計の都市計画課のほうでの事業としてしていますので、繰越しとか、その事業については一般会計のほうでの多分御審議になるのかなということ考えています。地区は宇地泊第二地区内です。ただ、特会でやっている市街地整備課の事業としては別事業になっています。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。では、ちょっとその確認は以上として。

頂いた資料で、今日頂いた資料なのですが、進捗状況の資料を頂きました。ありがとうございます。この上から見ていくとほぼ全て100%になっていて、一番上の全体事業費ベースというところが99.49%という、もう僅かなのかなというところまで見えていると思います。それで伺いますが、この残り0.51%という部分が今回の執行、今御説明にあった執行残とかに含まれているという認識で合っていますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 はい。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 そうすると、0.51という数字だけで見てしまうと残り僅かとなっていて、これはもう今年度といたしますか、令和5年度でもう終わる見込みの進捗でよろしいでしょうか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 今令和4年度から業務委託を行っておりますけれども、その中で保留地の変更契約とかあるのですけれども、その登記に関する作業がまだ残っていますので、それが終わると完了と考えております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。不測の日数を要しているということで、多少の日程のいつまでにとかできないかもしれないのですけれども、この事業終わった後に何かやることはありますか。この振り返った反省、まとめみたいのをやるとか、まずそれから教えてください。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 今の執行状況というのですけれども、今からの業務なのですけれども、まず換地処分というのが2月20日あたりに終わりました。その後は、あと清算とか、先ほどお話ししましたけれども、保留地の変更計画ということで残っています。保留地変更契約は令和5年度で大体終わるのではないかなというふうに考えているわけなのですけれども、この清算に関しては分割清算金は徴収と交付がありまして、交付は令和5年度内に完了というふうに考えております。徴収に関しては、相手から頂くものですから、分割してまた支払いなど、それで大体5年間、最長5年間ということで見えていますので、ちょうど令和10年度にこの今の事業計画は終わる形になっています。それまでに清算も徴収も完了しようかというふうに考えてございます。清算業務ですね、簡単に言えば残っています。

○宮城政司 委員 次の新年度の話に僕入ってしまっているのです。以上です。ありがとうございます。

○知名康司 委員長 ほかに。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 7ページお願いします。歳出のその中の説明で通信運搬費80万円の減が出ているのですが、その運搬費はどのようなものを指すのか、お伺いしたい。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 運搬費に関しましては、ここでは約1,000人の地権者がいるものですので、通知する場合に切手を貼る等しています。しかし、今回は業務の中でもこれはできるということで、委託の中に含めて発注して、今回は使っていると思います。それが、この運搬費が浮いたという形になっております。それで補正するものでございます。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 この通信80万円、また2目で建設事業費で委託料121万円ですか、減額。これと関連して、委託を通信の関連でやっているのか、マイナスになっているのか、そのちょっと説明をお願いしますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 この一番下の単独と記載されているところでよろしいですか。この辺につきましましては、公園予定地の草刈り業務を考えていたのですけれども、それが都計課のほうで公園事業が入っていますので、工事が入っていますので、それが浮いたということです。管理する必要がなくなったということです。計上するまでは、いつ工事が着工するか、ちょっと分からないところがあったものですから、それで計上してお

りました。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今言うように草刈りができなくて121万円計上した。草刈りでこんなに料金かかるのですか。それとも何回分をまとめたあれを返したのか、その辺ちょっと。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 やはり草刈りというのは年に1回とは限らないものですから、年何回か頼むものですから、それで一応計上してございます。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 満1か年分の予算で、それを返したということによろしいですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 そのとおりです。

○知名康司 委員長 ほかに。細かい部分でもいいです。宮城優委員。

○宮城優 委員 単純というか、今年度事業ができなくて、予算が繰り越すとあるのですけれども、次の年に多分やるはずなのですが、この御時世、いろんなものが物価が上がってきているのですが、それによって予算がまた上がるとかというのはないですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 契約的には、例えば契約を4年度に行います。繰り越したら、この契約のとおりに行うわけです。ですので、それにプラスということはありません。工事の場合は、例えば鉄筋が急に上昇するか、そういった場合はまたそれなりの契約が必要になってくるわけですけれども、委託に関してはそういうことはないです。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 基本的には変わらない。

○市街地整備課長 変わらない。その予算内でということです。

○知名康司 委員長 ほかに。

(「なし」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第3号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前10時16分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前10時16分)

【議題】

議案第12号 令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算

○知名康司 委員長 次に、議案第12号 令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予

算を議題といたします。

質疑に入る前に担当課より議案第12号についての趣旨説明を求めます。建設部次長。

(執行部説明省略)

○知名康司 委員長 では、本件に対する質疑を許します。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 12ページ、10款1項1目の清算徴収金、前年度はなくて、もちろん今年度からということで1,736万5,000円ありますが、この一件一件でトータルでその金額になっていると思いますが、清算徴収、何件ぐらいやってその金額になるのか、お伺いします。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 275名を予定しております。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今年は275名で、あと市のお金をかけてやると思いますが、これは年度ごとに予算を含めてやって…。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 この金額に関しましては5分の1で考えているわけです。5年間ということで。基本的に私たち、役所からとる清算金もあるのです。それを抜いたものに関しましては5で割っているのです、5年間で。その金額です。ですけれども、清算金も取れるときにしか取れないというものもあるものですから、あくまでも予算措置がそういうものであって、たくさん入れれば入るほどいいと思いますし、私たちは通知して交渉してまいります。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 結局5分の1ということは、人数にすると1,000名以上いるということで考えてよろしいですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 今のお話は、この徴収で275名いらっしゃいます。その全金額、徴収すべき金額の5で割った金額を入れているということです、あくまで。徴収する方は275名、280名近くということで考えているみたいな。全地権者で1,000人いるということではございません。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 それと、ページ変わるのですが、16ページの清算交付金4,466万2,000円ありますが、それも同じように何件分の支払いをするのか説明をお願いします。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 交付に関しては、286名、大体280名程度と考えていただきたい。交付に関しましては、私たちのほうで払いますので、その辺は全額で令和5年度で終わると、完了するというふうな予定をしております。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 では、交付の場合も市役所が払うから、ある程度スムーズに行くという考えでよろしいわけですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

- 市街地整備課長 そのように考えてよろしいかと。
- 知名康司 委員長 ほかに。どなたか。又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 13ページなのですけれども、説明02の街づくり区画整理協会負担金というのがあるのですけれども、これ宇地泊の土地区画整理事業が終われば、協会に払う負担金もなくなるというような考えでよろしいでしょうか。
- 知名康司 委員長 市街地整備課長。
- 市街地整備課長 宇地泊、佐真下、西普天間というふうにございます。それをまとめて、一応宇地泊のほうで計上しております。
- 知名康司 委員長 又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 では、宇地泊の土地区画整理事業が終了した後は、別の特会予算のほうにこれが計上されていくというふうな認識でよろしいでしょうか。
- 知名康司 委員長 市街地整備課長。
- 市街地整備課長 そういうふうを考えているところです。
- 知名康司 委員長 又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 では、その下の市街地整備研究会という担当者会議負担金の1万円も同様な考えでよろしいですか。
- 知名康司 委員長 市街地整備課長。
- 市街地整備課長 同様な考えです。
- 知名康司 委員長 いいですよ、今のうちに細かい部分でも含めて聞ける時間で。まだまだ時間ありますので、午前中。建設部次長。
- 建設部次長 休憩をお願いします。

○知名康司 委員長 休憩いたします。（午前10時28分）

○知名康司 委員長 再開いたします。（午前10時30分）

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。少しこの予算の項目とは外れるかもしれないのですけれども、さっきの質疑に少し重複するのですが、この事業全体の総括みたいな業務というのは、この予算に含まれないのですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 すみません。総括とは、どんなイメージを持っていますか。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 そもそもそういうのがあるかどうかという質疑をすべきだったのですけれども、例えばいつからいつまでのスケジュールに対して、実際はどれぐらいのスケジュールかかりましたとか、予算というのは当初どれぐらいの見込みでやっていたけれども、最終的にはこういうふうになったとか、この事業を通してやっていった中で、行政市町村としていろんな気づきとか、次の事業に対してこういうふうなことを生

かしていったほうがいいのではないかみたいな、次につなげるようなこととか、もしくは市民目線で市民に対してこういう事業をやりましたよというようなことを今後何か残しておいたほうがいいのかなとっていて、そういう意味合いで総括は大事かなとっていて。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 事業は今、継続とか、そういったようなことで作成しているのですけれども、令和10年を。それが終わると手続上は一応は終了です。そういうことになっております。ただ、清算金が残れば、取れなければ、どんどん、どんどん続いていくわけですけれども。野嵩もまだ続いている。そういう感じで続いていきます。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 恐らく今僕が聞いたような内容というのは、この予算の中ではなくて、もしやるのであればまた別で、そういう資料作成みたいな事業の中でまとまった情報を基につくられるということで、この予算にはそういうものは入っていないよという理解でいます。ありがとうございます。以上です。

○知名康司 委員長 ほかに。ちょっと代わって。

(委員長、副委員長と交代)

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 先ほど地方債の部分、25ページ、地方債の残り、いいですか。25ページのほぼ終わりに近いと思うのですけれども。現在高及び見込額というのが7億8,700万円あまり、これも予定的には近い年度で返済する予定ですか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 令和10年度を計画しております。

○知名康司 委員 令和10年。最終的に。

○市街地整備課長 そうです。

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 何か先ほどもう完了したようなことでの説明があったものだから、これももう2年内で終了するのかなとっていたら、そうでもないのですね。令和5年度まで。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 基本的には、やはり一番大事なのが換地処分。これが一番の手続の、私たちで言えば区画整理をやっている部署からいくと重要視されます。それで一区切りということです。あとは清算金、あと何年続くかというような考えですので、基本的には、業務的には換地処分を目指して頑張っているというお話です。償還金に関しては、やはりうちの内部のお話になりますので、それもちょうと違うような、業務ではないではないのですけれども、それとちょっと別個に考えています。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 15ページに償還の公債費のほうがありますので、元金としまして2億6,985万7,000円、これが先ほどの25ページの本年度の返還の見込額になりますので、その残で7億8,000万円ですから、約4倍前後ありますので、先ほど言った令和10年度まで、借り入れた時期とかによっての額によってこの償還の年のときの支払いが変わってきますけれども、おおむね令和10年までにこの元金を返していくというふうな計算に

なっています。今回は約2億6,000万円、この償還が予定されているということですので、残り7億8,000万円、令和10年までに返すということになります。

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 考えようによっては、この宇地泊の区画事業はすんなり終わるようなものではなくて、まだまだ令和10年までずっとずっと予算的にも出てくるということになりますよね、今の説明だと。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 先ほど言った順調に進めば、令和5年度で宇地泊の特別会計は一旦終了する予定。ただ、こういった償還関係はどうしても残りますので、それは一般会計のほう、8款のほうで、今も例えば大山の区画整理事業とか、そういったまだ特会に移行していない事業に関しては8款にございますので、逆に宇地泊のほう、こういった償還に関しては8款、もしくは一般会計の中の償還の部分で返ってきたりしますので、そういった形で継続される。通常のほかの道路事業でもそうなのですから、事業が終わってもどうしても償還が続くものがありますので、そこは償還の事業が完了するまでであるというところであります。

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 これは12ページの清算徴収金に関して、多分清算徴収金はなかなか徴収しにくい部分がございますよね。換地処分したときに、本来だったら土地に関して余った部分の請求を個人のほうにやるというか、非常に難しい面がありますよね。交付金に関しては、単純に言えばお金を渡すから、これはやりやすいのですけれども、清算金になると非常に難しいところが出てくると思うのです。これも取りあえず予算的には1,700万円余り出すのですけれども、この辺も交渉事だから非常に難しいところがあると思うのですけれども、それもうちょっと聞いてみたいなと思って。順調に進めば、この予算で済むと思うのですけれども、その辺も含めて。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 確かにそうだと思います。分け方の考え方というのですか、やはり特会の終了時に業務は終了と。やはり清算と償還金に関しては、特会は一般会計のほうでまだやっていきますという考え方でいいと思います。あとは、今清算金は徴収に関しては取りにくいのではないですかというお話がありますけれども、確かに取りにくいところはあります。それで、今私たちは完全に5か年間で分割して返していいですよというふうなものがありますので、この5年見ているわけでありまして、やはり払い切れない方々とか、そういった方々も地権者もいらっしゃると思いますので、それはやはり時間がかかるのかな。それはまだ野嵩とか、そういうのがまだ残っているところです。時間をかければ、何十年かかる可能性もあります。

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 でしょうね。ない人から徴収できませんし、清算というのが一番難しい事業だと思うので。以上です、自分からは。

(副委員長、委員長と交代)

○知名康司 委員長 ほかに。細かい部分でもよろしいのですけれども、進行しますか。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第12号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前10時40分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前10時50分)

【議題】

議案第4号 令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

○知名康司 委員長 次に、議案第4号 令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第4号についての説明を求めます。建設部次長。

(執行部説明省略)

○知名康司 委員長 では、本件に対する質疑を許します。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 よろしくお願ひします。繰越明許費に関わるところなのですけれども、土地の交渉が難航しというところではあるのですが、これはもうめどが立ったという認識でよろしいのでしょうか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 補償費2件でございますが、1件につきましては契約しているところです。契約して、あとは取壊しまではちょっと時間がかかりそうですので、これも繰越しにしておく。あと1件に関しましてはただいま交渉中です。交渉中ではあるのですけれども、もしこの1件ができないような、めどがつかなければ、また次の予備、2件ほど交渉しているところです。その件に関しましては、予備に関しましてはかなり手応えがあると見ている。入替えも考えている、検討しているというところです。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 やっぱり1件難航しているところがあるということは、本当にお金の問題だけなのですか。それ以外のところでも問題があったりするのですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 いろいろ問題はあります。その辺は個人情報のところもあるものですので、もちろんお金の問題もありますし、例えばお墓であれば日が合わないとか、そういったものもございますので、その辺で考えていただければと思っております。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。7ページの保留地処分金の1,587万1,000円で、先ほど御説明で競争入札価格で了承したということだったのですけれども、想定していたより1,500万円以上上がったという理解をしているのですけれども、面積はどれぐらい。これ1つの土地に対して入札でこれだけ上がったのか、幾つあったのか、御説明をお願いします。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 面積の資料を持っていないのですけれども、2筆です。2筆の合計金額が上昇したということです。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。参考までに下がるケースはあるのですか、想定した金額よりも、入札した結果、低くなる可能性も。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 私たちこれ入札ですので、この金額より下がらないように。金額は公表して、これを基にして競争させています。ですから、下がるということはないです。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 続いて、8ページ、歳出のところなのですけれども、3款1項1目で説明をうまくできるかどうか分からないですけれども、備品購入費のときに車両購入費というふうにおっしゃっていたと思うのですけれども、どういった車両を購入しようとして、この33万円という金額から、車両というのは一般的な車の話なんかは想定できなくて、この説明をお願いします。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 この33万円は差額なのです。うちのほうの予算との差額です。契約執行残です。あとはバン、工事用と言えいいですか、そういうものを計上しております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 これは、ディーラーなんかと交渉して安くしてもらおうとか、そういうことですか、33万円は。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 これは入札です。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 8ページ、土地区画整理事業160万円の減になっているのですけれども、この財源が保留地処分金というふうになっているのですけれども、ちょっと教えていただきたいのですけれども、保留地処分した場合、1度基金に積み立てるものだと思っていたのです、私。1度積み立てた後、基金から取崩しをして、財源として使っていくのかなとは思っていたのですけれども、歳出の中に基金積立てがなく、繰り入れというのもないのですけれども、ちょっと僕の認識がおかしかったら、御説明いただけたらと思います。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 ただいまの件なのですけれども、もちろん基金のほうにまず入れてと。ただ、ダイレクトにそういうふうに反映させることも可能です。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、これはどちらも可能ということなのですけれども、何かこれができるもの、できないものというのもあったりするのかな、それともそのときのさじ加減というか、とりあえず保留地処分をやって、今使わないから取りあえず基金に積み立てようという考えなのか、もしくは保留地処分が入って、すぐ歳出する事業があるから積み立てずにそのままこれを財源として使おうという、そのケース、どちらも可能であるなら、どういうふうなケースで予算の財源の組み方というのをやっているのか、教えてください。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 基本的には、やはり財源というのは処分したほうをダイレクトで使うものが基本かなと

いうふうに考えています。今おっしゃったように、年度の予算に合わせて予算を計上しますので、それで一応切り抜けてというのがあります。

○知名康司 委員長 ほかに。市街地整備課長。

○市街地整備課長 確かに一番いいのは、今年1,000万円例えば使いますよ、保留地処分金も極端に言えば1,000万円入ります。一番それがいいです。ただ、計画がありますので…。

○知名康司 委員長 建設部次長。

○建設部次長 特に保留地処分金で保留地を処分すると、そこを買った方々はすぐ使えないというのがあるわけです。そこもまた区画整理の事業を待ってからということではなくて、一定程度の準備ができた状態で販売しますので。ということは、工事の状況とかにもよるのです。最初のうちはなかなか保留地のあるところというのが事業ができていない場合は、なかなか保留地の処分ができないということで、一般会計からの繰入金であったりとかというのをします。また工事が入ってくると、どんどんそういった収益開始ができる場所に保留地があれば、またそれを販売してと。これが結構逆に多くなると、少し逆に充てる事業がなかったりとかするということがあったので、西普天間とか、そういったのもまた基金をつくと。基金をつかって一旦積んでおかないと採算が合わないというところがあります。なるべくは、今言ったように、入ってきたら出してということをもットーにしているのですけれども、なかなかそれが工事の計画とかで収益開始の計画と合わなくなってくるときが出てきますので、そのときのために基金を準備しようということになっていますので、一定程度は基本的に入ってきたら、それが一つの大きな財源ですので、それを使うということなのですけれども、一時的にストップができるということで設置しているというような感じになります。

○知名康司 委員長 ほかに。市街地整備課長。

○市街地整備課長 先ほどの御説明の中で、保留地の面積というお話がありまして、2筆なのですけれども、1筆に関しては小数点はちょっと省いているのですけれども、74平方メートル、もう一筆が137平方メートルです。トータル211平方メートルになります。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 単純な質問になると思いますが、8ページなのですが、1目の説明の不動産鑑定手数料が、マイナス10万とあるのだけれども、どういう形でマイナスが出るのか、ちょっと説明をお願いできますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 その件につきましては、時点修正ということでした。最初から不動産鑑定をするのではなくて、今ある評価の中で基準評価額に自己算定できるように時点、令和4年の何月ですから何%上げると、そういった感じで時点修正を行いましたので、不動産鑑定に委託するまでもなかったということです。それを先にやってもらっています。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 当初は不動産鑑定する予定が、これがしなくてよかったということで返したという理解でいいですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 実は、これ1度入れていますので、本来であれば前の不動産鑑定士にお願いして、意見書ということで10万円未満で大体できるわけです。前のお願いしたところに。しかし、この前にお願いして

いた不動産鑑定士がもう辞めてしまったものですから、私たちが新たに不動産鑑定を入れるとしたら、10万円で。あと不動産鑑定の協会の人たちと相談して、これぐらいであれば時点修正で役所のほうでやって構わないですよというふうな、そういうアドバイスも受けて、それで委託していません。

○知名康司 委員長 ほかになければ進行いたしますけれども、よろしいですか。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第4号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

【議題】

議案第13号 令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算

○知名康司 委員長 次に、議案第13号 令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算を議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第13号についての趣旨説明を求めます。建設部次長。

(執行部説明省略)

○知名康司 委員長 それでは、本件に対する質疑を許します。下地崇委員。

○下地崇 委員 2款3項1目、3ページの土地区画整理県補助金が本年が2,520万円計上されていまして、前年度が1,350万円、比べると、2倍まではいかないのですけれども、結構大きく膨れています。その要因をお聞きしてよろしいでしょうか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 令和4年は工事1件だけということで予定していたわけですが、令和5年度に關しましては補助1件、工事1件というふうになっております。その分が事業費というふうになっています。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 ありがとうございます。補助の費用に工事の費用も入っているから、前年度よりかは大きくなっていると。

○市街地整備課長 令和4年度は工事のみ、令和5年度は補償と工事。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 次に、4款1項1目の一般会計繰入金になります。4ページ、次のページです。2億3,617万円、今年度予算額なのですが、前年度に比べて逆に2,246万3,000円減額になっていますが、逆に減る理由というのは何か。教えていただけますでしょうか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 補助のところに関しましては増えているわけですが、単独のほうで減っているのです。全体的には、事業費のほうがちよっと減になっているということです。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 事業費減ということで、いわゆる景気の影響とかで事業者さんの事業がまとまっていないとか、民間の影響によるということですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 主に物件補償の減が主になっています。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 理解が追いついていないと思うのですが、補償が予定よりも本年度はちょっと少なくなる見込みになるということですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 補償費に関しましては予定していたとかではなくて、全て各補償、市外もあわせて去年の補償費は例えば1件5,000万円だと、でも来年度のものはちょっと家が小さくなったら3,000万円、そういったものがありますので、その都度計算したものです。算定した金額になっています。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 9ページの保留地処分金、もう一度。先ほど説明いただいたのですけれども、もう一度説明いただけますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 保留地は、令和5年度に関しては1筆です。

(「前年度は1筆」という者あり)

○知名康司 委員長 建設部次長。

○建設部次長 私2筆というふうに説明しましたけれども、1筆の訂正をお願いします。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 面積は138平米ということになっています。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、この9ページの前年度予算の5,900万円、当初は令和4年度で立てていたときの5,900万円の計画、平米はいらないのですけれども、何筆を保留地処分として5,900万円というのを立てていたかというのを教えてください。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 令和4年度ですね。先ほどお話ししましたけれども、2筆です。211平米。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 今年度、令和4年度当初立てていたときは2筆の保留地処分をするという計画を立てて、令和5年度は1筆、それが1,600万円というところなのですけれども、すみません。先ほどの補正のほうの1,500万円プラスの要因というのをもう一度説明いただけますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 先ほどのお話で2筆と言いましたけれども、当初は3筆です。令和3年度に買えないかもしれないということで、令和3年度1筆も含めて。令和4年度の計画していた2筆と足して3筆ということです。すみません。しかし、令和3年度に売れたから、結果的には令和4年度は2筆が実績と書いてあるわけです。その2筆の私たちが計画していた金額より2筆とも高く売却できたということです。それが1,500万ばかりの金額になっています。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 ちょっと全体的な流れを知りたくて、令和4年度当初立てていたときはとにかく3筆の保留地処分が出るだろう。だけれども、そのうち1筆が令和3年度の段階で保留地処分ができたので、当初5,900万円立てていたけれども、令和4年度で保留地処分をするのは2筆分ということですね。その2筆分の価格が高くなったので、補正の中で1,500万円プラスが出たところなのですけれども、当初からやって、10月で1回3,500万円の減をしているのではないですか、補正減。なので、当初予算で3筆と当初立てていたものからの10月で3,500万円の減をした後に、3月補正で1,500万円の増になって、今回1,600万円の計上。同じ土地なのか、別の土地での3,500万円の減の分がどこに入っているのかという一連の流れをちょっと知りたくて、その要因というものを御説明いただけたらと思うのですが。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 当初予算計上したときのこの3筆のその中の1筆は、令和3年度に売る予定をしていたものなのです。それで、もしかしたら契約できないかもしれないということで、そういうふうに令和4年度に計上しました。しかし、令和3年度で売れたのです。それで3,500万円の減にしたわけです。そういうことです。あと2筆残りますね、今年度分。それを売却すると1,500万円多めに売却できたということです。

(「委員長、ちょっと休憩」という者あり)

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前11時15分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前11時19分)

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 1点だけ。今のこの保留地処分金の件なのですけれども、先ほど138平米とおっしゃって、それぐらいだとして、予算で見ると恐らく1坪40万円ぐらいというふうに見ているのだろうなと思ったのです。この議案の前の補正予算のときに1,500万円増になったのは、恐らく坪単価が20万円ぐらい上がっている計算になると思うのです。入札した結果、恐らく。昨年度も坪40万円程度で上程していたときから20万円上がっている。相場がどれぐらい実は上がっていて、今回の新年度予算で坪40万円で見るのが妥当なのかどうかはどうやって算出されていますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 私たちがこの標準的な単価設定しております。入札になった場合、やはりこういうふうなものが出てきます、坪20万円高いとか。不動産鑑定勉強をした際に聞いたことがあるのですけれども、やはり不動産鑑定の場合はこういった入札とか、自分たちが出したものより急激に上げたものに関してははじくと。やはり適正ではなく、不動産鑑定の中で適正ではないということで、自分たちの鑑定でまずやります。不動産鑑定はそれを基に私たちは根拠を一つ持つわけです。軍用地でも大体こういう感じです。みんな50倍、50倍と言っていますが、ただ50倍ではなくて、何回も不動産鑑定協会と話をしても、やはりちゃんとしたものは幾らですよと出してくれます。それが私たちの根拠になっています。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 昨年度の保留地処分金額の坪単価と今年度の大きな変更は設けていないということ。大きくは変えてないということで大体変わらないですか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 もちろん場所によって変わりますけれども、場所も変わりますし、どれくらい時間がかかったとか、そういったのも時間によっても変わると思うのですけれども、考え方、算定の仕方は一緒です。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。あと、ちょっと別の13ページで基本的なことを教えていただきたいです。13ページの2款1項2目建設事業費の説明欄01の佐真下第二土地区画整理事業(補助)と説明欄02、その下、(単独)、こちらの違いを説明いただいてもよろしいですか。補助と単独、すみません。基本的なことです。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 補助金をとということで佐真下もやっていたわけですが、この補助対象のものが(補助)というものになります。単独、審議会とか委員会とか、そういったものの雑的なものというのですか、補助でみれないものは単独というふうに分けてあります。その流れが、補助が切れたとしても、(補助)の中に計上したりしております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。その中でどちらも一番下に物件補償とかというのが、今の説明だと恐らく内容が変わってくるものかなと思ったのですけれども、物件補償費がそれぞれにあるというのがちょっと分かりづらくて、そこはどういう分け方になっていますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 まず、補助のところの補償に関しましては、通常の物件補償です。単独の物件補償に関しましては仮住居補償というのがあります。区画整理の場合は土地があります。補償します。補償したら新しく土地をつくります。そこに来るわけです。しかし、計画していたところより延びたりした場合、2年以上かかった場合、こういったときに戻ることができませんので、使用収益できないということで、その辺をまた仮住居補償ということで補償を計上しております。仮住居補償です。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。その仮住居補償の場合は、単独という項目の予算の中で対応するというので合っていますか、この理解で。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 そういうことでやっています。

○宮城政司 委員 あわせてなのですから、同じ項目があったので、工事請負に関してはどういう違いがあるか、説明していただけますか。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 工事に関しましては、本工事というのですか、本来の本工事に関し補助は本来の本工事、ただ取付けとか、それに関わって附帯が出る場合があるのです。そういったものを単独のほうで計上しております。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 工事請負費、補助の費用の部分での工事請負費は直接工事になって、本来の目的、単独の部

分での工事請負費は附帯ということで今おっしゃっていたのですが、この附帯というのは具体的にはどういったものが附帯工事になるものなのですか、本工事ではない附帯工事。

○知名康司 委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 本来、例えば道路工事をします。附帯工事というのは、例えば微妙にそこでブロック塀でちょっとかかったとか、そういったときがある場合があるのです。そのときには附帯工事というふうにしております。今回の佐真下はそういったものだったのではないかと。あとは駐車場のすりつけとか、この道路造ったためのすりつけ、そういった感じのものを附帯工事と。

○知名康司 委員長 建設部次長。

○建設部次長 先ほどから出ていますけれども、いわゆる補助というのは補助先が補助基本額として認めるものです。通常は新しくできる道路であるとかということになります。ただ、単独になるものは、それに付随して出てくるようなもの、そこはさすがに補助で見られませんよというのがあって、それは例えば今の工事であれば、私は市街地の整備で都市計画課ですので、都計課の例えば道路なら、道路をメインに造るとしたら、それは当然補助です。ただ、どうしてもそのそばに道路があったり、建物があったりとかすると、道路はきれいに整備する。高さが少し変わったり、取付けが変わってくる。そういった取付けのために少し奥まで側道をちょっと整備したりとか、相手の敷地の乗り入れをならしたり、そういったことが附帯と出る。これはさすがにちょっとなかなか補助では見られないので、附帯工事として扱われる。そういったのが単独扱いになると。

委託とかも、先ほどいった通常的设计をすとか、何か、ものは全部委託費として認めるわけですがけれども、さっきの借手の補償とかというのは、本来は補償費は出しますよ。ただ、補償のために一旦皆さんの工事の都合で出ていってもらっていると。すぐには建て替えがそばには造れないという場合は、それは対象から外れますよというものが出てきますので、そういったものを補助と単独で分けて予算を整理しているというところで御理解いただければ。

○知名康司 委員長 なければ進行しましょう。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第13号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前11時30分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前11時33分)

○知名康司 委員長 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。その間休憩いたします。(午前11時30分)

◆午後の会議◆

○知名康司 委員長 再開いたします。（午後2時00分）

これより午後の会議を進めてまいります。

【議題】

議案第8号 令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算（第2号）

○知名康司 委員長 議案第8号 令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第2号)を議題といたします。
質疑に入る前に、担当課より議案第8号についての趣旨説明を求めます。お願いします。上下水道局次長。

（執行部説明省略）

○知名康司 委員長 それでは、本件に対する質疑を許します。下地崇委員。

○下地崇 委員 令和4年度補正予定キャッシュフロー計算書の2番、投資活動によるキャッシュフローとあるのですが……

○知名康司 委員長 ページがいいな、ページ。

○下地崇 委員 3ページの2番目のほうです。投資活動によるキャッシュフローとあります。投資活動の内容というか、意味を教えてください。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 投資活動というのは、水道事業を行うために配水施設の工事の器具備品とか、こういったものに係る経費です。設備投資です。水道管を配管したりする経費になります。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 少し飛んで、5ページ、教えてくださいなのですが、負債の部と資本の部とあるのですけれども、負債の部と資本の部の名目というか、この内容も教えてください。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 負債と資本のそれぞれの違いですけれども、大まかにいいまして、負債と申しますのは水道事業がもともと持っていないで、借入れ等によって、いずれは返済しなければならないもの、資本につきましては大まかに申しますと、民間の企業と資本金ですとか、内部に蓄積している利益ですとか、それからもともと事業がスタートした時点から引き継いでいるような資本金ですね。

（「内部留保金」という者あり）

○総務企画課経理係長 内部留保。その事業を持っていて返済する必要のない金額を…。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 負債の部の説明のほうで、先にやる準備資金というか、先ほどの投資と連動する、関連するようなものの意味合いなのですか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 投資は資産の部の、固定資産、例えば1番、有形固定資産のハの構築物ですとか、その辺りが配水管の整備にかかった事業費などが計上されていて、この資産の部と貸方のほうには源泉が記載されております。ですので、この配水管の事業費が何を基にしてつくられた負債なのか、それとも流動資産なのか。右側に記載されておりますのは源泉が表示されております。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。補正予算書の9ページをお願ひします。令和4年度の宜野湾市水道事業会計補正予算第2号概要の実施計画明細書から質問させていただきます。

1款1項1目水道使用料の備考欄のところで、先ほど次長からの説明にもあったと思つてゐるのですが、新型コロナウイルス感染症の影響による経済支援策に係る水道基本料金免除2,441万4,000円とあるのですが、これは何事業者がこの対象というか、計上されたかお聞きします。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回の水道基本料金の免除をしている事業というか、件数というのですか、これにつきましては現在営業用の給水契約を締結しております3,277件を対象に、令和4年6月から9月までの4か月間の免除。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。これは何か申請ベースですか、それとも契約している相手は分かつていらっしゃるはずなので、自動的に対象になるか、どちらだったでしょう。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 料金の通知書とか、そういったのから基本料金を免除して差し引いて、通知しております。申請は要らないということ。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ということは、全事業者が対象になつたというふうに理解していいですね。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 給水契約を締結している事業者は全事業者ということ。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 この免除の措置、大分収入が減つただろうというふうに思ふのです。実際に減額はされてゐると思ふのですけれども、結果その次の行にある水道使用料見込額2,848万3,000円増額というふうにあるのは、この減額とは別で、そもそも利用料の増額というのが見込まれ、その関連性というのですか、免除して減額された、収入減りそうな感じなのですか。これは、もし免除がなければ、ここのトータルが増額補正になつたのかという見方をちょっと教えてもらいたいのですけれども。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 おっしゃるとおり、今回水道使用料の見込額も2,800万円ほど増額しております。これについては、一般家庭用がやはり新型コロナの影響によって手洗いとかうがいとか、そういったのが定着してきているのだろうと考えておまして、少し使用量が増えてきているような形。それに伴つて、水道料金も増額を見込んでおります。もし基本料金が免除されなければ、実際2,400万円は入つてきているものですので、2,800万円の増額補正ということ。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 これ事業者ではなくて、個人向けの免除というのは並行しているのか、どうだったか分からないのですが、あつたと思ふのですけれども、その補正というのは別のタイミングでされてたのでしょうか。ちょっと覚えていなくて。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 個人といいますと、一般世帯ということですね。令和2年度に全給水契約者を対象に行いました。そのときは2億円余りの減額となっていましたけれども、そのときも3月補正で、また、そのときにも地方交付税臨時交付金の対象になっておりますので、それを受け入れるためにも一緒に補正したと。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 年度が違った時期がずれていたというのですか、今回は事業者向けの免除の対応の補正予算ということですね。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 令和2年度は全給水契約者を対象に免除したのですけれども、2億円というすごい減額がありましたので、そこまでの体力がございませんので、令和3年度と令和4年度、前年度と令和4年度は営業用の給水契約者を対象に免除しております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ちょっと細かいかもしれないですけども、最初にやった全契約者のときは、事業者も含まれていたのですか、それとも個人というか、一般家庭ですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 給水契約者ですので、事業者も含まれています。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 では、この事業者というのは、複数回、免除の措置があったというふうなことで合っていますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 そのとおりでございます。

○知名康司 委員長 ほかに。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 お願いします。水道使用料の見込みはいつもどのように計算しているのか、教えてもらえますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回の見込額ですけども、今年度の12月末までは今年度の実績値のもので計算しております。1月から3月までは前年度の1月から3月を見込んで、同程度入ってくるだろうということで見込みで入れています。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 基本的にはスライドしているような感じですか、この金額を。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 12月までは実績値、実際に入ってきた数字ですので、それは実績値を入れられる。1月から3月はちょっと去年を踏襲してスライドしている形になっています。

○知名康司 委員長 ほかに。ありませんか。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 3ページのほうで、未収金の増減額とか未払い金の増減額がありますが、例えば未払い金の増減額がマイナス1,559万3,815円、こんなに減って。これは減っているのかな。こんなにあるのかな。

(「どちらですか」という者あり)

○濱元朝晴 委員 未払い金の増減額が減少ということで、3ページの間辺り。マイナスとか、また未収金の増減額の、これは1,423万円、こんなに取れないのがあるのか、その辺ちょっとどんなことのようなのか。未収金の増減額が、予定額がありますね。

(「この言葉の説明からお願いします、3ページの。」という者あり)

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 用語の説明ですけれども、未払い金というのは貸借対照表の3月31日時点でまだ支払いをしていない金額を未払い金と申します。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 この未払い金が1,559万円ぐらいあります。何件辺りの。算出方法。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 1,500万円の算出方法ですけれども、令和3年の決算額に令和4年度の予算額を合わせたものを比較して、1,500万円減ったということです。

○濱元朝晴 委員 金額はこんなに減ったと思いますが、何件辺りの納付ならあれで、この数字が出ているのか、それ分かりますか。分からなければいいのだけれども。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 件数については、詳細に手元にありませんので、分かりません。

○濱元朝晴 委員 というのは、あまりこの件数が多ければ経営に支障を来すのかなと思って、その辺のまた集金の仕方とか、そういうのが出てくるかなということで質疑したのです。それで大丈夫です。

○知名康司 委員長 ほかにも。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 1つだけ聞いていい。

(委員長、副委員長と交代)

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 営業外収益で、9ページで分かりやすいかな、説明までついているから。営業外収益で1,200万円の一般会計補助金というのが入っておりますけれども、これも経済支援策に係る一般会計からの補助金の増ということでございますが、この今回に関しての先ほどコロナの影響でとなるのか、今回の補正に関してだけですね、1,200万円、一般会計から入るのは。

○宮城政司 副委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 先ほど基本料金を免除したことによる2,400万があつて、収入が減しております。これは市内の経済対策という形で行っている。これについては、地方交付税臨時交付金の対象事業ということもありましたので、これを一般会計の補助金として今回1,200万円繰り入れをしております。

○知名康司 委員 だから、今回だけに限って1,200万円の補助金。

○宮城政司 副委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 令和2年度から基本料金を免除して行っておりまして、その都度額は違うのですけれども、令和2年、令和3年、臨時交付金から、一般会計からの補助金として受入れはしております。

○宮城政司 副委員長 知名康司委員。

○知名康司 委員 これは、先ほど言ったような臨時交付金が入っているから受入れするのですね、当然。

○宮城政司 副委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 当初見込みで、これがなくても基本料金を免除できる額を算出して、ある程度この程度だったら基本料金を免除できると。地方創生臨時交付金がなくてもできるという見込みで基本料金の免除を行ってきましたが、最終的に繰り入れできるお金があるということです。企業ですので、もらえるものはもらおうと思ひまして…。

(副委員長、委員長と交代)

○知名康司 委員長 ほかになければ進行していきたいと思いますが、いいですか。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第8号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

【議題】

議案第17号 令和5年度宜野湾市水道事業会計予算

○知名康司 委員長 次に、議案第17号 令和5年度宜野湾市水道事業会計予算を議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第17号についての趣旨説明を求めます。お願いします。

(執行部説明省略)

○知名康司 委員長 では、本件に対する質疑を許します。宮城優委員。

○宮城優 委員 今次長がおっしゃられた、電力が上がるというふうな説明があったのですが、それが加味されての予算になります。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 債務負担行為に契約変更しないといけなくなるということで、これは電力の値上げ幅も入れて、加味して計上しております。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 これは、一般的に5月以降にとかというふうに新聞報道とかあったのですけれども、それでいくと39%上がるみたいな報道があったのですけれども、この下水道工事に関しては何%上がるとかというのは出ていますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 電力の動力ポンプとか、そういったものによって違うのですけれども、多くて大体40%程度。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城優委員。

○宮城優 委員 40%上がるということで、これがまた水道料金に転嫁されるというのは。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回の値上げ幅については通常の水道の料金に関する関連はございませんので、値上げとかそういうことはございません。

○知名康司 委員長 ほかに。下地崇委員。

○下地崇 委員 3ページの収益的収入の中で2番の営業外収益の中の4目一般会計補助金310万8,000円の備考欄に児童手当とあるのですけれども、児童手当からの収益ということになりますか。説明をお願いします。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 営業外収入の一般会計補助金の児童手当でございますけれども、水道事業の職員に対して支払う分があるのですが、その中に一般会計が負担すべき分がございまして、その分を一般会計から繰り入れる、そのための科目になっております。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 児童手当の枠というか、そういうものを使って一般会計の補助金にしていると、ちょっとよく理解できていないのですけれども、児童手当という表記にしてある理由というのはあるのですか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 水道事業職員に対する児童手当です。これを水道事業が支出をするのですけれども、その支出する額というのは全体の中の一部です。その中で一般会計が負担すべきものが一部に対する児童手当の中にありますので、一般会計からも負担して、両方から児童手当として職員に給付する仕組みとなっております。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 児童手当の認識が、お子さんのいる世帯、子供1人当たり1万5,000円、第3子からは1万5,000円、第2子まで1万円になっていると思うのですけれども、その分を職員さんに、御家庭にいるお子さん方に行き渡るのがこれからのお金ということの認識でよろしいですか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 一般会計の負担分もありますので、一般会計からも繰り入れをする。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 であれば、払うお金であれば、収入ではなくて支出なのかなという認識なのですけれども、収入の部分に児童手当が入って、出す予定のお金になると思うものですから、払うものを予定して、あらかじめ収入として納めていると認識してよろしいですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回水道事業として負担する部分と一般会計から負担する部分というのがございますので、それは一般会計から繰り入れたお金がないと支払いができませんので、それを収入として、言わば収益として繰り入れて、それで支出としてまた支払いをするという形になります。

○下地崇 委員 繰り入れておいて、払うために。ありがとうございます。

次の5番の長期前受金戻入9,230万4,000円、補助金等による減価償却費未払い戻入ということですが、これも収益の部分にあるので、お聞きしたいのですけれども、どういった形で収益としてなったのか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 長期前受金戻入ですけれども、その中国庫補助金長期前受金を例としてお話ししますと、県から国庫補助金として収入がございまして、国庫補助金の収入は減価償却費と見合った形で1度全

体の補助金の額を受け入れるのですけれども、減価償却として未払いの分だけを毎年、再度補填収入として計上しております。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 図面でいただいているようなところだったりとか、配水管の老朽化とか、基金を使えるようなお金として見合った分を毎年、これは国庫補助金としてというのを、定額で毎年入ってくるような収益だと認識してよろしいですか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 現金の収入は長期前受金戻入では計上されません。入ってこないのですけれども、最初に布設した年に一括で。減価償却もそうですけれども、減価償却費も費用としてお金は出ていかないので、同じように長期前受金も現金としては入ってこないのですけれども、経理上の処理として毎年、収入されるという…。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 これは何年分ぐらいで変更しているのですか、減価償却。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 これは資産の耐用年数と対応しておりますので、先ほど申しましたように、構築物ですと40年。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 場所によって耐用年数が変わるけれども、大体40年を見ていると。これが耐用年数、減価償却になっているということですか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 多少といたしますか、資産に応じてです。

○上下水道局次長 建物であれば、建物の耐用年数、管路でしたら管路の耐用年数、そのものによって耐用年数が違いますので、その耐用年数で割り振っている。

○知名康司 委員長 ほかに。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 宜野湾市の有収率はどのくらいになります。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 令和3年度末実績でしか今ございませんが、有収率としては96.15%。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 おそらく全国的に高いほうだと思うのですけれども、今回老朽管の更新ということで、それを行使することによって、この有収率というのは、またそれは上がっていくのですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 漏水が減れば有収率は上がっていきます。管路を更新すれば、それなりに上がっていくと思うのですけれども、ただ距離が長いのですから、これが追いつくかどうかというのものもあるものですから。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 そうしたら、今これ赤いところで記されているのが今回優先的にということであると思うのですけれども、これ以外でも漏水している場所とかというのを把握しているのでしょうか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 漏水に関しては、その事案、事案でしか分からないのです。調査を行って、漏水が発覚すればそこは修繕して。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 ということは、工事がうまくいって令和5年度に完了するのであれば、また営業収益等に関わってくるというイメージでいいですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 有収率が上がれば、営業収益も上がってくるという形になります。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 最後にもう一つだけ教えてほしいのですけれども、棚卸資産の1,800万円の限度額があったと思うのですけれども、この限度額の定義が何かあれば教えてほしい。棚卸資産の購入限度額の定義。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 この棚卸資産の限度額に関しましては、令和5年度購入予定の量水器、水道メーターの購入予定額が限度額となっております。

○嶺井拓磨 委員 水道メーターの買う予定の額が棚卸しの増額になっているということ。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 そのとおりでございます。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 購入している数というのは、どういうふうにして決められたのですか。

○知名康司 委員長 業務管理係長。

○業務サービス課業務管理係長 これは、令和5年度の水道メーターの取替え予定個数、8年に1度、量水器を取り替えないといけませんので、その予定個数を算出したことと、また新規で給水申込みがあつて、工事など設置するメーターを計上しているという形になっています。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ちょっと細かい言葉の確認をさせてください。頂いた資料で、赤い線の算定のところで、老朽管更新とポツの耐震化工事3点と書いてあるのです。地図上で3つ、3か所赤い丸で説明していただいて、①、②、④がそうだと思うのですけれども、この地図上では配水管改良工事と書いてあるのです。耐震化工事という工事のイメージが湧かなくて、この1、2、4と老朽管更新なのかなと地図上では思ったのですけれども、どれが耐震化工事があるのか、どんな工事が、教えていただけますか。

○知名康司 委員長 水道施設課長。

○水道施設課長 御質問の件ですが、配水管の耐用年数が40年となっております、これを改良するときに新たに布設する管路、こちらを同時に耐震管路に入替えをしております、管路自体を耐震化している形になっております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。では、今回のところ、3件、赤い字で書かれたところは全て耐震化の管に替えるのも併せてやっているということでもいいですか。

○知名康司 委員長 水道施設課長。

○水道施設課長 そのとおりでございます。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。続いての質疑なのですけれども、予算書の24ページ、明細書のほうからここだけ確認させてください。24ページ、収益的収入の1款3項1目の過年度損益修正費のところの備考欄で、瑞慶覧基地給水消費税還付金とあるのですけれども、これの説明をお願いします。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 瑞慶覧基地、24ページ、1款3項1目の過年度損益修正益の備考欄、瑞慶覧基地給水消費税還付金、これにつきましては瑞慶覧基地に給水している沖縄市、北中城村、北谷町、宜野湾市のほうで給水をしているのですけれども、北中城村のほうでいろいろ上水購入とか、そういったものを行っております。それに係る経費をこちらのほうから支払っているのですけれども、それに加味する消費税、掛かっている消費税、それが還付されるということ。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。これは、毎年そういう購入等があつて、支払いも宜野湾市が負担していると。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 瑞慶覧基地の給水消費税還付金ですけれども、これまでは毎年発生してございました。今年度、協定の改定を、次年度、令和5年度ですか、改定して、書いた内容に沿って進めていきますので、還付の科目は令和6年度からは計上されません。1年遅れてこの科目が計上されますので、その点のスタートは令和5年度で、令和6年度以降は消費税の還付の科目は計上しない。毎年発生するわけではなくなるということです。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 すみません。協定の内容というのはどこかで見られますか。これまでなかったということですか。令和5年度から協定が有効になっていますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 令和5年度までは過年度損益修正益はあるのですけれども、協定を見直して、今まで施設耐過料としていただいていたもの、払っていたものを水道使用料、委託料に科目変更することになりますので、令和6年度からは修正益はなくなります。令和5年度までは毎年あったということです。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 分かりました。後ほどでいいので、協定の変更した内容とか資料とか頂けたらと思いますけれども、できますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 まだ協定は締結しておりませんので、資料として出すということはいけません。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 これはいつ頃の予定とか、そういうのは分かりますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今年度末では締結できると思います。

- 宮城政司 委員 令和4年度末。
- 上下水道局次長 はい。令和5年度から変わってくる形。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 決まったら、また教えていただくことはできますか、どういうふうな協定だったか。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 見直し前のものであれば提供できます。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 今すぐというわけではなくていいので、今あるものと、あと年度中に決まるのであれば、どこが変更になったかが分かるような資料を決まった後とかでいいので、また要求します。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 これは委員会で。個別でよろしいですか。
- 宮城政司 委員 はい。すみません。よろしくお願いします。以上です。
- 知名康司 委員長 又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 よろしくお願いします。3ページ、今ちょうどこの話が出たので、確認していきながら、また御説明いただきたいと思うのですけれども、今の瑞慶覧基地給水に掛かる消費税の還付金が…、その前に過年度損益修正益というものの説明をお願いします。
- 知名康司 委員長 経理係長。
- 総務企画課経理係長 過年度損益修正益の御説明をします。こちらは3項特別利益に記載されています。営業収益というのが通常事業を行って収入される科目、それから2番の営業外収益が、営業外ですけれども、営業外の収入、それから特別利益については一般的に毎年度入ってくるような収入ではなかったりするもの、特別な理由によって収入されるものがこちらに計上されてくるというものでございます。
- 知名康司 委員長 又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 特別利益の説明で、毎年入ってくるものではないものということではあったのですけれども、ちょっとこれ毎回僕のほうでも議論させていただいているのですけれども、なぜ毎年入ってきている消費税の還付金を、営業外収益の中の3番、消費税及び地方消費税還付金に入れずに過年度損益修正益として計上するのか。先ほどの説明であれば、特別利益というのは毎年度ではなく、単発であるときにここに入れるものということでの説明ではあったのですけれども、現時点では毎年消費税還付金が531万4,000円、ここで計上されているもの。毎回ここに計上されている理由というのを教えてください。
- 知名康司 委員長 経理係長。
- 総務企画課経理係長 失礼しました。毎年計上されない特別なものという計上理由のほか、年度をまたがったもの、過年度のものについてはこちらの特別利益の科目、過年度損益修正益という科目で収入いたしますので、瑞慶覧基地の給水消費税還付金というのは、これは令和5年度の還付金ではなくて、その前の年度の令和4年度の還付金ですので、こちらの科目で収入しているということでございます。
- 知名康司 委員長 又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 下水道事業の中ではこういった還付金を、下水道事業会計のほうでは営業外収益のほうで入っていて、水道事業の場合はこっちに入れているということで、協定、それぞれ北谷町、北中城村、沖縄市、

協定結んだ後にそこからは過年度損益修正益のほうではなく、私自身の認識としては3番の消費税及び地方消費税還付金の中に入っていきものだと思っていたのですよ、この協定を結んだ後に。ただ、コロナがあって、ずっと4市町村の会合ができなかったということもあって、ずっと修正益のほうで計上されていたとは思いますが、次年度、協定を結ぶような形になって、そうすると消費税還付金というものがここからはなくなるということの話だったのではないですか。委託料というふうに先ほどおっしゃっていましたが、委託料としてこれは入ってくるという認識でよろしいのでしょうか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 この委託料は、北中城村が行っている水質検査、そういったものがこちらから支払うような形で、瑞慶覧基地に給水している水質の検査を北中城村が事務負担で落としている、調査している、それに対する委託料をこちらから支払うような形になります。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 たしか消費税還付金は、毎年340万円ぐらいだったはずなのです。これはあまり変動しないですよということの話だったのですけれども、今回530万円。340万円から数字が上がったときは、大体給水ポイントが変わったときに上がりましたとか、漏水があったときにここに入りますという話だったのですけれども、例えば次年度、令和5年度に協定をして、委託料として払う側になったときに、この項目が消えてしまうと、例えば先ほど言った漏水の部分というのはどこに計上されていくのか。要は、修正益というものはそのまま残った上で、それ以外の瑞慶覧基地給水の消費税還付金以外のものはそこで受けていくのか、そもそも勘定科目がなくなったときにどこで受けるようになるのかというのを御説明いただけますか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 もう少し今回の瑞慶覧基地、消費税の還付金について説明させていただきますけれども、従前の協定改定前の処理ですと、取りまとめの北中城村で基地の給水に係る収入と支出を差し引きしていたのです。その結果、我々に来るのは差し引きした分として施設提供対価料として収入していました。消費税の計算は北中城村でしていますので、その消費税の還付金は年度を超えて入ってくるわけです。それが現状でございます。それが協定が改定されると、宜野湾市の水道事業で北中城村が取りまとめをせずに、瑞慶覧基地に係る収入は収入として受け入れて、なおかつ宜野湾市の分の支出は、委託料ですね、の部分は支出いたします。そうするとどういうことになるかといいますと、宜野湾市で消費税が計算されますので、このまま消費税の計算もこの年度で行われます。したがって、どの科目にいくかというふうにそれに答えますと、通常我々の消費税の計算、つまり営業外収益の消費税の還付金ですとか支出側でという、その結果、特別利益がなくなるというふうな形になります。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 先ほどの児童手当、一般会計からのものなのですからけれども、あれは下水道事業のほうには計上されていなくて、水道事業のほうでやっているのですけれども、会計のほうで入っているのですけれども、上下水道の職員の皆さんの児童手当というものは一般会計から繰り入れて、水道事業のほうで会計として計上していきますよという認識でよろしいのですか。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 先ほどの児童手当でございます。委員おっしゃるように、水道事業会計の職員に対

して支出なり、繰り入れとなります。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、下水道事業に携わる職員も水道事業のほうで見ている児童手当の分、要は一般会計から繰り入れている部分というのは、その部分という認識になりますか。下水道は下水道であるのか、水道と下水道は別であるのかということ。

○知名康司 委員長 経理係主事。

○総務企画課経理係主事 児童手当の分に関しましても、総務省が定める繰り出し基準に基づいて一般会計のほうに負担することとなっているのですが、水道事業の場合は項目が少ないので、3条の収益的収入の一般会計補助金として収入するのは児童手当のみとなっているので、児童手当というふうに備考欄に直接記載しているのですが、下水道の場合は種類がすごく多いので、児童手当という書き方をせずに、一般会計繰り出し基準に基づく一般会計負担分という記載になっていて、そちらにまとめて児童手当の分も含まれています。

○知名康司 委員長 新垣次長。

○上下水道局次長 下水道に関しては次の次になりますので、そこで説明させていただきます。

○又吉亮 委員 まとめられているのかなと思って、水道の中で。

○知名康司 委員長 新垣次長。

○上下水道局次長 水道事業と下水道事業は会計が別ですので、水道事業で下水道の職員にあてがうということはしておりません。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 20ページの令和5年3月31日現在で貸倒引当金の計上として83万7,282円でやっていて、あと令和5年度の予定貸借対照表を見ても61万3,282円であるのですが、ちょっとすみません。探し切れなかったのですが、貸倒引当金の戻入はどれくらい立っているのか、令和5年度に。たしかこの貸倒引当金の計上の仕方は、パーセンテージではなくて実績に基づいての過去3年のものを見ながらの計上の仕方というふうな記憶なのです。来る3月31日で81万円の貸倒引当金をやっているとすることは、パーセンテージではなくて実数に基づいて大体これくらいだろうという数字が八十何万円、その1年後には61万円というふうになっているということは、20万円ほどの貸倒引当金の数字が減っている。ということは、戻入としてどれくらいあるのかというのが…。

○知名康司 委員長 経理係長。

○総務企画課経理係長 令和4年度末の貸倒引当金が83万7,282円ですけれども、そこが戻入ではなくて、貸倒が発生しましたので、不納欠損が発生しましたので、その分が57万670円。それから、本年度の貸倒引当金が繰入額として34万6,205円ございますので、その分貸倒引当金に加えます。その結果、令和5年度末の貸倒引当金は61万2,817円というふうになっています。

○知名康司 委員長 それでは、進行しますけれども、よろしいですか。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第17号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午後3時16分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後3時26分)

【議題】

議案第9号 令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)

○知名康司 委員長 次に、議案第9号 令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)を議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第9号についての趣旨説明を求めます。上下水道局次長。

(執行部説明省略)

○知名康司 委員長 では、本件に対する質疑を許します。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。11ページ、最後のページについて質問させていただきます。

1款1項2目雨水管渠築造費工事請負費のところ、9,953万円の増ということだと思っておりますけれども、これはどこかというのは。たくさんある場所の積み上げになっているのですか、何か所か、地図とかで分かるようなものですか。もし場所とか何か所か説明できたらお願いします。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回の追加補正の工事箇所ですけれども、現在行っております、今年度完了しておりますけれども、大山第一雨水幹線改築工事、宜野湾漁港のところにボックスの改良工事、あれの延長分になります。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 その1箇所だけの工事の補正ということですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 そのとおりです。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 すみません。先ほど説明があつて、ちょっと聞き取れなかったかもしれないのですけれども、補正が必要になった理由というのはありますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 これに関しては、備考欄のほうに掲げております国の第2次補正予算の追加補正で国のほうを補正として上げております。そこを市のほうに配分で受けた形になります。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 国の補正予算がなければ、次年度にやる予定だったのが、そういう計画で、そもそも必要だったけれども、そこに財源がないところに国からの補正予算があつて、そこに充てて、本年度補正予算として対応できるようになったという理解でよろしいでしょうか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

- 上下水道局次長 次年度予定していたのですけれども、前倒しで今回補正で追加しているものです。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 ありがとうございます。そうすると、こちらの工事はこの補正で完了ですか。それとも、来年度もさらに残りというか、続きがある予定ですか。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 この工事に関しましては、令和5年の12月末、この区間に関しては完了予定でございます。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 では、最後に次になるのですけれども、新年度でもまだ予算が取られて、残り12月までというのをやるのですか。それとも、今回補正したもので金額的には完了ですか。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 今回で完了予定でございます。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 国の第2次補正予算は、用途というのは。市町村へ下りてきて、市町村の中で決められる予算なのですか。あくまで下水道用にと来たわけではなくて、どういった補正予算なのか。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 この雨水管渠築造費に関しましては、防災安全社会整備交付金という補助メニュー、それを受けて現在行っている大山第一雨水幹線工事がございますので、それに対する配分がございましたので計上しています。
- 知名康司 委員長 ほかに。
- （「進行」という者あり）
- 知名康司 委員長 進行いたします。
- 審査中の議案第9号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思っております。これに御異議ありませんか。
- （「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

【議題】

議案第18号 令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算

- 知名康司 委員長 次に、議案第18号 令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算を議題といたします。
- 質疑に入る前に、担当課より議案第18号についての趣旨説明を求めます。上下水道局次長。
- （執行部説明省略）
- 知名康司 委員長 では、本件に対する質疑を許します。又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 先ほどの質疑なのですけれども、児童手当の部分の計上、説明で児童手当というものが4ページの中の営業外収益の中に水道事業で見たときは一般会計からの繰り入れということで、説明で児童手当と書いてあったのですけれども、では下水道事業会計の中でも職員の児童手当、一般会計からの繰り入れというのは、これを見る限りは他会計負担金の中に入っているのかどうかというのを教えてください。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 委員のおっしゃるとおり、児童手当につきましては他会計負担金のほうに下水道事業としては含まれております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 水道事業のときに、たしか310万円とか、多分それぐらいだったはずなのですがけれども、ここで5,700万円計上されていて、大体同じぐらいの額なのかなと思うのですがけれども、ちょっと備考欄を見てみると地方公営企業繰り出し基準に基づく一般会計負担金となっているので、児童手当以外にもどういったものの名目で一般会計から繰り入れができていますのか、ほかのものは何がありますでしょうか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回の他会計負担金に関しましては、普及促進活動、下水道の老朽化と、あと雨水管渠にかかる経費、今回の雨水に関する工事、設計とか、そういった経費もここに含まれてございます。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 ちなみに児童手当の分は幾らになっていますか、この中で。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 8ページ、下の行です。児童手当、本年度264万1,000円が今回児童手当として計上しています。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 予定貸借対照表なのですがけれども、22ページ、令和4年度の予定貸借対照表で、減債積立金が2億5,000万円で、1年度後の予定貸借対照表を見ると5,000万円になっているということは、減債積立金から2億円の取崩しをするのだなということが分かるのですがけれども、その2億円を取崩して、1ページの第4条、補填するもの、資本的収入から支出の予定額で、その足りない分は減債積立金2億円を補填しますよというところなのですがけれども、令和5年度、要するに令和6年3月31日で減債積立金の試算が残り5,000万円となる中で、その翌年以降、この収入よりも支出が上回っている部分は残り5,000万円しか残っていないではないですか。企業債、減債積立金だけでも、企業債償還にも充てずにこの辺の全体的な収入、足りない部分の支出を補填するような形なのですがけれども、それ以降は足りない分は、もう残り5,000万円しかないけれども、大丈夫なのかなというところです。御見解いただけますか。

○知名康司 委員長 経理係主事。

○総務企画課経理係主事 17ページの減債積立金からの5,000万円となっているのですがけれども、それは令和4年度で出た利益を議会の議決を減債積立金へ積み立てる前の額となっているよりは多少は増加します。また、補填財源につきましては減債積立金だけではなくて、損益勘定留保資金などほかの補填財源もありますので、令和6年度としてもこの中で行えるのではないかと考えております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 減債積立金からの取崩しをしての補填というのが5,000万円になる。それからちょっと増えるということがあったのですがけれども、1ページの第4条の部分を見ても、やっぱり一番補填する財源で一番大きいのが減債積立金の2億円というところが、それ以外は9,500万円と5,700万円というところなのですがけれども、ちょっと危惧しているのがその辺で、資産としての減債積立金が5,000万円に目減りしたときに、

これ以降の補填が可能なのかというところではあったのですけれども、ほかのところの補填財源というのが損益勘定留保資金だったりとかがあるということではあったのですけれども、ではそれ以降は減債積立金からの補填財源のウェートとしては小さくなって、それ以外のところが大きくなっていくのでしょうか。

○知名康司 委員長 経理係主事。

○総務企画課経理係主事 減債積立金をどうしても積み立て過ぎてしまいますと、債務の償還などにしかその分を充てられないので、補填財源の残高としてはありますが、実際4条で不足している分は賄い切れないという状況になってしまいます。そのために減債積立金を先に充当して、ほかの充当先が決まっていない損益勘定留保資金などを残していく、経営処理を今選択しております。なので、委員おっしゃるとおり、今年度は2億円なのですが、次年度以降は減債積立金が本年度に比べては少なくなると考えています。

○知名康司 委員長 4時前ですから、会議時間の延長を諮りたいと思います。

会議時間の延長についてお諮りいたします。本日の会議時間は、議事の都合により、この際あらかじめこれを延長したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

ほかに。宮城優委員。

○宮城優 委員 ちょっと場所の確認なのですけれども、この地図の青の3、大山第一雨水幹線改修、これ学校法人SOLA学園横の、位置的にそこですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今回3番目の大山第一雨水幹線、先ほどの補正の中で補助金が追加補正になったということで、前倒しで行うことになりました。予算的としては、時期的にこれは計上して、後で出てきたものですから、これが修正できませんでした。計上しておりますが、実際は今回の補正で工事は完了すると。場所的にはSOLA学園の横になります。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 大分ストップしていたような気がしたので、今の答弁で理解できました。ありがとうございました。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。32ページと33ページにちょっとまたがるのですけれども、資本的支出の1款1項1目の委託料のところの備考欄で、上原污水枝線磁気探査業務委託というところが32ページで、33ページはこちらは雨水管の管渠のほうなのかな。一番上のほう、委託料で真栄原雨水支線磁気探査業務委託とあるのですけれども、それぞれ磁気探査業務の目的を伺います。不発弾調査ということで合っていますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 この磁気探査につきましては、下水道とかにかかわらず、磁気探査は行わないといけない業務になりますので、工事に関わる事前の磁気探査になります。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 これは、先ほど言ったように不発弾のことも考慮されていますか。

- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 不発弾が主です。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 ありがとうございます。不発弾であれば、例えば防衛とかからの占用というか、補助みたいなことがないのですか、探していないですか。市で負担しなければいけないのかなというところで、そういったところを、すみません。予算上、出てきてはいないのですけれども。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 32ページ、33ページ、この磁気探査に関しましては補助事業として計上しておりますので、汚水の場合は一括交付金、振興交付金です。雨水の場合は先ほど言った防災安全社会整備国庫補助金。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 これは割合とかあります。100%補助で来ます。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 一括交付金、防災安全とも10分の6。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 10分の4は市の持ち出しというか、市というか。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 はい。
- 知名康司 委員長 宮城政司委員。
- 宮城政司 委員 これは、何か国とかに要請というか、要望を出せないものなのですか。
- 知名康司 委員長 上下水道局次長。
- 上下水道局次長 これに関しては、一括交付金も社会交付金も全て沖縄に関しては補助率としては高いほうで、これを上げてくれという動きはございません。
- 知名康司 委員長 ほかに。又吉亮委員。
- 又吉亮 委員 4ページの収益的収入の特別利益で、その他特別利益で貸倒引当金戻入16万1,000円計上しているのですけれども、これは何か見込みというか、あれがあるのか。たしか今まで僕の記憶では貸倒引当金戻入は計上されていなかったのではないかなと思っていて、今年これが計上されているということは、何かしら16万1,000円の、その根拠が知りたいです。
- 知名康司 委員長 経理係主事。
- 総務企画課経理係主事 貸倒引当金なのですけれども、毎年予算の編成と実際の不納欠損額と未収金の額を用いて、年度末にどのぐらいの額を計上しておくべきか、算出するのですけれども、先ほど委員がおっしゃっていたとおり、過去3年の実績を用いて行っているのですが、令和4年度末の数字から令和5年度に取り崩す額を差し引いて、さらに令和5年度の貸倒引当金の見込額との差額を貸倒引当金戻入のほうに計上してしまして、令和5年度に関しましては下水道事業が法適用してございまして、法適用前の時期が未収金が少なくなっておりましたので、その間、貸倒れの実績率が低くなってございまして、令和5年度を算出した結果、令和4年度よりも貸倒引当金を計上すべき額が低くなった結果、今回戻入となっております。
- 知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 令和4年度の当初予算のときにこの戻入は多分なかったのです。今までのこの計算をして、今回令和5年度当初予算で戻入として16万1,000円計上しているのですけれども、過去は、今まではどこにその差額分というのを数字として計上していたのでしょうか。

○知名康司 委員長 経理係主事。

○総務企画課経理係主事 ページでいいますと5ページの下水道事業費用、1項下水道費用、6目総係費の中に貸倒引当金繰入額として費用として計上しておりました。

○知名康司 委員長 ほかに、なければ終了いたしますけれども、よろしいですか。

(「なし」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の議案第18号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午後 4時06分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後 4時07分)

○知名康司 委員長 本日の会議はこの程度にとどめ、次回は3月7日午前10時から委員会を開きます。本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでございました。

(散会時刻 午後 4時08分)

經濟建設常任委員会會議錄

○開催年月日 令和5年3月7日（火） 2日目

午前10時00分 開議

午後 3時38分 散会

○場 所 第2常任委員会室

○出席委員（6名）

副委員長	宮 城 政 司
委 員	濱 元 朝 晴
委 員	下 地 崇

委 員	又 吉 亮
委 員	宮 城 優
委 員	嶺 井 拓 磨

議 長	吳 屋 等
-----	-------

○欠席委員（1名）

委員長	知 名 康 司
-----	---------

○説明員（11名）

建設 部長	多 和 田 功
建築 課長	普 天 間 朝 信
市街地整備課長	宮 城 政 勝
市街地整備課 計画係主任主事	伊 佐 真 也
市街地整備課 工事一係長	仲 間 淳
市街地整備課 工事二係長	上 原 力

都市計画課 都市計画係長	新 崎 雅 也
建築 課 市営住宅係長	玉 城 学
市街地整備課 市街地整備担当技幹	嶺 井 実 克
市街地整備課 計画係長	桐 澤 秀 明
市街地整備課 計画係技師	大 城 すず香
/	/

○参考人（3名）

参考人	知念 桂子
参考人	新垣 清涼

参考人	知念 盛男

○議会事務局職員出席者

議事係長	大城 拓也
------	-------

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

- (1) 陳情第13号 西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情
- (2) 陳情第14号 西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情
- (3) 陳情第15号 公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情
- (4) 陳情第 6号 喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置について
- (5) 議案第 7号 令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
- (6) 議案第16号 令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算

第449回宜野湾市議会定例会（経済建設常任委員会）

令和5年3月7日（火）第2日目

○宮城政司 副委員長 皆さん、おはようございます。ただいまから経済建設常任委員会の第2日目の会議を開きます。

これより議事に入ります。

（開議時刻 午前10時00分）

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。（午前10時00分）

○宮城政司 副委員長 再開いたします。（午前10時01分）

【議題】

陳情第13号 西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情

陳情第14号 西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情

○宮城政司 副委員長 陳情第13号 西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情、陳情第14号 西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情を一括して議題といたします。

陳情の内容としましては、西普天間地区区画整理地内モデル街区において、宜野湾市が策定中である規制が地権者の財産権を侵害し、その商業的価値を著しく低下させることにより、地権者に甚大な損害を与えるため、速やかに撤廃または見直しをしてほしいとする内容であります。その策定中とされる規制が記の箇所に記されており、1、建物壁面位置を前面道路境界線から2メートル以上後退しなければならない規制、2、前面道路からの車両の乗り入れや駐車場設置を制限する規制となっております。

本2件の審査に当たっては、まず当該規制の内容やその目的等について当局より説明をいただき、それについて地権者等の関係者からどのような意見があったかなどを伺った後に質疑にお答えいただきたいと思っております。

では、当局より御説明をお願いいたします。建設部次長。

○建設部次長 おはようございます。まず、今回西普天間住宅地区のモデル街区の取組について地権者のほうから少し不満の声があって、このような陳情が出たことについておわびをするとともに、この内容については市のほうにも要請という形で提出されていることを併せて報告しておきます。

まず、西普天間住宅地区は御存じだと思うのですが、国の返還地のモデル地区と言われるような形で今土地区画整理事業を進めているところです。その中でも、土地区画整理事業は建設部の市街地整備課のほうでメインで整備を進めているところなのですが、我々都市計画課としてはその西普天間住宅地区の都市計画に関するところを、地権者といろいろ御意見を交換しながら今進めているところです。その中でもさらにこの西普天間住宅地区のモデル街区と我々が呼ばせていただいているところは、県道沿いの両側の部分と、あと琉大の正門のほうに来る、いわゆる西普天間の中側の真ん中のところ、後で図面で説明しますけれ

ども、そこは西普天間の中でもさらに少しにぎわいのあるまちづくりをしようというところを計画しているところ。西普天間住宅地区については、大きな商業地というものは設けてごさいませんが、琉大もしくは琉大医学部、琉大病院が来るということで、毎日約3,000から4,000の人がそちらに足を運ぶということもありますので、そういった受皿であるとか、そういったところでにぎわいのあるまちを形成したいということで今事業を進めているところ。

まず、今お手元のほうに資料をお配りしておりますので、そちらの資料を少し経過を説明して、それからまた御質疑等を受けながらお願いしたいと思います。それでは、資料の説明については、うちの係長の新崎からさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 都市計画課、新崎でございます。よろしくお願ひいたします。

それでは、資料の御説明とこのルールの内容について御説明したいと思います。今日、本日お手元にお配りした資料をお手元に御準備いただけますでしょうか。西普天間住宅地区、これまでの協議内容というところでございます。まず、西普天間住宅地区のモデル街区につきまして、この地図であります、先ほど次長の話で県道沿いの街区、あと中に入って西普天間住宅地区、こちら琉球大学のメインゲートの前になります。この2か所をモデル街区と位置づけて、より良好な景観を形成していこうということで、令和2年度からタウンミーティングというものをワークショップ形式でやっております。あとモデル街区につきましては、まちづくりのルールといたしまして幾つかございますが、今回陳情に上がっているもの一つとして、まず道路境界から2メートル壁面後退があります。2メートル壁面後退することで歩道を快適な空間にするとともに、歩道と一体となった例えばオープンカフェとか、にぎわいのある空間を創出できないかというところから、2メートルの壁面後退というルールを設けております。

あと一つ、今回上がっているのは駐車場の話ですが、駐車場につきましてはやはりこの県道沿いですとか、西普天間住宅地区の北側の街区を歩きやすい空間にするために、駐車場をできるだけ後ろに配置しようというルールにしています。このルールにつきまして、このモデル街区の形につきましては前面の例えば県道、幹線道路と後ろに区画道路という道路がございます。2面に接するような土地がほぼ換地で配置されております。そういった関係で、できるだけ後ろから駐車場を配置することで、前面に歩行空間を形成していきたいというようなルールを提案させていただいたところ、実現するためにどうしていこうかというところで、令和2年度からこのモデル街区の取組を始めているところ。

モデル街区のタウンミーティングと呼んでいますが、モデル街区の地権者は約40名いらっしゃいます。その方を対象にこれまで計8回やってきてございます。何分令和2年度から令和3年度にかけてはコロナ禍の影響もあって、なかなかお集まりいただくことがかなわなかったところがあるのですが、どうか私たちはこのルールに基づいて、こういった形でまちづくりができるのかというところを地権者の方と御議論しております。その概要について、簡単に御説明させていただきたいと思っております。

2ページを御覧いただけますでしょうか。まず、第1回のタウンミーティング、ワークショップですが、モデル街区のコンセプトの一つです。にぎわいのあるまちづくりを形成していきたいというところで、ではこのまちは誰が来て、何をやるのかというところで、この琉球大学医学部及び琉球大学病院を造ることでのようなにぎわいができるのかというのを、まずは県外の事例も見ながらスタディーしているところが第1回

目です。そういった形で意見交換をさせていただくというような流れでやっけていまして、第2回目、第3回目は3ページになりますが、モデル街区の土地利用について考えようということで、具体的にどういった土地利用が考えられるのか。皆様、土地はあるのですが、将来どういう形で使っていくのか。御自身で使うのか、あるいは貸したいとか売りたいとか、そういったところの土地利用を考えていこうということから皆さんで考えていくと。将来の土地利用、そういったものを意識しながら、まちづくりというものを考えていきたいところが令和3年度第2回、令和4年度第3回、そういった形でやっけております。

次、4ページでございますが、そういった状況、地権者の皆様からのお声もいただきまして、現地を見ていただきたいというところで令和4年3月、ちょうど1年前になりますが、モデル街区の地権者の皆様と現地を確認したというのが第4回目のタウンミーティングです。何分1年前ですので、工事も大分進捗しているんで、今現在はまたこれよりかなり進んでいるかと思ひます。これまでが令和2年度から令和3年度までの取組です。やはり令和2年度から令和3年度は、繰り返しになりますが、コロナ禍の影響もありまして、なかなか思うように回数を重ねることができなかったというところが一つ。その中で、皆さんでお集まりするのではなくて、個別ヒアリングという形で、個別に地権者の皆様の意向を聞いたり、そういった取組をさせていただいているところです。

続きまして、5ページから第5回タウンミーティングということで、こちらから令和4年6月6日というところで令和4年度に入ります。この中でタウンミーティングの目的の一つとして、にぎわいのあるまちの良好な景観形成を進めていきたいというところで、景観形成の取組とか事例とか、そういった県内外の事例を御紹介させていただきながら考えていくというような形で進めております。そういった中で、まちづくりのルールにつきましても、どういった形で実践できるかというところは一緒に考えてきたところですが、今回陳情に上がっているとおり、やはり駐車場に関するルール等、そういったものが少し御不満があったと認識しております。

続きまして、6ページでございますが、昨年の夏、第6回タウンミーティングですが、そこからモデル街区の土地利用について考えようということで、同じブロック、街区の地権者だけ、ブロックごとに地権者をグループ分けして、グループの中でいろいろ御議論させていただきたいというところで進めております。その中で駐車場の件に関しましては、どういった形であれば実現できるのか、あるいは土地を貸したいという人は御自身で貸すだけではなくて、隣の人と共同で土地を利用することで敷地を確保できないかと、そういったいろいろ土地活用のパターンですとか、将来的なまちづくり、使用収益後の土地の使用も想定しながら、そういった勉強会を進めてきているところです。そういった様々な勉強会を進めてきているところですが、駐車場の件に関してはいろいろ御意見をいただいているところです。

第7回目のタウンミーティングは、今年の1月に入りまして第7回目のタウンミーティングを始めて、第7回目のタウンミーティングにつきましては、地権者の皆様から複数の声をいただいたのですが、土地をどのように活用していくかというイメージがまだつかないので、民間事業者さんの意見を聞きたいということでございます。我々このタウンミーティングの業務の中で昨年度ですとか、民間事業者にこの土地の可能性とか、そういったものを聞いていますが、そのサウンディングに参加した企業さんに、どういった土地活用が考えられるのかということをお提案ですね、皆様の事業の中からさせていただいているところです。この中でも駐車場に関していろいろ御意見をいただいたところです。

我々としたしましては、地権者の皆様から御意見をいただいている状況もありまして、この駐車場のルールに関しましては、どういった形で対応できるのかというのは内部で継続して検討してまいりました。その検討の内容を御説明したものを第8回のタウンミーティングということで、こちらの中で関係者の意向に関する事前説明ということで、駐車場のルールの一部を緩和する方法について御提案させていただいております。実は、第7回目のタウンミーティングに、前回、第8回目のときに駐車場のルールの緩和の方法について御説明させていただきたいというところはお伝えしたのですが、ちょっとタイミングとしてはこのタイミングで陳情いただいたというような状況でございます。

この緩和の内容といたしまして、まず駐車場のルールというのが歩道一体によるぎわい空間の連続性を確保するため、県道及び西普天間線に面する建物の前面に駐車場を設置しないという形で書いています。ただし、設置の条件により困難な場合、この限りでない。設置の条件により困難な場合とは、先ほどの話で、後ろに道路がある宅地がほとんどなのですが、どうしても後ろに道路がない土地につきましてはそれが難しいので、その場合はただし書でその限りではないというところをルールとしてつけていたのですが、今回また一つ、特例措置というものを御提案させていただきまして、敷地の形状等により適合が困難な場合、ほかの部分での効果的な工夫により基準に寄らないとすることができるという特例措置というのを御提案させていただいております。どうしても土地がそんなに大きくない場合、駐車場を後ろに配置しようとするとなかなか土地利用が制限されてしまう可能性がある方に、そういった御懸念もありましたので、そういったものに対応するために特例措置というものを御提案させていただいたのが第8回です。これは敷地の規模や形状、その他の事情により、部分的に景観形成基準への適合が困難であり、その不適合による影響をほかの部分での効果的な工夫でカバーするような場合に適用するということとして、駐車場のルールには適用できなくても、ほかの部分、例えば緑化ですとか、そういったところでカバーすることで、特例措置を活用できるのではないかと御提案をさせていただいたところです。これが第8回目のタウンミーティングです。

ちょっと長くなりましたが、こういった形で地権者の方とはこれまでタウンミーティングというワークショップなり、意見交換を重ね、いろいろ御議論させていただいたところです。以上でございます。

○宮城政司 副委員長 御説明ありがとうございました。

それでは、これより質疑を許します。質疑のある方は挙手にてお願いします。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 まず、モデル地区が2カ所に分けられているということですが、まず最初に県道に接する部分の、これは途中なのだけれども、見た感じでは段差があるのか、そのままあれなのか、そこをちょっと説明をお願いします。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 お答えします。今ちょうどこちらのほうに図面があるのですが、この青のモデル街区と呼ばれているところは、ちょうど県道に接する部分になります。県道の通りとすりつけができます。ただ、色のないところ、こちらから段差が大きくなっていきますので、どうしても県道とのすりつけができませんので、こちらはそのまま県道の擁壁が使われるような形になって、大分下がりますので、こちらからは街区もちょっと造れなかったです。下のほうで琉大の敷地というふうな形になっていますので、青の部分は県道からのすりつけも大丈夫なところでございます。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 では、青のところと琉大側の高さというか、どのくらいの差があるのですか。青い部分と琉大のところと高さが違うという話。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 たしか県道から琉大のところ段差の大きいところで約8メートルぐらいあると聞いていますので、さらに琉大側の今のモデル街区のところはさらになだらかに、琉大の敷地は下に下がっていきますので、それからすると県道と西普天間線の入り口側の正門側のものと大体10メートルから15メートルぐらいは高低差はあるものかなというふうに考えています。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 では、県道側は一応分かりました。次に、裏側のほうはどんな感じになっていますか。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 こちらもこの図面にあるとおり、北側の道路、青色のところは今モデル街区と呼んでいるところです。黄色の道路が、前のほうを通っているのが西普天間線です。こちらが、この西普天間住宅地区のメインの一番大きな幹線道路になります。当然こちらに面しているということと、さらに後ろのほうに薄く、ちょうどこの境界のほうになるところも裏側のほうにも一応道路を造って、先ほど説明した、できるだけこのメインの道路と裏手からも入れるような道路を整備していくというところです。ただ、一部少し緑地、歩車道みたいになっているところもありますので、そういったところは先ほど言った、なかなか裏手側からは使いにくいところも、あとは利用形態に応じて使いづらいところ、そういったところをどうしても前面駐車場ということは厳しいだろうということで、これは再三お話が出ていたのですが、なかなか解決策というか、きちんと説明をしていなかったところがあって、それを前回差し替えてお示しをしたというところがございます。

○宮城政司 副委員長 ほかに。宮城優委員。

○宮城優 委員 琉大病院を利用する想定として3,000人から4,000人と言ったのですけれども、それは車の台数もそれぐらいと考えてもいいのですか。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 おおむね先ほどの人の動きですので、大体4,000人前後ぐらい。今西原の状況で、それぐらいの人の出入りがあると。これは当然学生であるとか、先生方もそうですけれども、あと病院が来ますので、その患者さんであるとか、そのまた先生方、看護師さんとか、そういった従業員の方々、そういった方々が毎日4,000人前後いらしているという。

ただ、車に関してはさすがに1人1台ということもなくて、学生さんも例えば車ではなくてバス利用であったりとか、オートバイだったり、自転車だったりということもありますので、そこまでの車ではないと思っているのですが、ただ我々もちょっと今の話と少しずれるのですが、琉大医学部、さらに病院が来たことで、こちらが渋滞するのはいかなるものかなと考えていますので、これは県、琉大、我々宜野湾市のほうで、今そういった交通の調整をしているところです。そういうところで、当然駐車場の確保を琉大さんにしてもらいますし、我々も交通網の整理をどうするのかというところを今調整しているところですので、これはまた今日のとは別枠なのですから、いろいろと調整しているということは御報告したいと思います。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 まさにそこら辺も聞こうかなと思っていたのですけれども、多分相当渋滞するはずですので、いろいろと検討のほうもよろしくお願いします。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。建設部次長。

○建設部次長 先ほどこの議会への陳情が出たのが同じ日だと思うのですけれども、市のほうにもこの陳情要請が出ました。こちらについては、ちょっと市長の日程が合わず、副市長対応になったのですが、そこで陳情者の方に来ていただいて御説明をして、あと副市長のほうからもお話をさせていただきました。

先ほども出ましたけれども、ちょうどこの陳状が出る後の第8回、この前に陳情が出されましたので、出た日がちょうど第8回と重なる、その予定日になったのですが、その前の週ぐらいからこういった話をするということでいろいろとお話はあったのですが、副市長のほうからもまず第8回でしっかりといろいろと皆さんの声を聞いて、こういった緩和策もいろいろと準備をしているので、そこもきちんと聞いてくださいと。そういった中でまた意見交換しながら、いいまちづくりに向けて地権者だけではなく、行政だけではなく、一緒に取り組んでいきたいと思いますというお話を、まずその場は納得していただいて、先ほど言った第8回が終わりました。日にち的には集まらなかった方も、2日、大きく準備をしたのですけれども、なかなか日程が合わなかった方もまた個別での日程も設定して、基本的には全地権者に、約40名近くのモデル街区の地権者とお話をして、こういった緩和策を検討しているということで、おおむね御理解をいただいたのかなというところは感じております。ただ、やはりまたこれから8回を受けて、この緩和策を受けて、また当然地権者の方々もそれで大丈夫なのかと、いろいろとまた調整すると思っていますので、それに向けて第9回、今年開ければいいのですけれども、年度明けになるかもしれないのですけれども、そういった形で進めていこうということで、一定程度の御理解は我々としては得られたのかなというところは感じておりますので、そこはちょっと御報告という形でちょっと我々のタイミングがずれてしまったので、この陳情を出した地権者の方々ともう少し市の説明が足りなかったのかというところは反省をしておりますので、そこは反省しながら、またいい取組ができるように調整をしていくというところでございます。

○宮城政司 副委員長 どうでしょうか。議長。

○呉屋等 議長 二、三点お聞きしたいのですが、この西普天間線と県道81号線との接続するところ、片側何車線になったのですか。西普天間線では、県道81号線とモデル街区の西普天間線と書いてありますけれども、この道路、黄色の道路、これが片側何車線か。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 お答えいたします。この黄色の道路、西普天間線と読んでいますが、こちらは片側1車線になっております。幅員が20メートルの道路ですが、片側1車線という形になっております。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 県道との接続部分は右折帯とかも設けている。ちょっとこの辺詳しく説明してくれないと。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 説明が不足していて申し訳ございません。この県道部分と西普天間線の交差点ですが、この西普天間線に右折帯を設けているのが一つと、あと1点、今回やはり交通渋滞の件、先ほどもお話ありましたが、そういったところも懸念されましたので、都市計画変更というのをやっています、左折帯も交差点部分を設けていく予定です。なので、交差点部分は直進、右折、左折という形に、ちょうどこ

の交差点部分です。というようなところです。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 いろいろ質疑の中にもあった渋滞の件で、この西普天間に県道から出てくる車、出る車、この予定だと裏のほうから入りなさいということですが、渋滞したら入りにくいのです。そういうのもあるし、恐らく皆さん死活問題ということで訴えられていまして、実際に県道に面しているところに駐車場がないと、車というのはスピードが50キロから60キロですから、すぐに素通りしてしまうのではないかと。駐車場がないと、そこはせっかく来ても、スルーされるということを心配されていました。

結局対策的なこともおっしゃったのですが、意味が分からない、難しくて。もうちょっと具体的に何か。ですから、そちらのほうの駐車場を設けるという形と、あと要するに琉大のほうもあるではないですか、この県道81号線。あえてそこをセットバックしなさいというのは、実際これだけの県道を、その辺歩く人が、今は西普天間で木が生い茂っているの、多いですけども、実際車社会の沖縄でそこまで設けて、本当に活用されるのかなという懸念はあるのと、あとモデルで提案されているのは、県外の駅前なのです、大体。駅前で、電車へ乗り継いだ動線があるから、ほどほど歩ける。そのモデルとして持ってきているところと、地権者がギャップを感じていらっしゃるのです。だから死活問題なので、これではということで議会にも陳状が出てきているのです。だから、前面に駐車場を設けたいというところをもう少し分かりやすく、ではそういう希望をできるのかできないかというところを分かりやすく。要は、特例的に認める条件があるみたいな、もうちょっと分かりやすく説明を求めます。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 本来はモデル街区については、当初ここに換地をするときから一定程度地権者の皆様方にはこういったまちづくりを目指していきましようというお話を、換地計画も立てて、経緯もありますので、これは地権者の方々にも全て今の前面道路であるとか、その緑地であるとか、セットバックを全てなくすということはできませんよというお話は、それは御理解していただいているのかなと思います。ただ、先ほど議長がおっしゃったように、そうは言ってもいろいろと前面道路の駐車場は確保できないと、今おっしゃったように、なかなか商売であるとか、もうちょっと前の段階で言うと、そこを貸したり売ったりもしにくいというお話も確かにいただいていますので、我々も当然今細かくおのおの地権者の土地の中身を見ながら調整をしていますので、やはり奥行きが厳しかったりとか、今言ったように裏の道路からなかなか入りづらいところがあるなというところがありますので、そちらは基本的にはその地権者の方々も前面道路に置きたいということであれば、おおむねこれは前面道路に置くことは基本的には可能だということで考えています。ただ、そういった場合であっても、先ほど言った少し緑地であるとか、そういった景観的な部分についてはいろいろと協議をして、できるだけ増やせるところは増やしていただきたいとか、そういった調整はしたいなというところは残してありますので、そこは。ただ、今の段階ではまだなかなか建物の計画など見えないところがありますので、すぐにこういうふうにできるというところが言えないのですけれども、それは少し計画を見ながら判断したいなと思っていますが、基本的にはそういった中身であれば、前面道路を利用することができるという形にはしようと思っていますので、そのような形で調整をしていくというところでございます。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 確認なのですが、今おっしゃった答弁では、第7回までとはちょっと変わって、希望をしっかりとこちらも考慮して、緑地、そして駐車場のほうもなるべくそれをかなえるようにしていくということの理解でよろしいですね。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 そのとおりでございます。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 これは、西普天間の区画整理事業、設計があるのだらうなと思いますけど、これは地区計画の中にそれがうたわれるのかという点と、あとこれは設計とか、要は国にこれで行きますと決まるのはいつ頃。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 お答えいたします。まず、壁面後退につきましては、都市計画でなく、地区計画で定めていく予定でございます。

あと、この駐車場を建物の前面に配置しないというルールにつきましては、今西普天間住宅地区の景観計画の策定作業を進めていまして、この景観計画の中でルールとして定めていく予定です。なので、壁面後退は地区計画、駐車場に関するルールは景観計画ということで、この西普天間住宅地区は地区計画、景観計画を両方活用しながら制度を進めてきたところです。あと1点、この策定期間につきましては令和5年度を予定しているところでございます。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 地区計画は、全員の同意がなくても計画の決定はできると思うのです。ただ、その場合、地区計画の決定をどういう方向で、要するに地権者がどれぐらい賛成すれば地区計画を決定できる。普天間線の地区計画もいろいろ変更しましたけれども、ただ要は何割か、目安としてこの地区計画を決定するのに同意するかどうか、その目安はどれだけ。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 お答えいたします。地区計画に関します同意率というのは、今目安というのはなかなか定められておりませんが、我々といたしましては説明会なりで説明させていただいたり、そういった地権者の方に当然資料とか御説明していただいている中で御理解をいただいているもの。もちろんその中で意見を伺いながらやっていくというところでございます。なので、目安としては、なかなか今明確に決まっているものがないので、そこはちょっと率というのはお答えするのは難しいかなと思っています。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 いずれにしても、地権者の方にとっては本当に死活問題なので、地権者も行政も、みんなウィン・ウィンでできるようにお願いいたします。以上です。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 議長、どうもありがとうございます。我々も今回特に地権者とまたタウンミーティングをすすめる中で、お話し合いをする中で1つ再確認をしたのが、我々も別に何か厳しくして、まちづくり、地権者の方々の利用とか、そういったものを悪くする意味ではないですよ。一定程度そういったルールであるとか、都市計画というものは、ルールとかを定めることによって、より付加価値を高めていいまちにする。ほかと

の差別化も含めて、せっかくこれだけの跡地が返ってきて、国もモデル地区ということでいろいろと支援を
していただいているというところもありますので、我々もそれは一緒になっていいまちをつくろうという考
え方だけはお互い間違っていないはずなので。ただ、そこでおのおのの使い方とかというところは少し御不
満があったりとか、そういったことはある程度のところはタウンミーティングを通したり、個別説明会、住
民説明会で感じているところがありますので、そこはなるべくお互い理解できるように、なるべく調整して
いこうということをお話ししていますので、できる限りそういった形で進めていけるように我々も努めてい
きたいと思っていますので、よろしくお願いたします。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 この2つの要望されている壁面後退と駐車場の部分の規制を仮に撤廃した場合、考え得るマ
ックスのデメリットはどういうことになります。もしくは、既存の今あるこの通り沿いはこういう、規制撤
廃をした場合はこんな感じになるよというところ、ちょっとイメージが湧かなくて、仮に規制を撤廃した場
合に壁面後退せず、駐車場も前面にやった場合、ちょっとイメージが。なので、ちょっとそのマックスの
デメリットというか、というのがイメージできないものですから、それをお話しできますか。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 それでは、まずデメリットということなのですが、まず壁面後退につきまして
ですが、壁面後退につきましては今回歩道を改良していこうということなのですが、ほかの区画整理地区で
も壁面後退というのは地区計画で定めている例は多いです。それはなぜかといいますと、この壁面後退を定
めないと、仮に道路境界沿いに建物が建った場合、やはり町並みの圧迫感、歩道の圧迫感、そういったのが
出てくるというところで、このルールを定めないと道路境界沿いに建物を建てるのが現実的にできるとい
うところで、区画整理地区内では壁面後退というルールを設けているケースがございます。なので、やはり
歩行空間、道路空間を快適なものにするというために壁面後退というのは一般的に定めていますので、定め
ないと圧迫感が出てくるというのが一つと、あとこの壁面後退のルールをつくることで、ある程度町並みが
そろいやすくなるというところのメリットもあるかと思えます。

あと、駐車場の件に関しましては、やはり県道沿いですね、今緑陰もあった方もいらっしゃるのですけれ
ども、もともと歩ける空間というところがございまして、そこが全面全て駐車場になったときに、歩行空間
としてこれまでより機能が低下してしまうのではないかとということが懸念されます。やはり我々といたし
ましてはこの緑陰があって、ウォーキングだったり、お散歩とか、そういうことで歩いている方もいらっし
やいますので、やはり歩行空間というのは非常に大事にしていきたいなというところで考えております。歩
行者の安全性という点が少し懸念されるのかなというところはございます。一般論といいますか、そういつ
た形になりますが、そういったところで考えています。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 補足ですけれども、例えば県道沿い、先ほどお話しも出ましたけれども、県道沿いから前面に
駐車場を全部設けると、当然その乗り入れが一個一個、大体住宅の前にはできるのです。その後全部車が、い
わゆるこの区間の全ての建物の前のところで乗り入れをつくらないと入れませんので、そういった形になる。
ただ、今回は我々が考えている後ろ側に持っていくというところは、先ほど少し逆のところも確かにあるの
です。渋滞の件も考えられるのです。1か所しか裏側に回れないということがあれば、それも少し懸念材料

であるのですけれども、ただその1か所のところから裏側に回って、後ろ側のところは各戸で駐車場入れていくということなので、県道沿いとかであればやはりそういった車の歩道を横切って駐車場へ止めるということが減りますので、そういったところからすると、歩行者にも少し安全な空間が生まれるのかなというところもあるのかと考えています。

先ほど出てるように、確かに実際歩く人がどうなのかというのが、これからの課題だと思っはいるのですけれども、我々としても西普天間、今後また返還が予定されている、コリドー地区とかは、なるべく歩きやすいまちというものを目指していく。その度ここにこれだけの学生とか人が来ます。一応は琉大を確保しながら、一定程度健康医療拠点というコンセプトも上げさせてもらっていますので、あと向かいのヒルズ通りも含めて、やはりここをとにかく人を一定程度歩かせて、にぎわいのあるまちにしたいということの一つのコンセプトとして持っていますので、できるだけそれに沿うような形に近い形のまちづくりのルールというのが決められればなというところで、今ミーティングを重ねているというようなところがございます。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 分かりました。ありがとうございます。先ほどモデル街区とやることで国からの支援をいただいているということではあったのですけれども、この2つの規制を撤廃した場合でもモデル街区という位置づけでできるものなのか。仮に規制撤廃をした場合に、モデル街区ではありませんよということになってしまうのか、ちょっと教えてもらえますか。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 モデル街区というのは一つ概念というか、我々の呼び名ですので、そちらを何かしらの例えば制度でモデル街区というようなことを定めているとかということではございませんので、中の規制が例えばあるなしにかかわらず、やはり今の県道沿いと西普天間線の琉大側については、やはり一定程度にぎわいのある通りにしたいというのが…。

ただ、国の制度、補助というのも、今回それに向けてこういった取組をするということで、いろいろと委託業者を選定したりとかしていますので、そういったところに先ほど言った国の補助とかも活用させていただいています。それはモデル街区であるとか、景観のルールをつくるためということでいただいておりますので、ただルールの中身で必ずしもそういったことがないといけないということではないですので、そういった何かしらのきちんとしたルールとかをつくっていけば、それで何かしら国からまずいとなることはないと思います。ただ、一定程度こちらはこういった形のにぎわいを持っていきたいということと、あとどうしてもこちらについては当然原位置換地、もともとこちらに土地があった方々が、こちらに換地をされているというところもありますし、ほかからこちらはこういったルールがありますよ、こういった中でもこちらに行きたいですかということで申出換地もしていますので、そういったルールはありますよということでこちらはお知らせをしているところですので、完全撤退というのは少し考えにくいのかなというふうには思っているのですが、これは市街地の土地区画整理事業で換地の整備として、そういった形のやり方も動いていますので、そういったことからすると、完全撤退は少し考えにくいのですが、一定程度地権者の方々が有効に活用できるような緩和とか対策というのは一緒に考えていかないといけないかなというふうには考えています。

○宮城政司 副委員長 ほかに質問。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 ちなみにこの地権者というのは何名ぐらい。

○宮城政司 副委員長 都市計画係長。

○都市計画課都市計画係長 地権者の数につきましては、詳細な数は手元にございませませんが、約40名でございませう。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 普天間地区の未来を考える会は10名で見ているのですが、それ以外の方々は陳情に対する不満とか、そういう声は聞こえないということによろしいですか。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 当然先ほど言った後ろが、駐車場が後ろ側であるとか、壁面のセットバックということを当然理解している方もいらっしやいますし、ただ先ほど言った、なかなかまだ皆さん、どういった形でここを活用しようかなというのがまだ見えていない方も大部分、多いです。この間タウンミーティングとか個別の説明会とか意見交換なりもして、一人一人今どう考えているのかということもお伺いしたのです。それもどちらかというとう6割、7割近くはまだどうしようかなと、どういった形で利用しようかなという形で、まだちょっと検討中だというようなことがあるので、その辺が固まってくると、こういった内容にももう少し意見が変わってくる可能性はないとも言えないのですけれども、一定程度は御理解をさせていただきながら進めているというところはあるのかなと思います。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 この問題は本当に大事なことですうので、一人でも反対とか、そういうのがあったら困りますから、説得できるような形で今後やってもらいたいということをお願いしたいと思っています。

○宮城政司 副委員長 議長。

○呉屋等 議長 今地図のほうを見やすい大きめな地図をお願いしたいのと、あと県道81号線のほうも含めた地図にしてもらえないか。県道81号線の幅員と、県道81号線の歩道の幅、側溝も入れて。県道の歩道の幅がどれぐらいかというのもやっぱり知っておいたほうがいいのではないかなと。それを網羅した地図を。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 こちら少し資料の確認もしながら、提出できるようにしてまいります。

○宮城政司 副委員長 ほかに質問。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 お願いします。今回いろいろとそういった条件とか、景観計画、地区計画があるというのを理解しました。今回陳情の中でかなり重く言われていることが、宜野湾市の手法は乱暴で、その行為は権利の濫用に当たるとか、販促的なところというところがあるので、タウンミーティングをやっているのにこういう言葉が出てくること自体が、僕からするとおかしいのではないかというところになってしまいます。ちょっと前も話しましたので、いろいろと聞けたので、ある程度前に進んできてはいるのかなということではあるのですけれども、今後こういったことがないようになんていただきたいというところがありますので、この点についてそういった不信感を増すばかり、言葉遣いが全然違う、単純に比べると。それがしかも同じ内容が2つ、差出人が違う方から来ているではないですか。これもあまりよくないと思うのですけれども、今後こういったことがないような形で取組とかは決めてございませうか。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 今回我々もタウンミーティングのときに当然いろんな声をお聞きしているつもりではあったのですが、やはり一定程度全体、先ほど40名の集まりの中での説明。今できるだけブロック単位にしているのですけれども、詳細に。それでも複数名いる中で、やはりなかなか声を実際は上げきれなかったり、不安を持っているのだけれども、なかなか声を出していなかった方々がいらっしゃるような感じでありますので、そこで丁寧に確認をしないといけないということと、あと1点、ちょうどこの陳情なされた方、先ほど言った市のほうも面会したということがあったときに、今言ったようにこういったことを一応私もこの方がその会の中で触れられているのですけれども、例えばそれに対して次の会のためにそのフォローがなかったりとか、そういったことがあるということは大分不安に思っていたのです。我々も別に声を隠しているわけではなくて、それはこの街区であったりとか、その方の御意見ではあるわけですが、全体として少しここで全体の場としての振り返りで上げるかどうかというのはいろいろと調整をしながらやっていったところがありましたので、そういったところにも少し、要は何かこういった不満を隠しているのではないかみたいなことを気になさっていたというか、それが大分御不満だったようですので、それを真摯に受け止めて、しっかりと今後も、いいところは当然進めて、こういったいろいろ課題になるところもしっかりと進めないといけないところではありますので、それが今回8回まで来て、さらに見えてきていますので、そこは丁寧にやっていきたいということと、あと先ほどの2つに今回陳情が分かれているのも、1つは地権者としての集まりと、もう一つの方も地権者ではあるのですけれども、少し不動産の立場なのです。いわゆる不動産としての立場としても、自分がその地権者でもあるのですけれども、不動産の立場としても不動産の境界関係から確認すると、さっき言ったように、少し使いづらいところがあるのではないかとということを取りまとめて、系統がちょっと、中身は一緒なのですけれども、少しそういった系統が別だということで、提出が分かれたということをごさいましたけれども、そちらについても先ほど言った、そういったものを出すよという形のときに我々も聞いてしまっていて、それを当然出すなという話にはならないわけですが、そういったところをもう少し密に丁寧に調整をする必要があったのかなということは感じておりますので、そこは反省しながら、そういったことがないように今後も密に取り組めるようにやっていきたいと思っています。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 やはり前に進めるということは確認できてはいるので、大丈夫だと思うのですけれども、こういった内容にならないような形で進めていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。よろしいですか。

(「なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 審査中の陳情第13号及び陳情第14号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ございませんか。

(「異議なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午前10時50分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午前11時00分)

【議題】

陳情第15号 公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情

○宮城政司 副委員長 次に、陳情第15号 公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情を議題といたします。

陳情の内容としましては、公営住宅条例を改正し、公営住宅の入居に関して保証人を不要とすること、また緊急連絡先については確保できない場合に入居後の生活支援に関わる団体を緊急連絡先に代替させることとの内容となっております。まず、公営住宅の入居における保証人制度の本市の状況について説明をいただき、その後に質疑にお答えいただきたいと思っております。

では、当局より御説明をお願いいたします。建築課長。

○建築課長 おはようございます。建築課の普天間と申します。よろしくお願ひいたします。今委員長のほうからお話のありました保証人についての市の状況について説明してまいります。

現在宜野湾市では、市営住宅設置及び管理条例、その中に保証人について定義づけております。その中で管理条例の12条第1項において連帯保証人を2名と今現在定めております。この12条の第3項において、特段の事情がある場合に必要としないこともできますということをお記してございます。あと、自治体の保証人の申請については、請書の中で2名連名で記載していただくことになっております。やはり今回の陳情にもある通り、なかなか保証人が探し切れないという実態があったことから、平成30年に取扱い要綱というのを設けておまして、その中で身内がいらっしゃらないとか、親しい付き合いのある方で保証人になってもらえない方、あとは生活保護者、DVを受けている方で、そういった諸事情ある場合には免除申請、保証人の免除申請という手続を取っていただいて、それを受けて我々内容を審査して、問題と判断した方々については身元引受人と、保証人である身元引受人というのを1名選定していただいて、それで手続を進めていくというのが今現状でございます。以上です。

○宮城政司 副委員長 それでは、質疑を許します。

質疑のある方は挙手にてお願いします。下地崇委員。

○下地崇 委員 よろしくお願ひします。今この保証人、現行の条例で保証人2名、連帯保証人としてなのですが、特例の事情において省略することもできると、そういった特例の事情で省略した方、免除された方々というのはこれまで何名ぐらい。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 この要綱は平成30年に定めまして、ざっと洗い直ししたら4名ですか。ちょっと確認します。身元引受人で受けた方は6件、案件としてございます。

○宮城政司 副委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 この6件の方々が身元引受人を指定することで入居できたということだと思っておりますが、申請して手続するのにかかる日数というのはどれくらい必要になりますか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 その方々が生活保護者とか、DVを受けている方々なのかも含めて、おおよそなのですけれども、2～3日ぐらい、相手方に対して、関係機関との確認等も含めて、2～3日中で判断してお返ししていると思っております。

○宮城政司 副委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 今回本市としての陳情になっているのですが、ほかにも他市で既に保証人をつけないということで施行している他市町村の状況は分かります。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 陳情書の資料の5ページ目ですか、県内の取りまとめたものでございまして資料にあるとおり、県と市でいきますと、1県11市の状況でいきますと、1県5市はこれまでと、本年度の12月議会で制定されて、令和5年4月1日施行予定の、浦添市を含めて1県5市が既に制定済みとなっております。これらを除く6市については、現在もそのまま保証人を求める状況となっております。大体過半です。過半は保証人を廃止している状況となっております。

補足なのですが、全国的にはまだまだそれほど数字は達していなくて、これが資料4ページ、国土交通省のほうで令和4年4月1日現在のこの中で保証人を求めているというのが左上です。全体の23.4%、保証人を求めているという資料が出ております。

○宮城政司 副委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 ありがとうございます。最後に、本市の公営住宅の施設数というか、それはどれぐらいの施設の数があるのか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 今現在市のほうで2団地ございまして、愛知市営住宅が96戸ございまして、もう一つが伊原市営住宅、こちらは宜野湾市の北のほうにございまして、宜野湾バイパスから海側サンエー大山シティ北側に位置する、こちらが234戸、計342戸、宜野湾市で管理運営してございます。

○宮城政司 副委員長 他に。宮城優委員。

○宮城優 委員 この公営住宅に入居希望の方の生活の背景とかというのは分かりますか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 住宅に困窮している方という形で募集をかけておりまして、それが住宅に困窮している方というのは本当に様々でして、今すぐにも壊れそうな住宅に住んでいるとか、あと子供が結構家族が多いのに狭い住居にいる方とか、あとは先ほど言った生活保護を受けている方とかDV被害を受けている方、あとは高齢者でなかなか収入が今後見込めないと、今住んでいる家賃ではなかなか今後継続して生活していくことが難しいという、皆さん住宅困窮についてはそれぞれの諸事情で、そういった住宅に困窮している方という形で募集条件を設けて応募いただいているという状況でございます。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 収入でもはじかれ、言葉がいいか分からないですけども、入れないとか、そういうのも。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 最初に申し上げたのがその理由で、あとは一定の基準を満たした方でないと応募ができませんので、その中で原則は家族、世帯を持っている方。単身者の場合も60歳以上でだったり、高齢者であったり、また障害を持っている方々については例外的に単身者でも申し込める、あと宜野湾市に在住、それとあと所得が月15万9,000円以下である。以上、そういった申込みの条件を付して募集案内をしております。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 今言った15万9,000円、それを満たしていれば、保証人とかは要らないのですか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 保証人については、入居時に全ての方が必要になります。これはあくまでも応募できる基準になっておりまして、実際応募された方でも、当選された方でも、必要書類を提出していただいて、こちらでまた扶養の数とかでも控除の規定とか収入基準を審査して、出された結果、15万9,000円を超えた場合は収入超過者に該当するという形で、当選を取り消ししております。例年、今年度でいきますと2名の方が収入を超過したという形で、空き家待ち募集で当選されていたのですけれども、欠格要件優先という形で当選取り消しをした事例がございます。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 この公募は、どんな形で出されています。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 公募は、これも国のほうから市民に知れ渡るように周知しなさいということになっておりますので、市のほうでは市報、大体6月ぐらいに募集をかけますので、5月頃市報に掲載しております。あと、新聞広告です。それも募集の約1週間前の新聞県内主要2紙に掲載しております。あと、市のホームページにも掲載しておりまして、あとは告示という手続がございます。市の告示文書として掲載、この4方法によって案内をやっております。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑がある方は挙手をお願いします。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 お願いします。保証人というのは、定義的にはどういった感じなのですか、どういったことで保証人を利用されるのですか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 保証人は、その方のまず家賃の連帯、あとその方が健康状態だったり、行方不明になった場合の捜索を行うこと。あと、この方が何か団地内で問題を起こしたときに、その解決に向けて市と一緒に努力して行くと、そういった第三者に何かあった場合、市と連携しながら取り組んでいくといったことを明記して協力いただいているところでございます。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 それぞれの役割が3つほどあったと思うのですけれども、その3つほどで実際に家賃の請求をしたりとか、身元捜索をしてもらったりとか、あとはトラブルの解決をしてもらったことは大体1年間でどれくらいあったりするのですか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 今のところ家賃について滞納があった場合の連帯保証人というのは、私が知っている限り、ここ数年来、そういった義務を課した事例はございません。ただ、家賃について滞納が滞っているという方々に対して、今後の支払いについて長期計画を立てるという感じで役所のほうでお越しいただくのですが、そのときに本人の同意の下、本人が同意いただけるのであれば、連帯保証人も一緒に来ていただいて、今現在の生活状況、健康状況を確認しながら、滞納分について支払いを長期にしているという事例がございます。第三者への危害というのは、私が知っている限りではここ数年はないという形で、過去には一人で住んでいる方が病気でお亡くなりになられたという場合、その人の残った家財道具等がございます。そういった家財道

具等の処理について、連帯保証人に取りに来ていただいて、処理していただくという事例があったというのは1人です。以上です。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 そうしたら、言葉を変えれば大変ではないかなというのがあるのですけれども、連帯保証人というのはイメージがお金のことしか基本的でないイメージなのです。なので、その言葉が悪いから連帯保証人を探せないということになると思うのですけれども、例えば前の説明するときのある意味緊急連絡先的なやつが一つと、あと家財の引受けということであれば、家族、家財の引受けができる人というのをやれば、連帯保証人という項目は要らないのかなという感じがしてはいるのですけれども、実際どうなのだろう。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 まさに今の疑問、質疑になってくるかと思うのですけれども、市のほうで連帯保証人を設けているというのは、先ほどお話ししたように、実際連帯保証人に債務をお願いした事例というのはここ数年はないのですけれども、連帯保証人を設けることによって緊張感というのですか、入居者に対してはやっぱり連帯保証人に迷惑をかけたくないという思いもあって、そういった滞納の一つの対策、抑止力になっているというのを考えておまして、それで市としては当面は保証人を現行どおり設けて、ただし免除規定というのがございますので、この趣旨にあるとおり、保証人を設けられなくて応募できなかったという方々に対しての対策ですので、そういったことがないように、市の募集案内でも保証人の免除規定がありますと新聞広告にも載せて、募集の書面にも保証人が見つけられない方々は建築課に御相談くださいという形で、周知を徹底しながらやっているというのが状況でございます。滞納についての一助になっているという面がありますので、市のほうはこの保証人制度を継続してというふうに考えております。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 分かりました。ちなみになのですけれども、この5ページ目のほかの自治体の状況が書いてあるのですが、北谷町において趣旨採択と書いてあるのですけれども、この内容は把握されたりとかしていますか。どういったことを。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 ちょっと他市状況は、統計ぐらい、これぐらいの情報しか持っていないくて、それぞれの今の現状というのは把握しておりません。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 恐らく趣旨を採択して、条例ではなく、一部可能みたいな形でやっているような感じがするのですけれども、ちょっとそこも調べていただいて、できれば、もしかすれば新しいやり方かもしれないと思っているので、ちょっと調整のほうをお願いします。以上です。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 陳情の採択の方法に、陳情の採択で採択されるとか採択しないとか、趣旨採択というのは、たしかその内容については議会としても納得するけれども、すぐにそれを効力を発揮しなさいというところまではいかずに、その趣旨は理解できるので、それに基づいて取組とか、そういったのを継続していきなさいみたいな感じがよく採択として、議会の採択の方法として趣旨採択というのがされることかなと思いますので、一定程度は今の陳情に対しては理解はすると。ただ、あとやり方とか、そういうのは含めてちゃんと

やりなさいというような感じのものかなと考えておりますけれども、そういったところも我々も確認取って勉強させていただきますので。

○宮城政司 副委員長 嶺井委員、補足ですけれども、趣旨採択はあくまで委員会でなくて議会側の対応する内容なので、当局側に求めるものではないです。

○嶺井拓磨 委員 趣旨採択をして、何かしらのそういう討論がされているはず、討論というか、決め事があると思うので、それを調べておいてくださいということで。

○宮城政司 副委員長 分かりました。建築課長。

○建築課長 過半は今廃止に向けて取り組んでいる状況ですので、市のほうでも廃止をされたところの、廃止されたことによってどう変わったのか、懸念している滞納の状況、滞納が増えるということであれば、ちょっと前向きな検討はできないと考えていますので、滞納にも影響がないということであれば、国からの通知も来ていますし、全県的にも廃止の方向に進んでいますので、その辺やはり公営住宅が住宅制度的に住宅として位置づけもございますし、保証人規定の最終目標の削除に向けて、本年度ちょっと調査研究、嶺井委員から提案がありました他市の状況、廃止しているところ、そのまま継続しているところ、それらの状況をヒアリングして、今年度ちょっと調査研究して、今後どう取り扱うかについては課の中で調整していきたいと考えています。

○宮城政司 副委員長 そのほか。又吉亮委員。

○又吉亮 委員 現時点での滞納額と滞納者数を教えていただけますか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 概要しかなくて、令和3年度の決算ベースになるのですが、住宅使用料の未済額が現年度分で389万円で、人数が20名、過年度分が1,190万円で23人の滞納者。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 保証人が、要するに入居者が支払いできなくて、保証人がお支払いをしたという事例というのがありますでしょうか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 先ほどもちょっと触れたのですけれども、私が把握している中ではそこまで求めた事例はないです。あくまでも滞納者に対して今後の支払いについて相談するときに、連帯保証人を交えて御相談させていただいているという状況で、その債務を連帯保証人に科したというのは、ここ数年の事例ではないという認識をしております。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 滞納というのが、保証人を立てていても滞納という事象は起こるということがあるではないですか、現実として。この保証人を立てるといふところの立てるか立てないかといふところで、恐らくこれ保証人を立てずして、これから滞納が増えていくかどうかという他市の動向もちょっと見ていきたいといふところだったのですけれども、多分ここら辺の本質的な部分は恐らく滞納の部分ではなくて、さっき言ったように、その後の家財道具とか、そういったものの処分だったりとかといふものを保証する人、保証人といふ名前はさっき嶺井委員が言っていたのですけれども、その辺の部分が保証人としての本質の部分ではないかなと思っていて、なのでこの後の調査を先に先進的にやられたところの他市のその後の動向を見ていくと

いう部分が、恐らくそこではないのではないかなというのはあるのです。

当局としての懸念としては、保証人を外した場合にこの滞納というのが未収金、納付ができないような状況というのが増えていくのではないかというところの懸念と、ほかに考えられるのは道具だったり、家財道具だったりとか、家具だったりというものを誰にどうつないでいいのかとか、例えば連絡係、保証人を立てなかった場合に、何かあったときに誰に連絡したらいいものなのかとか、トラブルが起きたときに誰と解決していくものなのかというところが懸念されている。それ以外にも何か懸念材料はあります、保証人を立てなかった場合の懸念材料というのが。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 それ以外には特になく考えております。委員のお話のあった、そういった亡くなられた方の家財とか、トラブルがあった場合とか、身元引受人に課してもいい内容かと思っておりますので、他市の状況、保証人を廃しても身元引受人か、もしくは緊急連絡先の氏名をいただいておりますので、その辺の身元引受人の連絡先の方にどういった条件を課しているのか、その辺も他市の状況を調査研究してまいりたいと考えております。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 質疑ではなくなるのですけれども、確におっしゃったように、滞納という部分が本質ではなくて、ほかの部分を見ていくのだったら、ほかの部分も身元引受人だったり、緊急連絡先というところの位置づけは全部カバーができるということですよ。要するに保証人ということを立てずしても、ほかの今あるもので全部それはクリアできるというところがあるのかなとは思っています。以上です。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 今又吉委員がおっしゃるところは、結果的にという話ですけれども、滞納があっても、実際は連帯保証人のほうに債務を求めているということからすると、そこよりも別の役割になっているのではないかと。では、保証人は実際必要なのかというところにも多分なと思うのです。我々も当然本来であれば、最終的にはそこを求められる。連帯保証人はそういった意味も持って当然保証人になっているわけですけれども、なるべく滞納者自らが払えるような形を取るような、そういった計画書も作りながら、長期になる場合もあるのですけれども。ただ、それでもなかなか払っていただけない場合もありますので、そこは少し考えるところがあるのですけれども、あとは先ほど言った、少し抑止になるのかなというところもあるのですけれども、一番大事なのは入居する方々がそういうこと、いわゆるそういった問題になって、そういった困っている方々がしっかりここに入れる、または応募するというのが非常に大事だと思いますので、何が一番いいのか。流れとしては、こういった保証人の廃止の動きも大分出てきていますので、その辺はもう少し我々も勉強というか、整理させていただきながら。ただ、今現在このやり方で先ほど30年からこういった保証人に代わる、免除をして身元引受人という形に戻っていますので、一定程度は入る方々がそういったことで入れなかったということは今後ないのかなというふうに思っているのですけれども、ただどうしても気持ち的にはないことはないかもしれない。保証人が必要だよというのは原則あるわけですので、そういったところはもう少し研究させていただきたいなと思っています。この辺はまた今後も確認をしながらやっていきたいと思っています。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。議長。

○呉屋等 議長 又吉亮委員が言った滞納に関して、資料、現在の分と過去の分の。一番気になるのは何年滞納されているのかなというのが。2年とか、あるいは5年とか。これは税ではないので、不納欠損処理を5年でやるということではないので、そういう意味ではどれだけ滞納があるのか。これは駐車場も含めてできれば資料もお願いしたい。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 滞納の資料、駐車場、住宅使用料、あと滞納額の多い方、3名ぐらい、この額というのが、高額滞納者が3名ぐらいいらっしゃいます。いつから滞納しているかと滞納額について、資料のほうを提出いたします。

○宮城政司 副委員長 お願いします。議長。

○呉屋等 議長 もう一点、資料なのですけれども、そちら条例にはないけれども、免除したりする話があった。それは条例になっているのか、それとも規則になるのかというところで、もし規則になるのだったら調べれば出てくるのですけれども、今口頭でおっしゃったことも資料としていただきたいと思います。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 免除については、要綱のほうで定めております。この要綱の条文について資料で提出いたします。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 僕も資料があればですけれども、この保証人を求めないところの都道府県とか、データとかあれば。保証人を求めないとあるのです。都道府県で言えば19件とか、政令市が17市、その名称とか分かれば。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 全国的な統計は我々承知してなくて。我々調べたのですけれども、ホームページでも統計の資料しか載っていないくて、詳細資料が探し出せなかったのも、ちょっと細かな行政区の中身は承知していません。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 僕も資料をお願いしたいのですけれども、宜野湾市の賃貸契約のフォーマットとかも資料を頂くことはできますか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 入居時の請書のフォーム、これ規則で定めて、その様式を資料で提供いたします。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はございませんでしょうか。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 この前新聞で見たのですが、国土交通省が2018年3月に公営住宅の入居に対して保証人の確保を前提としたことから転換するという、あれが載っていたと思うのですが、把握しているかどうか。

(「2018年」という者あり)

○濱元朝晴 委員 2018年3月です。国土交通省がそういうような転換してもらいたいと、保証人の。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 国からの通達という部分は承知しております。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 それで先ほどの資料を見たら、令和3年、4年でそういうふうなことで保証人は不要という形に来たと思うのです。そういう中で、宜野湾市のほうも先ほど質問にあったように、気持ちが、保証人は必要ないというふうな形で持っていかないと、いつまでも精神的に後に残って、そういうふうになるのではないかなと私はと思いますが、今後の市の状況をさっきから一応は答弁はしていたのだけれども、それに沿ってやってもらいたいというのがありますが、どうですか。

○宮城政司 副委員長 建築課長。

○建築課長 先ほどちょっとお話しましたのですけれども、県内の1県5市も廃止しておりますので、また、国からも、濱元朝晴委員のお話のあった通達も出ておりますので、最終的な目標は廃止に向けて取組んでいきたいと思っております。その中でやはり先ほど言った滞納の問題、これをどう解決するのかというのも別の動きなのですけれども、債権管理条例、債権管理マニュアルというのを組みながら、次年度以降調整してという流れになっていきますので、そういった滞納問題も含めて保証人の在り方については調査研究してまいりたいと思っております。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はございませんか。よろしいですか。
(「進行」という者あり)

○宮城政司 副委員長 それでは、審査中の陳情第15号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思っております。これに御異議ありませんか。
(「異議なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午前11時37分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午前11時37分)

○宮城政司 副委員長 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。その間休憩いたします。
(午前11時37分)

◆午後の会議◆

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後2時00分)
これより午後の会議を進めてまいります。

【議題】

陳情第6号 喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置について

○宮城政司 副委員長 陳情第6号 喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置についてを議題とします。

本件につきましては、先日前お諮りしたとおり、参考人から意見聴取を行いたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午後2時00分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後2時02分)

○宮城政司 副委員長 本件の参考人として、喜友名自治会より知念桂子さんほか2名の方に御出席していただいております。本日は、お忙しい中にもかかわらず、本委員会のために御出席いただきまして、大変ありがとうございます。本委員会を代表して厚く御礼申し上げます。

早速本件に対する説明を聴取して、調査を進めていきたいと思っております。では、参考人の御意見を簡潔に述べていただいた後に、委員からの質疑に答えていただくようお願いいたします。それでは、御発言をお願いします。知念桂子参考人。

○知念桂子 参考人 皆さん、こんにちは。説明する前に、お二方を紹介したいと思います。喜友名財産管理検討委員会の知念盛男です。同じく財産管理検討委員会の新垣清涼です。よろしくお願いいたします。

それでは、陳情の説明をいたします。喜友名グスク跡地内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置について陳情いたしました。陳情の趣旨として、沖縄戦後、米軍のキャンプ瑞慶覧住宅地区建設に伴い、喜友名グスク跡地とフトゥキアブ一帯を軍用地として接収されたために、そこにあった喜友名グスクの香炉22基とフトゥキアブの香炉2基は、1951年に喜友名区内のお宮、合祀祠に移されました。この喜友名グスクの香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された喜友名グスクゾーン内に戻すための合祀祠を設置していただきたく、処置していただきたい。以上です。

○宮城政司 副委員長 それでは、委員の皆様からの質疑をお願いします。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 お願いします。今回の合祀祠の香炉20基あるかと思うのですが、この20基の香炉すごくいいものだよという説明をお願いしても大丈夫ですか。

○宮城政司 副委員長 知念盛男参考人。

○知念盛男 参考人 この合祀祠は、喜友名グスクに22基あったのです。20基はチュンナーグスクに2基はフトゥキアブにあり、フトゥキアブの祠については文化課立ち合いで元の場所に戻されています。今回お願いしたチュンナーグスクの合祀祠をとということで、この20基の中には1700年代の刻銘がある、例えば当時の役職がついた、しかも年号が入った、明示された祠が香炉があるものですから、それは文化財としても相当貴重な財産だろうということで、市が計画しているチュンナーグスクゾーンとせっかくゾーニングされているみたいなので、そこが公園事業で着手するとなった暁には、これを移してもらいたい。文化財的な相当あるということであります。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 ありがとうございます。今この陳情書にもあるように、11基が歴史的な文化財、刻印が入っていると。残りの9基はどういった形になっている。

○宮城政司 副委員長 知念盛男参考人。

○知念盛男 参考人 刻銘がなされるくらい、香炉については残念ながら途中欠けてしまったり、石ころと見分けがつかないようなものもありまして、これはさすがに文化財的価値はないだろうと思っておりますけれども、そこにもし合祀祠の移設が可能であれば、喜友名としてはもとあったように、喜友名の祠にあったように、移したいと考えております。

○宮城政司 副委員長 ほかに御質疑あればお願いします。又吉亮委員。

○又吉亮 委員 今日はありがとうございます。少し教えていただきたいのですけれども、今この喜友名区、地元のほうで例えば年間行事とかの中にここでの拝みだったりとか、御願行事があったりするののかというのをちょっと教えていただきたいです。

○宮城政司 副委員長 知念桂子参考人。

○知念桂子 参考人 拝みはしております。まず、新年度、ハチウガミ、旧の1月3日に拝みをします。それから5月、6月ですか、にも拝みをします。年に3回やっています。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 仮に喜友名グスクゾーン内に西普天間の区画整理を終了して、喜友名グスクのところに移設、合祀祠が移設された後も、喜友名区の年間行事として、拝み行事として継続していきたいというような思いもあるというところの認識でよろしいでしょうか。

○宮城政司 副委員長 知念桂子参考人。

○知念桂子 参考人 そうです。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 最後なのですけれども、この拝み自体がちょっと僕のほうでイメージができていないのですけれども、役員さんだけでやっているのか、もしくは区民の方が結構来て、そこで祭祀というか、宮司さんだったりとか、何かをお呼びしてやっているものなのかどうか、ちょっとイメージとして考えているのが、もしこの移設ができたときに、そこで継続してやるときに役員さんだけでやるのか、区民もみんなと一緒にやるような祭祀になるようなものなのかというのをちょっとお聞かせください。

○宮城政司 副委員長 知念桂子参考人。

○知念桂子 参考人 今のところ役員でやっております。私と書記と、あと老人会長、婦人会長も一緒でしたけれども、今婦人会がちょっとお休みしていますので、婦人会は今欠けています。

○宮城政司 副委員長 新垣清涼参考人。

○新垣清涼 参考人 今自治会でそういう旧新年に、それからイシビとかウマチーとかという行事をたびたびやっていますけれども、自治会ではそういうふうに行っておりますが、他地域からも今の方が、たまたま昔住んでいたとか、あるいはここから移転したけれども、そういうまちのことをしなさいと言われて拝みにいる方もいらっしゃるのです。結構そういう方が多いのです。ですから、私たちとしてはそこに線香を使わないでほしいという立て看板もしておりますが、いっぱいたまっている。だから、相当の方々がいらしています。以上です。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今日はお疲れさまでした。ありがとうございます。陳情書の下の方に2020年6月に宜野湾市教育委員会の記録に基づいて、市及び教育委員会立会いの下でフトッキアブですか、元に戻されたとい

う形であると。ちょっとその辺があまりイメージが湧かなくて。

○宮城政司 副委員長 知念盛男参考人。

○知念盛男 参考人 フトゥキアブは、現状はほぼ戦前のまま、壕というのですか、戦時中、喜友名の住民が400名も避難したという壕が残ってしまっていて、その入り口のほうのほうに入って、幾つもの香炉がまだ残っているのですけれども、結構あるのですけれども、喜友名でもともと拝んでいたフトゥキアブの香炉というか、正面に置いて、正面のところには2か所、2か所といいますか、香炉が2つある。これを西普天間基地返還されて敷地内に入れるようになったものですから、文化課の職員も立ち会いの下にフトゥキアブの香炉は元に戻したということです。これも喜友名区で拝んでいたと、戦前は。ということでもあります。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 では、元の場所の近くに今喜友名グスクゾーンというのがあるわけですか。

○知念盛男 参考人 市の基本計画案と、基本設計と聞いていますけれども、その中ではチュンナーグスクゾーンというのがあるって、これチュンナーグスクゾーンのすぐ隣にフトゥキアブがありまして、もしチュンナーグスクゾーンにこの香炉を持つことができるのであれば、喜友名のほうとしても戦前からやっていたように、戦後もやっているように、フトゥキアブもチュンナーグスクの香炉も年間行事として、区の行事として拝むというふうになっております。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 では、結局今から移す計画ということと、あとは今あるのを追加したやつ、建物というか、そういうふうなあれも喜友名からは希望とかそういうのがあるのですか。

○宮城政司 副委員長 知念盛男参考人。

○知念盛男 参考人 陳情の要旨にもありますとおり、戦後米軍地に接収されて、仮に喜友名のお宮というところの敷地に合祀祠を造って、そこに安置してありますけれども、この祠が1957年にできたものですから、かなり危険な状態であったものですから、この公園事業計画があとどれくらいかかるか分かりませんが、もし陳情希望がかなってそれに移す場合は合祀祠もできましたし、設置してほしいという陳情なのです。やっぱりそこまではこういう事業では難しいですよとなった場合には、そこで設置が、可能になるようにという趣旨です。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑がございませんか。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 分かる範囲で良いので、今指定文化財の申請は出されていて、どこまで何基出されていますか、指定文化財。

○宮城政司 副委員長 知念盛男参考人。

○知念盛男 参考人 今市の文化課のほうと指定文化財ではなくて登録文化財、指定文化財は前にもいろいろと資料を集めてやろうとした経緯があるようですけれども、ちょっと資料がもう整理ができなくて、登録文化財であれば何とか可能性があるのではないかとということで、登録文化財の登録されれば、公園法上の設置許可、設置許可といいますか、そこにそういうのを置いていいというものを少しは可能性が出るのではないかとということで文化課と調整を進めています。文化課のほうは建設部のほうとも少しやり取りしてもらっているのではないかなと承知していますけれども。

○宮城政司 副委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 これは全部の20基のものを全て登録文化財として申請しているという認識でいいですか。

○知念盛男 参考人 その何基まで登録ができると、そういう基準を満たしているというのは、聞いていませんけれども、多分刻印されているのは、名前も確認いたしましたけれども、全て登録ができるのではないかと考えております。

○宮城政司 副委員長 ほかによろしいでしょうか。御質疑がある方。
(「なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 すみません。私から1点お伺いしたいのですが、この合祀祠の設置、この喜友名グスクゾーン内に戻して設置することで、自治会の活性化だったり、もちろんこれまでの喜友名の文化の継承というものももっともっとよくできるようになるというふうに僕は理解しているのですが、そういう理解で合っていますか。皆さんもそういう要望をされていますか。新垣清涼参考人。

○新垣清涼 参考人 やはり私たちの先輩たちが大切に守ってきたものですから、要するに米軍に接收されたとき、あの土地を。接收されたときに、全部もとのあった場所からお宮の場所に香炉を移して、今日まで守ってきました。ですから、先人たちの意思を引き継いで、私たちがそれをもとあった場所に設置することによって、区民の皆さんがまたそこでさらに輪を強めていく、行事などそこでできればいいなと思っています。昔は、そういうところで相撲を取ったり、いろんなことをやっていたみたいですが、ぜひその公園内に、要するに喜友名のグスクゾーンという設置を市のほうでも考えておられるようですから、ただ香炉だけ置いてもどうなるか分かりません。誰でも公園は入れるわけですから。ですから、そういう意味ではちゃんと祠を造って、その中に設置して、後世の人たちに引継ぎでいきたいなと思いでいます。よろしくお願ひします。

○宮城政司 副委員長 ありがとうございます。
ほかに質疑はないでしょうか。よろしいですか。
(「なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 審査中の陳情第6号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思ひます。これに御異議ありませんか。
(「異議なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午後2時19分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後2時27分)

【議題】

議案第7号 令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)

○宮城政司 副委員長 次に、議案第7号 令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)を議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第7号についての趣旨説明を求めます。建設部次長。

(執行部説明省略)

○宮城政司 副委員長 では、本件に対する質疑を許します。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 よろしくお願ひします。議案第7号の附則の資料のやつなのですけれども、繰越明許費に係る理由等についての理由のところ、県アセス審査会と書いてあるのですけれども、県アセス審査会とはどういった機関なのか、教えてください。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 環境影響評価の審査というふうになっています。

これは、環境を前もお話ししたと思うのですけれども、調査するのです。工事の入る前に調査して、工事に入りながら、工事が終わったらどうなるかということ調査する。それを4年度行ってきたわけですが、それもまた県の審査会というのがあります、これが日数がかかっているということです。昨年まではコロナでこの審査会が伸びたりしたのですがこういった影響もあると思うのですが、またそれがちょっと時間を要しているということです。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 歳入も歳出も金額的に6億443万円の減なのですけれども、これは大きく捉えて、本年度で事業が完成しなかったから、マイナスになっているという認識でいいですか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 実は、これ一番の地区の平準化ということで、前もお話ししたか、ちょっと覚えていないのですけれども、例えば5年間で10億円使いましょうとなった場合、単純に割って2億円ずつというふうに、それを平準化して計上しないといけないというのがあるのです。それは平準化しているのですけれども、ただ地区の中で工事する箇所が決められているものですから、例えば支障除去に時間がかかるとか、仮置き残土、土を仮置きしているところであったりとか、そういったもので、思うように毎年2億円ずつできない。例えばの話、2億円ずつといっても、2億円ずつのものができないと。それでやりくりしながら私たちは今進めているところなのです。それで、こういったようにできないところがあったりするわけなのです。それがこの西普天間の難しいところでもあります。

ただし、西普天間住宅地区に関しましては、皆さん進捗率のもので資料頂いたと思うのですが、こういう。幹線道路があります。幹線道路は翌年度までに完了すると書いてある。区画整理自体は令和9年度までに完成する予定でありますので、これに合わせて私たちは工事して整備しています。ですから、今は平準化ということで一定の方法で予算を計上しているのですけれども、令和5年度辺りから現実とこの予算が合ってくるのか。本来だったら工事の始まりは、あまり金額を使わない。ピーク時にこういうふう金額を持っていて、最後はまた落ちていくというふうになっていくのですけれども、最初の中で平準化したものですから、今はまだこの平準化とかの差があるような形になっております、正直。それが本音でございます。そういうことでございます。

○宮城政司 副委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 アクシデント等、工事中に、そういうのも加味してというか、そういうのもあるからこういうふうな予算の使い方というの。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 アクシデントと言えばアクシデントかもしれないのですけれども、現実的にいざ工事が入った場合にはいろいろ支障が出てきます。先ほどお話ししたように、支障除去が時間かかるとかあるのです

けれども、この地区に関しましてはどっちかというところ、まだ入りにくいところがある。そういうことでありますので、大幅な減額が出てきている状況でございます。

○宮城政司 副委員長 ほかには質疑はないでしょうか。

私から1点教えてください。7ページの歳入の1款1項2目の土地区画整理国庫補助金の説明欄の土地区画整理社会資本整備総合交付金減額とあったのですけれども、これの減額の理由を伺ってもよろしいですか。市街地整備課長。

○市街地整備課長 実は、これは9,000万円のお話なのですけれども、これは社会資本整備総合交付金なのですけれども、この交付金は、今私たち工事として使っているのは無電柱化のほう、そして橋梁です。橋梁も幹線道路、先ほどお話しした幹線道路、ここに使えるものなのです。整備にも使えるわけです。主にこれを中心とした社会総合交付金なのです。その中でプールとして、やはりこの9,000万円はとにかくほかの地域で使えないかということもありまして、私たちも令和3年度に未契約があったのです。未契約繰越しがあったものですから、それも使わないということでありましたので、県と協議して調整しながら、では9,000万円は分かりましたと。それでこれは減になっているというところでございます。

○宮城政司 副委員長 工事の進捗の中で、予定はしていたけれども、進まなかった部分もあったので、一旦というか、返還して、また必要なときに改めて交付金を要望するような形ですか。市街地整備課長。

○市街地整備課長 まさにそのとおりです。先ほどもお話ししたように、いただいているのですけれども、まず内示はこれと決まっていらないのですけれども、私たちも要望はしたのですけれども、やはりいざ現実的にこの4月に近づくにつれて、やはりできるところとできないところが出てきますので、それを考えていきますと、お話を調整しながら、これは返還したところでございます。ただし、9,000万円もらえなかったから、この9,000万円は損したねというような考えではないです。先ほどお話ししたように、令和6年度には幹線道路が完了します。令和9年度には区画整理を全部行いますので、それまでには全部使おう。本当に必要なときは私たちもっと取りますよと、もっと頂きますよということで、それに併せた予算の計上の仕方になっております。ですから、令和5年度ぐらいから落ち着くのではないかなと思います。うちの要望と、夏頃考えている要望と、大体3月頃考えている要望が見えてくるのかな、来年度ぐらいから。そういうふうは今考えております。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 11ページの歳出のほうなのですけれども、2目建設事業費、説明欄02、5億2,000万円の委託料、工事請負費とあるのですが、5億円ぐらいの工事というのはどういった工事なのか、その辺ちょっと説明をお願いします。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 5億2,000万円というのは、委託料1億6,000万円に工事請負額が3億6,000万円になるのですが、委託料に関しましては地下空洞調査とか値を張ったそうです。これは結構大きなもので。あとは設計業務委託とか、現場状況によって変わってきます。それがなくなってきたというのがあるわけです。それ以上だと6,000万円、今減にしております。工事の3億6,000万円とか、先ほどお話ししました進捗率のところになりますけれども、この図面見た方がいいのかなと思うのですけれども、これには大きな保留地がありまして、琉大敷地があります。1ヘクタール保留地と琉大の敷地があります。その間に壁を造った遊歩道、

擁壁を設置した後、遊歩道を造る。それが結構3億円程度のものまで金額かかるので、この3億6,000万円ということになっています。これがまだ手をつけられない。これは琉大側の関係でまだ手をつけられないような形になっております。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今1億6,000万円は設計とか調査とか、こういうのはやっぱり前もってやるから返すとか、どのぐらい返したか分からないのですが、ある程度の手数料というのはやっぱり入れるような感じで我々思うのだけれども、まるきり1億6,000万円を返すのかどうか、その辺ちょっと説明をお願いします。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 まるきり全部返すわけではないのです。たくさんの候補があるのです。例えば西普天間住宅地区包括業務委託とか、全体の面倒を見させている業務委託だとか、普天間喜友名線の景観の設計だとか、その辺だとか、あとは地下空洞とかが大きいですね、調査とか。西普天間、これは現場技術業務、これもそうなのですが、この現場にあって、地下空洞も初めてそういうのが出たよということで私たち調査しますので、それも分からないところがあります。ただし、分からないからといって調査を入れなければ、さらにまた工事が延びるわけですから、前もってそういったのは計上しているわけです。

あとは、この西普天間喜友名線の景観、この景観問題もやはりまだその前の調査ができていないとか、設計ができていないとか、そういうのもあるもので、工事をしないと設計ができない、この設計ができなければ、またこれができないというようなものが関わりがあるものですから、こういったものを積み重ねて1億6,000万円というふうに理解しております。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 補足ではないのですが、今ちょうどマイナスの部分だけ、この11ページと委託費が1億6,000万円マイナスで、工事が3億5,000万円マイナスなのなのですが、実際残った委託、実際業務をしている委託なんですけれども、委託費であと2億7,000万円近くを執行しているような状況。ちょっと繰越しもありますけれども。あと、工事に関しても3億6,000万円落としますけれども、14億円の事業費を持っていますので、確かに大きい額、1億6,000万円と3億6,000万円という大きい額の減額ではあるのですが、実際持っている工事もまた普通の規模の事業で言えば3億6,000万円の減額となるとほとんど事業費を持っていないのではないかと思います。14億円の工事費は今業務をしていますので、当然繰越しもありはするんですが、そういった中で事業をしているということは御理解いただいて、先ほど言った平準化をするためにとか、現場の状況に応じてどうしても減額が出てくるというところで、その減額が西普天間に関しては規模がちょっと大きいので、こういった数字で出てきているのですが、実際執行している業務についてもそれぐらいの額は実施をしているということは御理解いただきたいなと思います。以上です。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 ちょっと補足いたします。回数とかではなくて、これは単独になっていてですね、保留地処分金なのです。保留地処分金は基金にありますので。

(「出し入れできるということ」という者あり)

○市街地整備課長 そうです。ちなみに社会総合交付金という社総金に関しては、これは例えば無電柱化に

つきましては沖電工さんと私たち、長年にわたって契約、協定を結んでいますので、ですので随契になっておりますので、その件についてもでき次第どんどん、どんどんやっていきますので、今年は遅れが出たからといって、これを返すとか、そういうわけではありません。どんどん使っていきます。その辺は、今やりくりして進めているところです。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。又吉亮委員。

○又吉亮 委員 ちょっと教えていただきたいのですけれども、11ページを見て、国庫補助で9,000万円の減、市債で900万円の減、これを見ると充当率だったりとかというのは一般財源で100とかというのも分かるのですけれども、ちょっと市債の減のイメージがつかなくて、市債の補正減というものがどういったものなのか。起債するタイミングがあって、当初予算、令和4年度段階で当初予算が1億1,100万円というふうに、当初予算ではないですね、補正前の額では1億1,100万円であるのですけれども、それから900万円、市債を減したときは、イメージが湧かないのです。国庫補助とかだった場合は返すとか、基金の場合だったら基金に繰り戻すとか。でも、市債の減はどういう動きなのだろうというのがちょっと分からなくて、そこを。令和4年度で事業をスタートするときに起債をして、この借金をして事業はスタートさせている中で、3月に補正が減ということがどういったことなのか、そのお金がどういふふう動いているのかというのをちょっと御説明いただけたら。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 詳細は担当のほうからまた補足があると思うのですが、まず今回先ほど又吉委員がおっしゃったように、約1億円余りの国庫支出金に対して裏負担の1,000万円の借入れがあるという形になるわけですが、これは当初の予算の計画です。これで当然起債先の県であるとか、また借入れ先についても、それで計画書を立てて、実際は当然額は動きますので、その間いろいろなやり取りをするのですけれども、最終的には実際この年度で使った事業に対しての補助金額、その裏負担、そこで充てられるまた起債額というのが出てきますので、今回落とした額でもって、例えば起債であると900万円落としていますので、残り補正後は9,200万円になりますので、その9,200万円最終的には対応しますよというまた手続になるのですけれども、ですので実際借り入れするのは補正後の額で借り入れしますので、流れとしてはそういった形になります。何か補足があれば。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 まさにそのとおりです。この負担分の起債になっておりますので、4月の時点では計上額がそういうふうに1億円ですか、出たわけですが、今の時期借入れ申請が3月にありますので、そのときにはちゃんと補正した金額で申請するということとなります。同じことです。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 令和4年度で事業がスタートというか、その年度の事業がスタートする際に、当初1億を借りるということだったのですが、実際に借りるのは年度末に借りるということになるのですね。事業はスタートしているけれども、そのときに使うお金というのは国庫だったりとか、一般財源だったり、基金だったりという部分から財源を充てて使って、最後の3月補正で借金額というか、起債する額が決まるというようなイメージでよろしいでしょうか。

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 そのとおりでございます。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。下地崇委員。

○下地崇 委員 7ページの土地区画整理社会資本整備総合交付金9,000万円減と11ページの1款1項2目、説明欄の01、西普天間住宅地区土地区画整理事業の補助の8,327万3,000円は、これはこの中に、9,000万円の中に減額されたのに網羅されている内容、事業ということになるのでしょうか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 この9,000万円に含まれているというわけではないのですけれども、これは事業費なのです。委託料の……

(「8,300万の減なんですよ」という者あり)

○市街地整備課長 この委託料というのが、議員の皆さんにお話ししました無電柱化の流れのほうです。無電柱化は工事ではあるのですけれども、委託も含めて、工事も含めて、事務費も含めたものですよと説明しました。委託となっています。委託の協定になっています。ただ、この9,000万円というのは工事にしか使えませんので、この工事部分のマイナス9,000万円です。この委託料というのは、電線共同工事に係る業務委託の金額の減なのです。ですから、基本的には1億円分を減にしまして、工事部分を。ただ修正設計はこれにありますけれども、1,672万7,000円というのがありまして、これ今回追加したのです。1億円は減になったのです。1,672万7,000円は増になったということで差し引いたら8,320万円になる。そういうことです。この辺ちょっと難しいところです。

○宮城政司 副委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 電工さんに依頼する予定だったこの無電柱化が、諸事情で今回は執行できない分が減になっているので、この費用は抜かれているということで。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 そういうふうな計上になっております。

すみません、執行ではなかったかということですか。

(「そうですね」という者あり)

○市街地整備課長 金額的に、これは令和4年度のを返しただけでありまして、令和4年度のこの工事につきましては、令和3年度繰越しが未契約繰越し分の金額がありましたので、それをまた充当しました。その分で電力さんにはお支払いする予定でございます。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。よろしいですか。

(「進行」という者あり)

○宮城政司 副委員長 それでは、審査中の議案第7号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午後2時58分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後3時10分)

【議題】

議案第16号 令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算

○宮城政司 副委員長 次に、議案第16号 令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算を議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第16号についての趣旨説明を求めます。建設部次長。

(執行部説明省略)

○宮城政司 副委員長 ありがとうございました。

では、本件に対する質疑を許します。下地崇委員。

○下地崇 委員 よろしくお願ひします。10ページの7款1項1目の土地区画整理事業債、今年度が4,160万円、前年度から5,950万円減ということですが、これは事業が進んできているということで、その必要がなくなって減になったのと、事業債を繰り越す必要がないから減っているという認識でよろしいでしょうか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 事業のほうやはり委託費だとか、工事費が減になっている。それに合わせて、やはり補助金も下がっていきますし、地方債だとかそういった一般財源なども下がってくるということになっております。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はございませんでしょうか。どんどん、どうぞ。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 歳出の12ページです。1款1項1目の説明01のところの公告料とあるのですが、この公告料は何の公告料になりますか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 この公告料なのですけれども、改葬公告料及び告示送達ということで、この公告と工事送達ということで金額を計上しております。この改葬というのは、急に現場のほうで人骨が出たり、そういった場合がありますので、そのときの公告料です。

○宮城政司 副委員長 どうぞ、細かいことでもぜひ聞いてください。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 単純な質問だけでも、6ページに基金繰入金とあります。前年と比べ約11億円ですか、少なくなっているのだけれども、基金繰入金というのが結局工事がその分だけ少なくなっているのか、それで考えていいのか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 私たちも工事委託を計画しているところなのですけれども、やはり今年度、4年度と比べて減になると、この事業量が。そういうことでこの基金繰入金も減ってございます。

○宮城政司 副委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 本来は、前年度と同じような基金だったら、仕事の量が増えて、できるのかどうか。それともどういうふうな感じで。

(「すみません。もう一度お願いいたします」という者あり)

○濱元朝晴 委員 結局今年度が前年度より約11億円少ないということですよ。前年度と同じような感じの予算だったら、その分だけその年度で仕事ができるのかな。違うかな。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 一部改良益だとか、何工区などございますよね、ああいった何億円レベルの工事が少なくなるということです。あと橋梁も落ち着いてきますので、そういうことが大きい。工事の内容です。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 物すごく細かいところなのですが、12ページの1款1項1目、01の児童手当64万円が職員の明細書等とかに項目がないのですけれども、これは反映されないのでしょうか。ほかのものは全部あるのです。共済だったりとか期末勤勉、住居、特殊勤務、時間外、ちょっと僕が探し切れなただけなのか、その他の手当の部分に入るべきだけでも、数字が入っていないのかというのが。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 この12ページのところでは職員手当等というふうに記載されていて、等というふうに記載されていますので、手当も入っているということです。16ページでは、職員手当ということで児童手当が計上されていないということです。様式として、そういうふうな。手当はここでは含まれていないということです。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 簡単に言えば、給料の中に反映されるものではないから、ここには入っていないという認識でよろしいのでしょうか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 給与費明細書の中には入っていないということで、給料には関係ないということで、児童手当は入っていないということで理解しています。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、もう一つ教えてください。その他の手当というのはどういったときに使われますか。今まで使ったことはないということでよろしいですか。

(「休憩」という者あり)

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午後3時26分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後3時29分)

○宮城政司 副委員長 建設部次長。

○建設部次長 それでは、その他の手当という内容と、あと児童手当が含まれていないところについては、我々もまた人事課とか、うちの財政を確認して、また後ほど答弁させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 また別の質疑なのですが、今からその次に質疑するものなので、ちょっと付随するので、教えていただきたいのですが、令和4年度の電線共同溝建設、要は電線地中化のものです、この事業はどのくらいでしたか。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 どれぐらいといいますと、全体事業の話ですか。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午後3時30分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後3時31分)

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 1億5,028万2,000円です。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 ありがとうございます。では、次13ページなのですが、今年度の補助事業約4億8,000万円計上している中でも財源で93万2,000円、電線共同溝建設負担金ということで93万2,000円財源があるので、これが11ページを見ると、要は令和4年度の予算はゼロで、今年度財源93万2,000円として入れられているというところなのですが、令和4年度もこの事業をやっているけれども、この負担金の収入がないと。でも、今年度はこの4億8,000万円の事業を立てて負担金が入っているという、財源として入っているという、この違いを教えてください。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 当時は今年度入っていなかったのですが、補正で同じ金額を入れてございます。12月補正でこの金額は計上しております。

○宮城政司 副委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、この前年度予算というのは当初予算の比較ということで認識させていただきます。

では、この負担金の額なのですが、これは一定の額で決まっているのか、事業費のものどれぐらいのパーセンテージで負担金が入ってくるのかというのが決まっているのかというのを教えてください。93万2,000円の根拠です。

○宮城政司 副委員長 市街地整備課長。

○市街地整備課長 これは私たちの取り決めるものではなく、法律で決められているものです。分母が条メートル辺り143円ということで決められているようです。これメーター辺りということです。条のメーターということです。それかける幾らということで、均等割にして入っています。

○宮城政司 副委員長 ほかに質疑はないでしょうか。

(「なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 それでは、審査中の議案第16号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○宮城政司 副委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○宮城政司 副委員長 休憩いたします。(午後3時35分)

○宮城政司 副委員長 再開いたします。(午後3時38分)

○宮城政司 副委員長 本日の会議はこの程度にとどめ、次回は3月8日午前10時から委員会を開きます。本日はこれにて散会いたします。御苦勞さまでございました。

(散会時刻 午後 3時38分)

経済建設常任委員会会議録

○開催年月日 令和5年3月8日(水) 3日目

午前10時00分 開議

午後3時22分 閉会

○場 所 第2常任委員会室

○出席委員(7名)

委員長	知名 康 司
委員	濱元 朝 晴
委員	下地 崇
委員	嶺井 拓 磨

副委員長	宮城 政 司
委員	又吉 亮
委員	宮城 優
/	/

議長	呉屋 等
----	------

○欠席委員(0名)

○説明員(13名)

市民経済部 次 長	新垣 育 子
環境対策課 環境指導係長	當間 大 和
市民協働課 市民協働係長	塩川 浩 志
健康増進課 課 長	玉城 悟
基地政策部 次 長	又吉 直 広
上下水道局 次 長	新垣 勉
下水道施設課 課 長	城間 勝 也

環境対策課 課 長	當山 正 盛
市民協働課 課 長	伊佐 英 人
健康推進部 次 長	伊佐 真
健康増進課 健康推進係長	佐久田 貴子
基地渉外課 課 長	宮城 竜 次
水道施設課 課 長	高宮城 淳

○参考人(0名)

○議会事務局職員出席者

議事係長	大城 拓也
------	-------

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

- (1) 議案第23号 宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について
- (2) 議案第22号 宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- (3) 議案第30号 中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について
- (4) 陳情第10号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳情
- (5) 議案第3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- (6) 議案第4号 令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)
- (7) 議案第7号 令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)
- (8) 議案第8号 令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第2号)
- (9) 議案第9号 令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)
- (10) 議案第12号 令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算
- (11) 議案第13号 令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算
- (12) 議案第16号 令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算
- (13) 議案第17号 令和5年度宜野湾市水道事業会計予算
- (14) 議案第18号 令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算
- (15) 陳情第6号 喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置について
- (16) 陳情第15号 公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情
- (17) 陳情第9号 インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施延期を求める陳情
- (18) 陳情第13号 西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情
- (19) 陳情第14号 西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情

第449回宜野湾市議会定例会（経済建設常任委員会）

令和5年3月8日（水）第3日目

○知名康司 委員長 おはようございます。ただいまから経済建設常任委員会の3日目の会議を開きます。
これより議事に入ります。

（開議時刻 午前10時00分）

【議題】

議案第23号 宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について

○知名康司 委員長 議案第23号 宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例についてを議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より議案第23号についての趣旨説明を求めます。お願いします。市民経済部次長。

（執行部説明省略）

○知名康司 委員長 では、本件に対する質疑を許します。又吉亮委員。

○又吉亮 委員 今回の改正概要というのが、寺院または教会の境内に建設する場合はこの限りではないということなのですが、今現状神宮寺の1か所ということではあったのですが、では今現在は神宮寺の周り100メートルにはこの括弧に書かれている公園、学校、保育所、幼保連携型認定こども園、そういったものはないという認識でよろしいのでしょうか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 普天満山神宮寺の納骨堂につきましては、平成26年度に本市の墓地条例が施行される前から存在しておりまして、このような条例施行前から存在する既存の納骨堂については、本条例による100メートル以内の距離制限の適用を受けません。したがって、令和2年度には普天満山神宮寺の境内への納骨堂の改築がございましたけれども、その前には申請に基づきまして、本条例施行前に存在する既存施設の改築であること、そして周辺住民への説明会や隣接住民との協議を経て、同意を得た上での設置であることを踏まえ、条例の13条のただし書の規定を適用して、改築に係る納骨堂の設置について許可をしております。もともと条例が施行する前から存在していたということがございまして、それは不利益不遡及の適用ということで、適用しないということで100メートルの規定はもともと適用はできない状況です。以上です。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 私の質疑の内容は、神宮寺の100メートル以内に公園、学校、保育所等はないという認識でいいですかということです。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 普天間高校が100メートル以内だそうです。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 普天間高校の向かい側にも保育園があったはずなのですが、普天間高校は以前からあるところですし、この条例が決められる前から。神宮寺も以前からあるところなので、これは致し方ないと

ころなのかなと思うのですけれども、この保育所は100メートル以内にはないですか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 委員から御指摘のあった保育所についての距離についての、推定距離について測ったことはございません。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 先に神宮寺ができていますので、恐らくこっちに保育所を開設する際に、そこに許可を下ろす時点でも100メートル以内であった場合、そこが多分担当にはなるかと思うのですけれども、要は保育の開所の許可を出す。でも、これが今分からないというような状態ではあるのですね。

僕が聞きたいのは、なぜこのタイミングなのかなと思ったのです。西普天間の区画整理事業をやっていく中で、ひょっとしたら100メートル以内のところに、ここに公園、学校等ができるかもしれないから、今でこういった条例改正をしようとしているのか、もしくは現状に条例を合わせようとしているのかというのがちょっと知りたいのです。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 本市においては、やはり狭隘な土地がございまして、なかなか墓地、個人墓地とか、そういったものを誘導先もない状態の中で、規制も非常に難しいという状況がございまして、できるだけ民間霊園に対して許可を緩和することで、市民の墓地需要に対する需要を補っていかうというものです。そして、本市以外の9市におきましては、既に100メートル以内というのは撤廃して、寺院、もしくは教会の納骨堂の100メートル以内の設置というのは行っている状況で、そこに合わせて平準化させていきたいというもので、今回の改正となっております。さらにある宗教法人からも、以前からできるだけ納骨堂の設置をお願いしたいという希望もございましたので、そういった事情もあるということもございまして、そういった面から今回の改正となっております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、現状の神宮寺の周りの100メートルがどうだとか、現状に合わずとか、そういったことではなくて、神宮寺を中心に考えて、新しくそこに公園とか何とかができる可能性があるから、それを改正するわけではなくて、今後新たな土地に宗教法人だったり、納骨堂だったりというところができる際に、この100メートル以上に造りなさいというものを撤廃するためのものということの認識でよろしいですね。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 そのとおりでございます。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしく申し上げます。先ほど課長がおっしゃっていた県内で11市中9市は、もうこういった除外規定を設けているということだったのですけれども、設けていない2市というのは宜野湾市とどこかということ合っていますか。そこはどこか教えていただけますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 調べた限りで、11市中本市と浦添市となっております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 イメージでしかないのですけれども、浦添市はやっぱり宜野湾市より少し人口も多い。こ

ういった需要はもっと高いのかなと思って、もう既にというか、先に条例改正していそうなイメージはあったのですけれども、浦添市の事情というのですか、何か分かれば教えていただけますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 すみません。浦添市がどうして100メートル以内の整備を撤廃していないのかという事情については把握してございません。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。頂いた資料で、少し質問を変えます。7番目の宜野湾市墓地基本計画概要の抜粋の中で、令和14年を見込んでの墓地需要というのが書いてあります。今から約10年後ぐらいということなのかなと思っているのですけれども、このうちの53.2%、1,926を公営墓地で、残りというのを民間霊園で対応できたらということだと思っておりますけれども、今現在神宮寺しかない状況で、神宮寺にマックス何基というのですか、何柱というのですか、設置、納骨可能なのかという情報があればお伺いします。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 神宮寺の収容能力としては439基となっております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ということは、恐らくこの令和14年見込みに対しては全然足りないということなのかなと想像します。なので、こういった規制緩和をすることで需要に対して供給を増やしていくということだと思うのですけれども、先ほど既に宗教法人から納骨堂設置の要望があったというふうにおっしゃったのですけれども、どれぐらいという何か、何件あったかとか、いつ頃からそういう要望があったかというのは把握されていたら教えていただきたいです。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 私が来る前からですから、3年前からと聞いております。1団体…。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 その3年前の1回ですか。幾つかの団体から、例えば10年間で何回かあったとかではなくて、その1回だけ要望があったということですか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 その1団体のみです。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 もっとあるのかなと思っていたのですけれども。もちろんこの1団体からの要望というのは一つのきっかけかもしれないのですけれども、その1団体の要望というのはどれぐらいの規模の納骨堂を想定しているかというようなお話もされていますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 すみません。その規模につきましては、まだこちらのほうから把握して、情報として調べたことはございません。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 そうすると、今後宜野湾市としてはこういった納骨堂をもっと必要になるというふうを考えていると思うのですけれども、市内業者、もしくは市内ではないかもしれないのですけれども、宜野湾市内

で納骨堂を設置しませんかといった形の周知といたしますか、ということも考えていらっしゃいますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 宜野湾市内に私たちが把握している宗教法人が10数団体ございますので、そこら辺につきましても。条例改正後、これらの団体についての周知については、ホームページ等でどういう部分で行うかどうかというのは検討させていただきたいと思っています。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。少し懸念しているのは、こういった納骨堂を設置できるようになったことをきっかけというのであれば、不当に高い料金を設置できるようになってしまうと、あまり市民のためにならないのかな。特に宗教が関わってくると、すごく難しい、ナイーブな話になってきたりするので、なかなか難しい。でも、利用したいから、宗教を信じている方というのは、全然悪い思いではなくて、素直な思いで信じていらっしゃると思うので、例えばこの規制緩和と同時に、例えば納骨堂を使うときの基本ルールではないですけども、設置する際の利用料金についてもものすごく詐欺的な金額にならないようにとか、そういう規制みたいなものも並行して検討できないですか。要は、市民が利用しやすくなるようなこともちゃんと考慮していただきたい的なルールは難しいとしても、案内というか、そういったことというのは周知と同時にやってもらいたいという希望もあるのですけれども、その辺りは何か検討されていますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 具体的な検討はしておりませんが、あくまでもこれは民民のお話ですので、需要と供給に応じて決まることだろうと思っています、市場価格は。ただ、しかし墓地というのがやはり公共的な、安価な供給ということは当然目指すべきことであると思いますので、こちらとしても例えば公営墓地を造るにしても、民間よりは低く抑えた価格設定というものを検討しながら、これから進めていく中でそういった業者というか、納骨堂を運営できるのが宗教法人または公益財団法人、また公益社団法人の3つに限られています。そこら辺につきましても、ある程度の公共性を持った、株式会社とか、そういった営利企業ではないところには許可しませんので、そういったところで一応担保はされているのかなと。客観的な金額が担保されているのかなというところもございますので、しかしながら許可するに当たってはそういったところも加味できるかどうかということも含めて検討していきたいと思います。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 基本的なことなのですけども、分からないので聞きたい。納骨堂と墓地の違い。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 納骨堂というのは、限られたスペースで効率的に遺骨を収蔵するようなイメージです。例えばロッカー式であるとか、一般的にはですけども、そういったものが納骨堂と。そこに1体とか2体とかというのを、コインロッカーではないですけども、そういったコンパクトにまとめられたようなイメージです。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 それであればイメージつきました。要は効率とかも兼ね備えているというか、そういうイメージがいい。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 そうです。効率で、また比較的普通に墓地を構えるよりは土地代も要りませんので、安価に安く弔うことができるというイメージでございます。

○知名康司 委員長 ほかに。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 では、進行の声がありましたので、進行させていただきます。

審査中の議案第23号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思えます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前10時26分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前10時29分)

【議題】

議案第22号 宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

議案第30号 中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について

○知名康司 委員長 次に、議案第22号 宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、議案第30号 中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定についてを一括して議題といたします。

質疑に入る前に、担当課より本2件についての説明を求めます。新垣次長。

(執行部説明省略)

○知名康司 委員長 ただいま新垣次長より議案第22号と議案第30号の説明がございましたが、分かりやすいように分けてやりましょう。最初は22号で質疑を受けますので、それが終わった段階でまた30号になりますので、そのように分かりやすいようにいたしますので、よろしく願いをいたします。

まずは、22号に対する質疑を許します。下地崇委員。

○下地崇 委員 期日について、工事の進捗で施行期日が7月、8月、これは工事完了が7月、8月なのか、それとも完了して施行するめどが7月か8月になっているのでしょうか。

○知名康司 委員長 新垣次長。

○市民経済部次長 今のところ予定といたしましては、6月から7月ということで、早まりましたらその時点でまた規則で定めていきたいと思えますが、今6月から7月の間には工事が完了するだろうということでスケジュールを組んでおります。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 施工完了、検査まで終わって、引渡しまで完了したもの、そのすぐぐらいのタイミングではこれが施行されるという考えでよろしいでしょうか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 市民協働課長の伊佐と申します。よろしくお願いいたします。

6月から7月頃には供用の開始、完成して、供用の開始を今のところ予定しております、供用開始が決まり次第、規則のほうで日付を決めていきたいと考えております。

○知名康司 委員長 補足がありますか。新垣市民経済部次長。

○市民経済部次長 補足ですけれども、新城がその前に完成している供用施設がありましたので、新城の場合は5月25日に完了いたしまして、引っ越し等全て準備をしまして、6月1日から供用開始ということで、そちらの規則にうたってスタートさせているという事例もございます。同じような流れで、全て完了して、供用開始スタートするときに規則で定めていきたいと思っています。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。学習等供用施設の設置規定みたいなもの、例えば市内に何か所設けなければいけないとか、そういう規定があるのかとか、設置するときの例えば管理、行政区単位なのかとか、あとは建てられたら建てていいよというようなものなのか、その辺り御説明いただけますか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 特にそういった決まりというのはないのですけれども、今主に公民館、学習等供用施設、建て替え等で自治会さんのほうからまた建て替えしたいということがあって、そういった中で学習等供用施設を造って、建て替えしていこうということで取り組んでいるところでございます。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。今回中原区ということなのですけれども、中原区で要は管理者が自治会長になるということなのですけれども、自治会以外、会員以外の方でもこの学習等供用施設、コミュニティ供用施設は利用できますか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 利用できます。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 自治会にいと、もちろん自治会に加入してほしいなという思いはあるのですけれども、自治会員だと自治会長から、自治会長からというのもあれなのですが、自治会としての連絡とかしていただけたらと思うのですが、新しくなります。ぜひ遊びに来てください、来てくださいね、利用してくださいねというのをやっていただけたらと思います。自治会員でない人というのは、自分たちが利用していいかどうかというのは、もしかしたら駄目なかなみたいに思ったりする方もいらっしゃるかなと思うのですけれども、自治会員以外の方への周知というのですか、せつかくという言い方はあれなのですけれども、新しいすばらしい施設ができるのだから、どんどん地域の人が活用してほしいと思うのです。その自治会員でない方々への周知と案内というのは、恐らく自治会というよりは、市から案内すべきかなというのがあって、その辺り何か予定されていますか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 宮城委員おっしゃったように、新しい施設ができましたら、皆さん集まっていただいて、利用していただきたいと思っているのですけれども、自治会さんのほうにも今度こういった新しい施設がで

きた場合には、いろいろなイベント等の企画とか、新しい自治会加入促進の取組、そういうものに利用していただけたらなというふうに考えています。

今年度、市民協働課のほうで自治会加入促進モデル事業というのをやっております、伊佐のほうと嘉数のほうで行ったのですけれども、そういった際には自治会さんのほうで主でやっていただいて、私たちがバックアップする形になるのですが、そういった場合にちょっとイベント等をするときにはフライヤーとかを配ったりとか、そういった新しく自治会に加入していただくような方をイベントに呼び寄せるといふ、そういった親子のスポーツ、嘉数とか伊佐は体育館みたいな施設もあるので、そういったところでも今まで自治会に関わってこなかった方についても、そういうところでも施設も使いながら、自治会加入促進ができていけばいいかなと思っていて、市としても今年度はそういうふうな取組をしているところでございます。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 市報には多分載るだろうなとも思っているのですけれども、今課長おっしゃった思いは分かるのですけれども、自治会長は自治会の方々に対してしっかりケアされていると思うのですけれども、自治会員でない方々というのは自治会長に任せるといよりは、僕としては市からしっかりアプローチしてほしいなという思いもあって、バックアップという意識はあまり持ってほしくなくて、市としても主体的に自治会員を増やすというようなことに、ぜひこの中原地区、新しい施設を活用してほしいなという要望をお伝えして、終わります。よろしく申し上げます。以上です。

○知名康司 委員長 ほかに。濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今回の条例の一部を改正するというのは、さっきもお話したか分からないのですが、項の追加で、そういうことでいい。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 新旧対照表の5ページのほうになりますが、そちらのほう、別表第1（第2条関係）ということで、左が現行で右が改正後になりますが、一番下ほうのです。新城地区学習等供用施設の下に中原地区学習供用施設、位置としては宜野湾市赤道2丁目18番1号という項目の追加でございます。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 この1と2表を見たら、ほとんど自治会が指定管理というか、項目が入っているのだけれども、結局宜野湾市のほうは23行政区あって、新しくつくったらそういう感じで改正して入れるというのが方向性になると思いますが、その辺ちょっと。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員、指定管理のほうは次。今ではない。

○濱元朝晴 委員 では、改正の件だけ。いいです。次に質疑します。

○知名康司 委員長 それ以外に何かございますか。嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 よろしく申し上げます。新旧対照表のこれなのですけれども、別表第1と書いてありますが、その前の文言はどういったことが書かれていたのですか。新しいものがつくられたので、増えましたということは分かるのですけれども、何をもって、何を追加したのか、意味が全然理解できなかったのです。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 こちらの宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の今回改正ということでございますが、第2条としましては施設の名称及び位置は別表第1のとおりとする

となっております。1条から26条までございまして、その中で第2条の部分で別表第1というのがございまして、第2条は先ほど申し上げましたように、施設の名称及び位置は別表第1とするということで、宜野湾市の施設が並べてあります。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 1条から27条までということは、設置管理に関する規則というか、項目、条例が書いてあって、その対象となるのがこの全部のものですよというような感じのニュアンスでいいですか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 そのとおりでございます。第1条のほうに趣旨及び設置ということがございまして、この条例は地域社会の発展及び地域住民の福祉増進を図るため、地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき、地区学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとするというのが第1条にございまして、第2条のほうで先ほど申し上げたとおり、施設の名称及び位置は別表第1のとおりとするという規定になってございます。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 ありがとうございます。そうしたら、1条から27条までの書いてあるものを資料で頂くことはできますか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 資料をお渡しいたします。

(「休憩をお願いします」という者あり)

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前10時48分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前10時48分)

○知名康司 委員長 なければ、次の議案にしますけれども。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 議案第30号は38ページです。中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について、これに関して質疑ありますか。又吉亮委員。

○又吉亮 委員 この議案第30号の3番、指定の期間とあるのですが、この括弧書き、令和5年宜野湾市条例、まだ空白の状態でもいいのですか、第何号。これの後でいいのかな。空白になっていて号となっているのだけれども。これは令和5年、要は今回のもので議会承認を得て、第何号という数字が入ってくるという認識で。

では、令和5年という数字が、今回中原地区学習等供用施設の指定管理者というところを指定することによって、令和5年というふうになっているものなのかどうか。例えば新城のときも、そのときには令和4年でこういうふうにあったのかどうかということなんです。令和5年という数字は、何をもとに令和5年という数字になっているのか。令和5年は何ですか。以上です。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 今回議案第22号で提案させていただいている宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供

用施設の設置及び管理に関する条例、こちらのことを指している。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、次の質問なのですけれども、新旧対照表を見たときの新旧対照表の上に宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ、括弧書きで平成17年と書いてあるのですけれども、この数字は何の数字。この平成17年というのは何の数字でしょうか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 この宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例が制定された年が平成17年ということでございます。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、ここは改正された年に改められていくというわけではなくてという認識でいいのですか。改められていくということで。平成17年にこの条例が制定された。平成17年以前だったら、恐らく大山区学習等供用施設は平成17年以前なのです。嘉数ハイツが多分平成20年度かそれぐらいだと思うので、嘉数ハイツ以降のときに条例制定がされたという、この平成17年という数字はそれということですか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 一番初めに制定されたのが平成17年で、その後改正があると思うのですけれども、改正はその都度施行期日であったり、附則のほうであったりでいつから施行しますよということが出てくるので、この平成17年というところには最初の数字が出てくるということです。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、もう一つ、令和8年3月31日までとなっているのですけれども、これは今までも3年間という数字がありましたか。今回、僕の記憶の中では初めて見るなと思って、何日までというのが。なので、指定の期間があるということは、令和8年4月1日以降はもう一度また指定をしなければいけない、中原区自治会に指定しないといけないのかなと思うのですけれども、これまでの指定管理を受けている自治会が学習等供用施設の指定の更新というのを今まで上程されているのを見たことがないものですから、今回初めての期間の指定なのか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 学習等供用施設の指定の管理期間は、原則5年としているところでございますが、今回既存施設が令和8年3月31日までの指定管理の期間になっておりまして、そこに合わせる形で今回の中原地区学習等供用施設につきましても令和8年3月31日ということで指定をさせていただきます。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 既存の施設が令和8年3月31日ということなののですけれども、今既存の中原公民館というのは学習等供用施設なのですか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 現在の旧といいますか、これは学習等供用施設ではございません。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 学習等供用施設でないならば、指定管理者という位置づけはないですね、中原区自治会に。でも、既存の建物が令和8年3月31日まで指定管理の指定をしているからということの今御答弁だったので、

ということは既存の施設も指定管理者として中原区自治会が入っていないという意味になってしまうと思うのです。

○知名康司 委員長 新垣市民経済部次長。

○市民経済部次長 訂正、補足させていただきます。既存のというのは、中原以外、市内にある13か所の学習等供用施設のことで、既存というのは13ぐらいある中で、皆さんばらばらだと議会の上程を毎年やってしまうこととなりますので、後ろを一緒にして、今回から15施設になるかと思えますけれども、それを指定管理者の指定を5年に1度行うという形で、今回3年間設定させていただいています。前回新城の場合もあったのですが、新城の場合も令和4年6月から、後ろは令和8年3月31日までということで4年間設定しております。ということで、毎年毎年学習等供用施設の指定管理が出るのも、ばらばらになるとちょっと煩雑になりますので、後ろを合わせたという形で御理解いただきたいと思えます。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。確認なのですが、この指定管理者、学習等供用施設の指定管理者を指定するというのは、条例か何かあるのですか。

○知名康司 委員長 新垣市民経済部次長。

○市民経済部次長 宜野湾市の指定管理者指針がございまして、この中で民間へ指定管理する施設もございまして、自治会については学習等共用施設ということで指定管理をお願いしております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 反対しているわけではないのですが、例えばこの学習等供用施設に自治会長、自治会以外の方を指定管理者にすることができるかどうかというのはありますか。

○知名康司 委員長 新垣市民経済部次長。

○市民経済部次長 指定管理者を指定する場合は、原則公募ということで、しっかりそれに適した団体とか企業などを選ぶことになっておりますが、今回の学習等供用施設、公の施設ではございますけれども、かなり公共性が高い、地域に密着した、そういった施設であるということから、公募をせずに指定することができるという、自治会に限ってはできるという指針の中にうたわれておりますので、今回は公募をせずに現自治会を指定したということになります。ただ、おっしゃるように、ほかの方でも指定管理というのは可能ではございますので、その際は公募をさせていただく形になります。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 先ほどもちょっと触れたのですが、公民館とか建て替えの際には学習等供用施設のほうでつくっているところもあるのですが、そういったケースの場合は自治会からの要請を基に、自治会との調整の上で、自治会のほうにも一部負担というか、寄附という形でお支払いもしているものですから、そういった経緯もあって自治会が指定管理者になることで地域のニーズに合った、先ほどの自治会の活動であったりとか、そういったことができるだろうということで自治会のほうに指定しているところがございます。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今の質疑と関連しますが、宜野湾の場合はほとんど自治会が指定管理ということで、公共の立場が理想ということなのですが、沖縄県で自治会以外にそういう指定管理されているところを聞

いたことがありますか。なければないで。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 ちょっと今把握しておりません。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 沖縄はそんな感じでないかもしれないけれども、東京とか都会に行ったら、それ以上のそういう組織とか、専門的にやっているところもあるかもしれないのです。そうになった場合には、やっぱり今の公募をするという形なのだけれども、その辺になった場合は宜野湾市の立場としてどのような考え方、将来的な話。

○知名康司 委員長 新垣市民経済部次長。

○市民経済部次長 しっかり地域のことを理解して、ニーズも把握して、そういう民間企業がいた場合、公募して選定して、いいところを決めるというのは法律的にいいかとは思いますが、やはりまだ宜野湾市の場合は地元で協働でというような位置づけがございますので、当面そういったことにはならないのかなとは思っています。やはり地域の人たちでしっかり拠点を持って活動していただくというところを目指しておりますので、そういう方向で進めてまいりたいと思っています。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 本当に今部長が言ったように、それが理想的な、ベターだと思いますので、ぜひ地域を発展するために頑張ってもらいたい。以上です。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 お願いします。今回の指定管理の指定ということなのですが、委託料とかは大体どのくらいになるのですか。シンプルな疑問であったのですが、お願いします。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 委託料というのはございませんが、指定管理者制度ですので、施設の利用料であったりとかというのは自治会の収入となります。

○嶺井拓磨 委員 では、全くお金は支払うことはなくということですか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 質疑がすみません。もう一回いいですか。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 委託料とかあるのですかというところであるのですが、

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 委託料というのはないのですが、施設の修繕等が発生、必要な場合は、30万円以下は指定管理者のほうで修繕をしていただく形になっています。

○知名康司 委員長 新垣市民経済部次長。

○市民経済部次長 ちょっと補足を。こちらから施設の管理費みたいなものを委託していないのかという御質問だと思うのですが、こちらから委託料として施設の管理料としては歳出はございませんけれども、自治会に対する補助金であったり、万が一公共施設が修繕が必要になった場合は、行政のほうから修繕費の支出、一定の支出はあります。ただし、さっき課長が言ったように、30万円以下は指定管理者のほうで直し

てもらおうというところで、行政と指定管理者との中で検討しております。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 これは条例か何かで決められている形ですか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 協定書を結んで決めております。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 協定書というのがよく分かっていないのですけれども、協定書というのはその自治会と市役所側で結ぶ協定書ということでもいいのですか。

○知名康司 委員長 市民協働課長。

○市民協働課長 そのとおりでございます。

○知名康司 委員長 ほかに。なければ進行いたします。

(「進行」という者あり)

○知名康司 委員長 では、進行いたします。

審査中の議案第22号及び議案第30号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午前11時04分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午前11時12分)

○知名康司 委員長 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。その間休憩いたします。(午前11時12分)

◆午後の会議◆

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後2時00分)

これより午後の会議を進めてまいります。

【議題】

陳情第10号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳情

○知名康司 委員長 陳情第10号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳情を議題といたします。

陳情の内容といたしましては、事務局より記の部分を朗読させていただきます。

○議事係長 お手元の記の部分のほうを読み上げさせていただいて、概要の説明とさせていただきたいと思います。

まず、陳情の趣旨といたしまして、1、米国環境保護局(EPA)等の指針を参考にして、PFAS規制

を立法化すること。

2、国民の健康と生命を守るために、国の責任で疫学調査、環境調査を実施すること。

3、汚染源が疑われる米軍基地の立入調査を、政府が主権国家として実施すること。

4、米軍の環境汚染につき情報公開させ、それに基づいて汚染を浄化させることの以上4点が主な陳情の趣旨となっております。以上です。

○知名康司 委員長 それでは、まずPFAS規制、疫学調査、環境調査、米軍基地への立入調査等の状況について、当局より説明をいただき、その後に質疑にお答えいただきたいと思います。

では、当局より御説明をお願いいたします。基地政策部次長。

○基地政策部次長 まず最初に、この部分を副市長のほうが普天間負担軽減作業部会において要望した内容について、渉外担当のほうが一緒に参加しておりますので、そのことの内容報告を兼ねて答弁させていただきます。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 先月の2月15日、普天間飛行場の負担軽減を国と県と市の3者で話し合う作業部会に参加してまいりました。そこで、様々な普天間飛行場に関わる諸問題について協議しましたが、その中の一つ、PFOS等の問題についても議題としてこちらから上げて、要望をしてまいりました。

その内容として、まず普天間飛行場周辺の高濃度PFOS等の検出についてを議題として、基地内の立入り、湧水利活用公園のPFOS等水質改善施設の整備、あるいはPFOS等除去装置の維持管理費要望、そして水環境の基準値を策定、最後にPFOS等の市民の不安払拭の方策及び適切な情報公開を要請してまいりました。政府からは、普天間飛行場などへの立入調査を米側に対して働きかけ、関係省庁や関係自治体と連携して取り組んでまいりますと答弁いただいています。また、環境省や厚生労働省からも専門家会議を立ち上げて、科学的な議論を踏まえながら取り組んでまいりますというような答弁もいただいております。

PFOSについては以上でございます。

○知名康司 委員長 基地政策部次長。

○基地政策部次長 そのちょっと補足として、作業部会の出席メンバーとしましては、内閣官房副長官を筆頭に、内閣官房審議官、内閣政策統括官、あと外務省北米局長、沖縄防衛局政策局長、同じく防衛局地方協力局長、環境省から水・大気環境局長、厚生労働省から生活衛生・食品安全審議官、それと沖縄県知事、副知事、市長が出席しております。解決に向けて、各省庁の出席をいただきながら課題解決に向けてというお話でしたので、これからいろんな作業部会というか、下部組織が、各研究委員会が議論をしながら、この中身については議論していくということで、その結果が出るものとは思っておりませんが、順次情報が分かり次第、報告はしていきたいと考えております。

○知名康司 委員長 ありがとうございます。今までの説明は、米軍基地への立入調査等に入るものだと思いますけれども、PFASの規制とかに関しては何かありますか。環境対策課長。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 現在環境省が昨年12月1日に市長からの要請を受けまして、その翌日に環境省の環境大臣からフッ化物の専門家会議を立ち上げるということで、一つはPFOSの水質の目標値の設定に関する専門家会議、これは1月24日に開かれております。これは、厚生労働省と合同で開いているものです。その中で

の会議の内容としましては、概要としましては当面暫定基準値50ナノグラムパーリットル、これはこのまま維持することで、その上でWHO、世界保健機関の指針など、国際的な目標値を注視しながら、科学的知見やデータの集積に努めていくこととなっております。

この結果が、それではいつ頃出るのかということなのですが、これは2月3日の環境大臣が国会での答弁をしておりますけれども、できるだけ早めにとすることは決めるけれども、いつまでにとするのは、先ほど申し上げたWHOとか世界の状況を見ながらの知見を集積して、それを分析した上で定めないといけないので、時期については現状では申し上げられないという答弁でした。

それから、もう一つの会議なのですけれども、PFASの全体戦略に係る専門家会議ということで、1月30日に開催されております。この内容としましては、国内外の最新の科学的知見、国内検出状況のデータの集積レビュー、水質モニタリング対策検討、以上を踏まえての対策をこれから検討するという内容でございます。その上で、国民への分かりやすい情報発信、リスクコミュニケーションということを発信していくということで、これにつきましては4月以降にQ&Aの公表をすると、国民に対して分かりやすい、環境省として分かりやすい公表をするというような予定で今動いています。来年度の夏頃には一定の全体的な取りまとめを、全体戦略に関する専門家会議については取りまとめを行う予定ということになっております。以上の状況です。

○**知名康司 委員長** ただいまのPFOS規制関係でしたけれども、今度は疫学調査も2番目にあるのですけれども、これは答えられますか。もし答えられるのであれば、今後の検討科目等、なければなくてもよろしいですけれども。疫学調査、あと環境調査というのもありますけれども。健康推進部次長。

○**健康推進部次長** 陳情の中に疫学調査という用語がございます。この間、血中濃度が市民団体の調査で高い数字が出ているとか、そういったことがございました。市としましては、12月議会でも答弁しましたが、血中濃度等につきましては現在国内で指標となる基準がございます。ということで、先ほど来説明がございまして、国の専門家会議等の議論の状況、動向とかを注視しながら、あと公衆衛生につきましては、県のほうの取組等とも連携しながら対応していきたいという状況でございます。

○**知名康司 委員長** あとは環境調査ということもございますが。環境対策課長。

○**環境対策課長** 環境調査というのが、どのようなことを求めているか不確かではあるのですが、恐らく土壌調査とか水質調査のことであるということだと思います。現在令和4年度は、県が5か所の土壌調査を行ってまして、うち3か所が宜野湾市ということで、結果については12月に出しております。県としましては、来年度引き続き、今度は全県的に40か所以上の土壌調査と水質調査、これを行うという状況となっております。県のほうで行うということです。

○**知名康司 委員長** ただいま各部局よりPFAS規制、疫学調査、環境調査、米軍基地への立入調査等の状況説明がございましたが、ではこれより説明がありましたので、質疑を許します。質疑のある方は挙手にてお願いをいたします。宮城優委員。

○**宮城優 委員** この陳情では、アメリカの環境保護局、EPA等の指針を参考にしてと出ているのですけれども、今の説明だとWHOの文言しか出てこないのですけれども、これはEPAも一緒に加味するという認識でいいですか、この基準値。

○**知名康司 委員長** 環境対策課長。

○環境対策課長 先ほど私の発言の中でWHO等のということでした。失礼しました。WHO及び米国の状況を踏まえながらということの答弁があったと承知しております。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 WHOとEPAでは、100倍ぐらい健康に及ぼす影響の数値が違うのですけれども。どこに重きを置くかというか、なるべくないほうが自分はいいとは思うのですけれども。沖縄の現状として、アメリカ、米軍から出ている、蓋然性が可能性が高いというふうに言われています。なので、できればアメリカの基準値が一番参考になるのではないかなというふうに自分は思うのですけれども。これは国が決めることなので。ただ、宜野湾市としても強く声を上げてほしいなというふうに思いますけれども。どうでしょう。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 環境省としては、WHOの指針とか、あとは米国、そしてその他の国際的な動きを注視して、その知見を集積してということだと思っています。宜野湾市として、ちょっと私のほうからどういうふうな方向性ということは差し控えさせていただきます。申し訳ありません、御理解いただければ。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。先ほど御説明いただいた中で、作業部会のお話を言っていたいで、すごく大事な話だと思って、幾つかポイントといいますか、おっしゃっていた、あの内容は1度紙で頂けませんか、資料として。副市長が国に要望した内容をうまくまとめていらっしゃったのですけれども、僕メモしながらだとなかなかうまく聞き取れなかったもので、あの内容をぜひ確認したいので。今日でなくてもいいのですけれども、早めに資料として頂きたいのですが。お願ひします。

○知名康司 委員長 基地政策部次長。

○基地政策部次長 ちょっと確認なのですけれども、先ほど私と渉外課長が発した言葉をいただきたいということでもいいです。それとも、議事次第みたいなのがあって、それを議事録があれば頂きたいということですか。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 両方頂きたいです。作業部会も会議内容は改めてこの場ではなくてもお願ひしたいと思っていたのですけれども、それはそれで頂きたいのですけれども、先ほど課長がおっしゃった内容、すごくまとめておっしゃっていて分かりやすいなと思ったので、ぜひ頂きたいので、両方ということでお願ひしたいです。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 さっき基地政策部次長と私のほうで答弁した内容をまとめて、紙で提供したいと思います。議事録のほうは、作業部会終了後、例年国のほうで情報を公開するときは当事者に了解を得て公開をしているのですけれども、今それに時間がかかっているということで、議事録についてはでき次第ということではばらくお待ちください。以上です。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 よろしくお願ひします。続いて、その御説明の中でPFOS等とおっしゃっていたと思うのですけれども、恐らく十分把握されていると思うのですけれども、こちらは今回陳情のある中ではPFASとあるのです。違いは十分把握されていると思うので、あれなのですけれども、作業部会でお話しされた

のはPFOSでよろしいですか。副市長が要望されたものはPFOSということでおっしゃっていたのですが、PFASではなくて。そこはということで含んでいる認識で合っています。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 おっしゃるとおりで、PFOS等というのが中に含んでの発言でございます。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。難しい話になるかもしれないですけども、総称という意味ではPFASのほうが適切なのかなというふうに私自身は感じています。

その次に、基準値の設定の話もあったと思うのです。基準値は、恐らく大きく2つあるのが、飲み水の基準値と、あと湧水というか、自然界の水の基準値があると思うのですけれども、どちらの策定を要望されたのでしょうか。それとも、そこまでは言及せず、あくまで基準値ということで、作業部会でお話しされたのでしょうか。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 普天間飛行場の閉鎖返還または負担軽減を話し合う会になっておりますので、宜野湾市当局または教育委員会、上下水道局全てから様々な要望事項、または課題事項を吸い上げて、要望を申し上げました。その中で、今宮城政司委員がおっしゃった水環境の基準値の策定をお願いしたいというような趣旨で発言しております。これはもちろん基地政策部からではなくて、市全体の思いとして、発言しております。水質基準値の作成をということで発言しております。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 すみません。あまり理解うまくできなかったのですけれども、恐らくまとめて基準値というふうに、飲料水だろうが、上水であろうが、環境のものであろうが、水質ということでまとめられたのかなというふうに理解したのですけれども、私自身はちょっと違ってくるものもあるのではないかなというので、もっともっと研究はしてほしいかなという思いがあります。

この基準値についてちょっとお伺いしたいのですが、この陳情の中で、PFAS規制を立法化することというのがあって、基準値の設定が先にあって、基準値が決まったからそれに基づいて立法、法律で規制されていくというふうになるものなのか、法律を先に決めて、だからそれを根拠に基準値を決めていくのか、これはどちらのパターンがあるのか、どういうふうな流れになりそうなのかというのは、何か見識というか、あれば教えていただきたいのですけれども。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 基準値については法律に基づいて定められるレベルになります。法律の下に制令がありまして、その中で一覧表になっています。PFOSについては、まだそこまでいっていない段階ということです。ですので、規制のレベルでは…。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。多分国の話だったと思うので、答えづらかったかもしれないのですけれども、副市長は基準値の設定も要望していただいたというふうに理解しているのです。立法化することをこの陳情で書いてあることの整合性が取れたら、みんな理解しやすいかなという思いでちょっと教えてもらえたらという思いがあったのですけれども、今の答弁ですが法律的な答弁というのがある程度あって、

そこにPFASが含まれていないので、基準値を設定して含めていくというか、そういう感じですか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 この文面を見ますと、法律、立法化という、規制するということは法律で定めないと規制できないので、それが前提になっているのかなど。読み取ると、そういう印象は受けますけれども、当事者ではないので、推定しかできない。

○知名康司 委員長 宮城政司委員。

○宮城政司 委員 ありがとうございます。2番目とかで、健康面での話も疫学調査であったり、環境調査というのもあって、先ほど答弁の中では国の動きを注視するというふうな答弁であったと、これまでの一般質問で多くの議員がやられていた中でも、そういった答弁が多かったと思っているのですけれども、一方で副市長はそういう基準をしっかり決めてくれということを政府に要望されているのです。なので、市のほうでもそういう思いを持っていらっしゃるうれしいのですけれども、ちょっと市長、副市長のほうでは国に対して要望している。でも、当局の職員はあくまで国の動きを待ちますという感じなので、あまり整合性が取れていないのか。なので、もちろん法的根拠とかという意味で動けない部分があるというのは理解するのですけれども、そういった国に対しての要望をしていくということは、市の職員の皆さん、市長、副市長も同じ思いでいらっしゃいますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 昨年12月1日に市長が環境大臣に要請をしております。国において水環境の環境基準値を行っていただくと同時に、基準値が整備されるまでの間、PFOS等に関する市民の不安を払拭するための方策を検討していただきたいという思いで要請しております。当然その方向性は共有してございます。国に対して要請している…。

○知名康司 委員長 ほかに。又吉亮委員。

○又吉亮 委員 皆さん、お越しいただいてありがとうございます。まず、今国のほうに措置を定めるよう要望はしているところなのですけれども、宜野湾市で目標値、基準値、指針値を定めるという計画はありますでしょうか。あるかないかで結構です。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 水環境に関する基準値を定めるに当たっては、専門的な知見、国際的な状況等を加味しないといけないというところを考えますと、本市でそういった知識の集積があるかと言われれば、残念ながらそこまでいっているということは、申し訳ないと思うのですけれども、こちらのほうで基準値の設定というのは現在のところ考えておりません。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 ということは、国のほうでもし基準値なり指針値なりが定められたときに、その数値に基づいて宜野湾市のほうでも水環境、水質だったり、飲み水だったりとかいうのを恐らく定めていくと思うのですけれども、このEPA、米国環境保護局、EPA等の指針というものは、1リットル当たり何ナノグラムなのか、教えていただけますか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 EPAの場合、去年の6月以前は1リットル当たり70ナノグラムだったので、

6月17日でしたか、その3,000倍以上の厳しい基準になっております。PFOSでいうと1リットル当たりです。0.02ナノグラム、PFOAは0.004ナノグラム。これを暫定の目標値、生涯健康勧告値という呼び方なのですけれども。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 その3,000倍、70ナノグラムから3,000倍ほど厳しくなったこの数値というのは、規制するその数値に規制しようとしているのか、アメリカは。このEPAが。その数値以下にしないよと言っているのか、もしくは指針値、あくまで。ここまで下げましょうという努力目標というか。現実的にその数値に下げることが果たして可能なかどうかということもちょっと気になった上で。要は、ここを落とすという現実的な数値の話をしているのか、人体への影響を及ぼすのがこれぐらい、これぐらいからは人体の影響を及ぼすかもしれないというような数値を出しているのかということもちょっと知りたいです。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 すみません。ちょっと人体の影響とか、そういった細かい話までは私としては答えとして持ち合わせておりません。あくまでもこれは健康の勧告値、こうやったほうがいいですよということを米政府に今示しているという状況。米政府はこれに対してそれを検証して、いずれその数値になるのか、上がるのか、そこら辺は私どもも分かりませんが、検討中という情報だけは入っております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、確認なのですけれども、今日本の環境省のほうで定めている暫定指針値の50ナノグラムというのは何の数字なのでしょう。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 今現在示されている1リットル当たり50ナノグラムは暫定目標値ということで、これは水道水の水環境も湧水も一緒なのですが、体重50キロの人が1日当たり2リットルの水を生涯にわたって摂取して健康に影響が出ないとする値と言われております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 では、確認のために。50ナノグラムパーリッター以下だったら、1日2リットル、それに含まれていたとしても70年間、今生涯というふうな話をしたのですけれども、恐らくたしか70年間だったと思うのですけれども、70年間1日2リットル、50ナノグラム以下であれば飲み続けても体に健康被害はないですよと定めているのが日本の数値だと思うのですけれども、ではそれは何に基づいてつくられたものなのか、何が基になってこの数値が定められたものなのか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 これにつきましては、国際的な知見を基に日本政府がそれをまとめたわけで、その数値にしているということの程度は承知しております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 国際的な知見、いろいろなところがある中で50ナノグラム、恐らく今EPAのあの数値を省けば、恐らく日本が国では低いほうなのかなと思うのですけれども、WHOが今定めようとしている中で、では日本は、ここで話をする議論なのかどうなのか分からないのですけれども、早く基準値を定めたいと要望していく中で、WHOが今後この後に定めようとしている基準値に基づいて定めようとしているのか、

もしくはEPA、通常の70ナノグラムパーリッターからの3,000倍ほど厳しい数値を基に定めようとしているのかというのは、そちらのほうでは把握されていますでしょうか。

○知名康司 委員長 環境対策課長。

○環境対策課長 すみません。環境対策課としては、どこの重きを置いて国が定めようとしているかという方向性については承知しておりません。先ほども申し上げたように、環境大臣の答弁によりますと、WHO、そして米国、その他の国際的な状況を加味しながら検討したいというお話をしております。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 最後にもう一つ、僕聞き逃しているのかもしれないのですけれども、血中濃度についての基準値みたいなものも要望、基準値を定めるようにというふうに要望もされていましてでしょうか。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 お答えいたします。血中濃度の検査の基準値については、これまでの市長、副市長等の作業部会や要望等については含まれておりません。

○知名康司 委員長 又吉亮委員。

○又吉亮 委員 今ここにも書かれているのですけれども、血中濃度何倍という数字は出るのですけれども、恐らくこれはほかの全国調査との比較で何倍なので、実際にこの数値が定められていないと、それが高いのか低いのかという議論もできない。ただただ全国比較して何倍という数字があるだけで、実際に世界で比較すると低いのかもしれないし、圧倒的に高いのかもしれないですしということもあるので、血中濃度の議論がなかなかできないのかなという部分なのです。この数字を定めない限り。やっぱり数字を定めるところということが先にはなってくるのかなとは思っているのですけれども、まだこれに対しての要望もされていないということであれば、また次回というか、こういった機会があれば血中濃度に関しても数値を定めるような要望も入れていただけたらなと思います。以上です。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 よろしくお願ひします。ちょっとお聞きしたいのが、この陳情の中で水道水を飲んでいるグループと、浄水器を購入して設置しているグループを比較すると血中濃度が低いことが分かりましたという記載があるのですが、これは何かしらどこかの環境省とかから出している資料の中でもそういったことがうたわれているのかというのを確認したいのですけれども。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 嶺井委員の御質問にお答えします。市民団体が出している意見書案の中での文言なのですが、環境省でそういったエビデンスがあるとか、そういったことではなくて、昨年度の6月に市民団体が中心になって行ったPFAS血中濃度分析結果についてということで、昨年10月に概要を公表されているものがありまして、その中に、軟水器ではPFOSを除去できない、浄水器でもカートリッジ交換と性能劣化が起こるといような、水道水をそのまま飲んでいる人はPFOS濃度が高い結果が見られると、そういった記述がございます。その中を引用しての意見書の内容になっているということで理解しております。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 ありがとうございます。環境省の比較においてという流れで来ていたので、環境省のデータから持ってきたとか、そういったわけではないということですね。

ちなみにこのPFOSは最大3.1、PFOAは3.0、PFHxSというのですか、これは14.3倍という形で比較されているのですけれども、これは何を基に比較されたデータかとかは把握されたりとかしていますか。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 調査名とかまでは確認は、手元に資料がありませんので、確認はできておりませんが、数年前に環境省が全国的に、大規模調査ではないのですけれども、それぞれ全国の国民に対しての地域別にパイロット調査を、血中濃度の調査をされているという結果がありまして、ただその調査につきましては統計的な調査とか、目的についても血中濃度の健康被害に対する確認をする調査等ではなくて、そういったパイロット的な調査の結果を用いて、それと比較しての市民団体の記述になっていると理解しております。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 ありがとうございます。最後になるのですけれども、今PFASを除去するための活性炭とかを使っているいろいろ実験しているかと思うのですけれども、活性炭を使う以外での除去する方法について、何か調べられていることとかありますか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 今おっしゃっている活性炭ではないもの、北谷浄水場で行っている活性炭の話でしょうか。今公園とかで。

○嶺井拓磨 委員 も使っているとは思うのですけれども。

○上下水道局次長 PFOSの除去をやっているという話。

○嶺井拓磨 委員 それでもやっているといるのですけれども、今活性炭を使っている以外のものは除去していない、活性炭でしか除去していないのですか。それ以外での除去する方法など研究とかされていますかということ。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 水道水に関しましては、北谷浄水場の活性炭、高度な処理ができる活性炭によって除去している状況であります。さらに北部ダムから水を引いて、嘉手納河川部分、井戸郡ですね、水を抑制して、できるだけ北部ダムから水を流水して、水質を浄化しているという方法を取っております。水道に関してはそういう手法で行っております。

○知名康司 委員長 嶺井拓磨委員。

○嶺井拓磨 委員 そうすれば、PFOSを除去するというよりかは、PFOSがあまりないところから水を持ってきて、それを活性炭によって少ないところからそれでも取るような形を取って、できる限り負担がないような形で水道水を流しているということによろしいですか。

○知名康司 委員長 上下水道局次長。

○上下水道局次長 これまでの活性炭よりは、高度処理ができるようなものを利用していると。その上で北部ダムの水を引いていると。

○知名康司 委員長 ほかに。下地崇委員。

○下地崇 委員 よろしく申し上げます。ちょっと陳情、意見書に対しての場合なので、質問がよく分からないのですが、こうした血中濃度が市民の感情としては気になる、大変懸念される、懸念を思っている方が多いと思うのですけれども、当局として市民の方から自分の健康状態を知りたいとか、そういった声とかという

のは来たりとかしているのでしょうか。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 昨年、市民団体が6月か7月ぐらいでしたか、行った血中濃度検査がありました。その時期から、その後数件、血中濃度検査について不安があるということで、大丈夫なのかという声が市民から数件の問合せが健康増進課のほうにございました。

そのときにつきましては、血中濃度については国際的に基準等が現在ない状況でありまして、また市のほうとしてもどの程度の量が血中にPFOSの量が入っていたら、どのような影響が現れるかというのは、国際的な基準、国とかそれぞれの基準が定められていない中で、健康影響基準がどれ以上であれば健康に害はないですよということまで言い切れないことについて丁寧に説明しながら、私たちの用いているのは、50ナノグラムをある程度目標値ですか、そういったことは一応分かっている範囲で説明をしながら、健康状況についてまた気をつけながら過ごされてくださいとか、水道水については少し心配であれば浄水器を設置するとか、そういったところで対応できないかということで助言をしているところではございます。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 この血中濃度が気になるということで来られた市民の方に対して、実際に医学的なもので血を抜き取って検査とか、そういったものを具体的にやったということでは市はしていないということ。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 相談があった市民の方については、そういった市民団体が実施した血中濃度検査を受けている方ではなくて、同じ地域に住んでいる方ということで心配の相談があったということで把握しております。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 また、今後もこうした意見があったときに、対応方としてはこの暫定基準値を伝えて、摂取する水を選択する、選ぶことで改善していくとか、そういうふうな伝え方で今後もやっていくという感じですか。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 現在の状況の中では、そういった説明、直接市民の方から電話や御相談があった場合は、同じような対応しかできないというふうに考えておりますので、そういったことですが、できれば、先ほど環境対策課長等もおっしゃっていましたが、Q&Aを作って、また市民のほうに、私たちが作るか、国のほうで取りまとめて作るかは方向性等あると思いますが、そういったところをまた市民に対してPFOSの基準の現在の状況がどうなっているか、そういった部分については市民に対して検討されている状況とか、そういった健康に対する不安についてもしあれば、何か情報発信をしていけるようなことは考えられないかということでの検討はされていくのかなというふうに考えております。

○知名康司 委員長 下地崇委員。

○下地崇 委員 ありがとうございます。では、あと先ほどパイロット調査のお話がちょっとあったのですが、市としてそういう市民団体のされた趣旨とは別で、またそういった定期的とか、地域ごとにサンプリングしていくような事業とかというのは計画というのはありますでしょうか。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 現在の状況としましては、市としてそういった血中濃度の検査について実施を検討するかというようなことは今のところ考えておりません。

○知名康司 委員長 ほかに。宮城優委員。

○宮城優 委員 いずれにせよ、国が動き出してきています。なので、疫学調査とか、今言った血中濃度、そういうのも知った上で経年、下降していくというのかな、血中濃度。なので、血中濃度も何とか国に要請して、基準値を求めるのもできるかと思うのですけれども、どうでしょう。

○知名康司 委員長 健康推進部次長。

○健康推進部次長 健康関係の調査、疫学調査、血中濃度調査、これにつきましては現在のところ国のほうに要請はしてございません。先ほど来から説明がありますように、まずは水質等基準値のほうが定められることが先決かなというふうには考えております。今後その辺の状況がまた整っていく中で、基本的には国のほうが調査をしていただきたいなと個人的にも思っておりますので、今後要望の検討も出てくるのかなというふうには考えております。

○知名康司 委員長 宮城優委員。

○宮城優 委員 ぜひそこも強く求めたいと思います。よろしくお願いします。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 今回血中濃度を調べて、そのまま水道水を飲用するのと、浄水器の設置や水を購入してすることに分かれて調べたと思いますが、387名のうち27名が要措置濃度が上回っているということなのですが、この資料を見たら、沖縄県6市町村のほうから387人の調査の結果が出て、27名の場所というか、高いところ、どの辺から出ているのか、この資料というはあるのですか。集中して水のあるどこの地域から出ているのか、全体的なのか、その辺が分かれば。ないのだったらいいです。どの辺から出ているのかなという事です。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 昨年10月に市民団体が公表した有機フッ素化合物水質の分析結果についてというところでもございました。その中でPFOSについては宜野湾市喜友名、PFHxSについては宜野湾市長田というところの傾向は出てございますが、具体的に何人というところまでは、私たちが今持っている把握している資料の中では、そこの地域に何人の内訳があったかというところまでは把握はできていない状況でございます。

○知名康司 委員長 濱元朝晴委員。

○濱元朝晴 委員 その数字がはっきりしているものだから、分かるのかなと思って質問しましたが、ともかくこの人数が多いところが汚染されているというような確率が高いという形ですので、その辺は追って資料があればまた提出をお願いしたいと思います。なければなくていいですので、よろしくお願いします。以上です。

○知名康司 委員長 健康増進課長。

○健康増進課長 御質問にお答えいたします。私たちは市として公的な行政等が調査しているものではございませんので、それ以上の資料は今のところございませんので、御理解いただきたいと思っております。

○知名康司 委員長 ほかにございましたら。もしなければ。環境対策課長。

○環境対策課長 すみません。ちょっと一部私が冒頭で発言したことの訂正をしたいと思います。冒頭で、令和4年度に県が土壌調査を実施して、12月に公表しておりますというお話をした点ですが、公表は12月ではなくて2月15日以降とされています。訂正させていただきたいと思います。以上です。

○知名康司 委員長 ほかに質疑なければ進めていきますけれども、よろしいですか。

(「なし」という者あり)

○知名康司 委員長 審査中の陳情第10号については、質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午後2時59分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後3時11分)

【議題】

議案第3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

議案第4号 令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)

議案第7号 令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)

議案第8号 令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第2号)

議案第9号 令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)

○知名康司 委員長 次に、継続審査となっております議案第3号 令和4年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)、議案第4号 令和4年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)、議案第7号 令和4年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)、議案第8号 令和4年度宜野湾市水道事業会計補正予算(第2号)、議案第9号 令和4年度宜野湾市下水道事業会計補正予算(第2号)、以上5件を一括して議題といたします。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午後3時12分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後3時12分)

○知名康司 委員長 お諮りいたします。本5件に対する質疑を終結し、討論を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、質疑を終結し、討論を省略いたします。

これより議案第3号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

これより議案第4号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

これより議案第7号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

これより議案第8号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

これより議案第9号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

【議題】

議案第12号 令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算

議案第13号 令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算

議案第16号 令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算

議案第17号 令和5年度宜野湾市水道事業会計予算

議案第18号 令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算

○知名康司 委員長 次に、継続審査となっております議案第12号 令和5年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算、議案第13号 令和5年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算、議案第16号 令和5年度宜野湾都市計画西普天間住宅地区土地区画整理事業特別会計予算、議案第17号 令和5年度宜野湾市水道事業会計予算、議案第18号 令和5年度宜野湾市下水道事業会計予算、以上5件を一括して議題といたします。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午後3時15分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後3時15分)

○知名康司 委員長 お諮りいたします。本5件に対する質疑を終結し、討論を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、質疑を終結し、討論を省略いたします。

これより議案第12号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

これより議案第13号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。
これより議案第16号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。
これより議案第17号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。
これより議案第18号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

【議題】

議案第22号 宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

議案第23号 宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第30号 中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について

- 知名康司 委員長 次に、継続審査となっております議案第22号 宜野湾市学習等供用施設及びコミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、議案第23号 宜野湾市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について、議案第30号 中原地区学習等供用施設の指定管理者の指定について、以上3件を一括して議題といたします。

-
- 知名康司 委員長 休憩いたします。（午前3時17分）
○知名康司 委員長 再開いたします。（午前3時17分）

-
- 知名康司 委員長 お諮りいたします。本件に対する質疑を終結し、討論を省略いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議ありませんので、質疑を終結し、討論を省略いたします。
これより議案第22号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。
これより議案第23号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。
これより議案第30号を採決いたします。本件は同意することに御異議ありませんか。
（「異議なし」という者あり）
- 知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は同意されました。

○知名康司 委員長 休憩いたします。（午後3時18分）

○知名康司 委員長 再開いたします。（午後3時18分）

【議題】

陳情第6号 喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置について

○知名康司 委員長 次に、継続審査となっております陳情第6号 喜友名グスク内にあった香炉を宜野湾市の西普天間住宅地区公園緑地等基本計画(案)に示された「喜友名グスクゾーン」内に戻すための合祀祠の設置についてを議題といたします。

お諮りいたします。本件については質疑を終結し、討論を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、質疑を終結し、討論を省略いたします。

これより陳情第6号を採決いたします。本件は採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は採択されました。

【議題】

陳情第15号 公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情

○知名康司 委員長 次に、継続審査となっております陳情第15号 公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情を議題といたします。

お諮りいたします。本件については質疑を終結し、討論を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、質疑を終結し、討論を省略いたします。

これより陳情第15号を採決いたします。本件は採択することに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 御異議なしと認めます。よって、本件は採択されました。

【議題】

陳情第9号 インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施延期を求める陳情

陳情第10号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳情

陳情第13号 西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情

陳情第14号 西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情

○知名康司 委員長 次に、継続審査となっております陳情第9号 インボイス制度(適格請求書等保存方式)の実施延期を求める陳情、陳情第10号 有機フッ素化合物(PFAS)汚染から県民の健康と生命を守る陳

情、陳情第13号 西普天間地区モデル街区土地利用についての陳情、陳情第14号 西普天間地区の区画整理事業モデル街区に関する陳情、以上4件を一括して議題といたします。

お諮りいたします。本4件については、今定例会で結論を出すのは困難であり、なお慎重に審議する必要がありますので、閉会中の継続審査といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

以上をもちまして、本委員会に付託されました案件の審査は全部終了いたしました。よって、本委員会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

(閉会時刻 午後3時22分)